

目 次

会長のページ 今でなければ いつ	秦 喜八郎	3
日州医談 地域福祉権利擁護事業	大坪 睦郎	4
はまゆう随筆(その2)		6
柳田 琢也, 藤本 孝一, 田村 正三, 河野 通, 土持 隆彦 森満 保, 村田 比, 近藤 方彰, 日高 正昭, 影山 均 飛松 憲夫, 江藤 胤尚, 新城 歌子, 吉田 隆, 山下 博		
エコー・リレー(336)	原口 靖昭, 井上 博	18
グリーンページ 経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003	志多 武彦	19
宮崎県感染症発生動向		24
審査委員名簿		26
各郡市医師会だより		28
宮崎医科大学だより(救急医学講座/救急部)	岡本 健	30
専門分科医会だより(小児科医会)	千阪 治夫	31
各種委員会(公衆衛生エイズ等対策委員会)		32
駒込だより(医療情報ネットワーク推進委員会)		32
第133回宮崎県医師会定例代議員会(概要)		33
平成15年度第58回宮崎県医師会定例総会, 特別講演 第53回宮崎県医師会互助会総会, 第55回宮崎県医師連盟大会		37
平成16年度第104回九州医師会医学会第1回準備委員会		43
第14回新研修医保険診療説明会並びに祝賀会		44
県ドクターズテニス春の大会		46
平成14年度地域診療情報連携推進事業発表会		47
はにわネット病院向け連携電子カルテシステム IZANAMI の紹介		48
日医FAX ニュースから		50
ヒヤリ・ハット!	牧野 剛緒	52
医事紛争情報		53
薬事情報センターだより(196) 薬剤性光線過敏症		55
理事会日誌		56
県医の動き		62
ニューメンバー	佐藤 新五, 中谷 圭吾	63
会員消息		64
ベストセラー, ドクターバンク		66
行事予定		67
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会		69
診療メモ(性器クラミジア感染症)	今井 博久	73
私の本 竹尾康男写真集[視点・心点]	竹尾 康男	75
おしえて! ドクター 健康耳寄り相談室		76
あとがき		82
~~~~~		
ご案内 宮崎県医学会の開催について .....		5
親善ゴルフ大会について .....		23
お知らせ 宮崎県医師会館の閉館について .....		23
郡市医師会への送付文書 .....		78

## 医 師 の 誓 い

人の生命を尊重し、これを救い、更に健康増進に寄与するは、医師たる職業の貴い使命である。

人の生命を至上のものとし、如何なる強圧に遇うとも人道に反した目的のために医学の知識を乱用せず、絶えず医学の研鑽と医術の練成に励み、細心の注意と良心に従って医を行う。

社会の倫理にもとらず、不正の利を追わず、病を追ひ、病を究め、病める人を癒し、同僚相睦び相携えて、医学の名誉と伝統を保持することを誓う。

### 宮 崎 県 医 師 会

(昭和50年 8 月26日制定)

#### 〔表紙写真〕

#### ふたりの世界

門川町の花火大会を撮影に行きました。花火からふと視線を下ろすと目の前に若いカップルが座っていました。2人のつかず離れずの様子がほほえましく、海面に映った花火の中に「ふたりの世界」をつくりました。

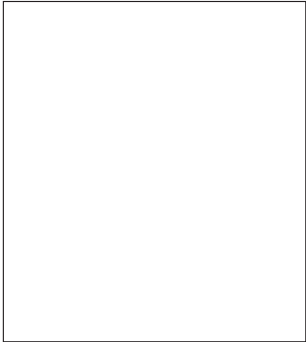
延岡市 はやし 林 だ 田 きえこ 小枝子

(第3回宮崎県医師会医家芸術展より)

## 会長のページ

## 今でなければ いつ

秦 喜 八 郎



県知事選が終了しました。県外出張を極力控え、“島津奔る”で全力を尽しました。一步及びませんでした。会員の先生方に、医政の重大さを御理解いただいた事に感謝しています。厳粛な県民の選択でありますので、従来通り、「県民の健康と幸せを守る」立場から協力いたしたいと思います。

さて、その間にも情勢は刻々と動いています。経済財政諮問会議による「基本方針2003」の閣議決定(6/27)。総合規制改革会議の「アクションプラン・12の重点検討事項」の発表(7/10)。「株式会社参入」「混合診療導入」問題決着の山場が見えてきました。ただ反対、反対と唱えるだけでなく、12月決戦を覚悟して、有効な手段をとらねばなりません。秋の解散総選挙が「世界に冠たる国民皆保険制度を守る」と国民に訴える絶好の機会になると思います。

厚労省に新設された社会保障審議会医療保険部会でも、①医療保険制度改革、②保険者の再編・統合、③高齢者医療制度の論議が始まりました(7/16)。こちらの方も目が離せません。

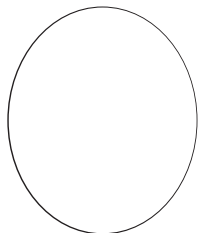
現実問題として、5月分の支払基金における医療保険確定金額は、前年同月比 -6.3%(4月分 -6.8%)と、連続してマイナスが続いています。診療報酬差押え等の医療機関数も12年度1,524件、14年度2,214件(月平均)と、一連の医療制度改悪による影響がもろに表れています(支払基金本部理事会7/28)。手をこまねいていて良いわけがありません。

朗報を一つ…「はにわネット」が漸く全国の注目を浴びてきました。厚労省での成果発表、九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会での講演、九州各県医務主管課長会議より視察申込み、他県よりの問い合わせも相次いでいます。10数年前「宮崎県医のIT化は10年遅れている」「宮崎県医は九州のお荷物だ」と酷評され悔しかった怨念も消え去りました。

(H15. 7. 30)

P.S. 2004年度予算概算要求基準における社会保障費の自然増9,100億円を2,200億円圧縮し、6,900億円程度にする方針(日本経済新聞7/30)。

## 日州医談



## 地域福祉権利擁護事業

副会長 大 坪 睦 郎

平成12年6月社会福祉法が改正されました。法改正の基本理念として、(1)個人の尊厳を保持すること、(2)利用者の自立を支援していくこと、(3)与えられる福祉から、個人が自分で選択していく福祉に変えていくことの3つがあげられています。このように21世紀の新しい福祉の基本理念には個人の尊厳の保持、自立支援、個人が自分で自由に選択していく福祉という考え方が根底に流れています。これらの基本理念を具体化するために、社会福祉法の中には措置制度から利用制度へ、福祉サービスの質の充実、地域福祉の推進があげられています。このような背景の中で地域福祉権利擁護事業は、厚生労働省予算事業として、都道府県社会福祉協議会を実施主体にスタートしました。事業開始後3年を経過し、この間全国的には32万件余の相談援助、9千件以上の契約による援助、相談援助活動により契約に至らなくても利用者支援を行うなどの成果をあげています。宮崎県は特に活動活発な地域として注目されています。事業開始以来平成15年3月末までに相談援助件数3,678件、契約件数252件を数え、人口割りで比較しますと全国屈指の利用度の高い県となっています。

この事業に関わる契約締結審査委員会、運営適正化委員会は、医師、弁護士、学者、福祉関係者、行政等の委員で構成されており、県医師会も積極的に参加しています。

事業の概要を説明しますと、まずこのサービスを利用できるのは、日常生活に不安を抱えて

いる高齢者やもの忘れのある高齢者、知的障害者、精神に障害のある方となっています。福祉サービスは利用者が自分でサービスを選んで契約し、自由に利用していく仕組みとなっています。平成14年度から病院や福祉施設に入っている方も利用できるようになり、医療機関にとっても非常に身近な制度となりました。

サービスの内容は次のようになっています。

## 1. 福祉サービス利用にあたっての支援

どのような福祉サービスを受けたらよいかの相談、助言、利用手続きの手伝い。さらに福祉サービス利用料の支払いなど。

## 2. 福祉サービスの利用に伴って苦情解決相談制度を利用する際の手続き

## 3. 日常生活に必要な手続きの手伝い

住宅改造、住居の賃借に関する手続き、日常生活上の消費契約の手続き。住民票の届出や印鑑登録などの行政手続き。

## 4. 日常のお金の出し入れの手伝い

年金、福祉手当の受け取りに必要な手続き。医療費や税金、社会保険、ガスや水道料金などの公共料金の支払い。生活費に必要な預貯金の預け入れ、払い戻し、解約の手続き。

## 5. 大切な書類等の預かり

年金証書・権利証・保険証書など大切な書類の預かり。さらに預金通帳や印鑑などの預かり。

核家族化の中で一人暮らしの老人に対して、医師は単に医療だけを行ってはいすまされな

い事例に遭遇します。又困っている人をトータルに支援したいと考えても医師だけの力では何とも出来ないことをしばしば経験します。こういう時に大いに利用すべき制度と思われます。又最近では入院患者が金銭管理に利用する例が増加しており、本人のみでなく病院管理者にとっても有難い制度といえます。

利用料が必要であることがこの制度のネックと言われていますが、契約後の利用料は1回1時間800円で、1時間を越える場合は30分ごとに

400円となっていて、決して高額なものではありません。但し生活保護を受けている方の利用料は原則無料となっています。

この制度を利用することにより日常生活に困っている高齢者、知的障害者、精神障害者の生活の質が少しでも向上することを願っています。制度の充実のために県医師会としても協力して参りたいと考えています。

## ご 案 内

### 宮崎県医学会の開催について

近年、ライフスタイルの著しい変化や高齢化社会を背景にわが国の糖尿病患者数は増加の一途を辿り、厚生労働省の調査によると「糖尿病が強く疑われる人」が690万人と推定されています。成人の10人に1人が糖尿病であることを示しています。

このような実態に鑑み、第2回宮崎県医学会のテーマを「糖尿病をとりまく諸問題」として、3名の専門家による教育講演を予定しました。講演時間は各40分間です。糖尿病の専門家でない各科の先生方を対象とした基礎的な講演内容となるよう演者に依頼してあります。多数の先生方にご出席いただきますようご案内申し上げます。

日 時 平成15年 9 月 6 日(土) 14 : 30 ~ 17 : 30

場 所 宮崎県医師会館 地階大ホール

#### ORCA 導入について

宮崎県医師会常任理事

富 田 雄 二 先生

#### 特別講演(各40分)

##### テーマ 「糖尿病をとりまく諸問題」

##### 1. 糖尿病診断のすすめ方(仮)

宮崎医科大学第3内科助手

水 田 雅 也 先生

##### 2. 経口血糖降下剤とインシュリンの適応(仮)

(医)弘寿会 長嶺内科クリニック院長 長 嶺 元 久 先生

##### 3. 糖尿病の食事療法と運動療法(仮)

(医)社団善仁会 宮崎善仁会病院長

中津留 邦 展 先生



その2

(7, 8, 9月号に分けて掲載いたしました)

## 死線を越えて

都城市 柳田病院 ^{やなぎ}柳 ^た田 ^{たく}琢 ^や也

私は、死線をさまよう運命に何回となく晒されながら、不思議なことに運よく生きながらえて今日に至っている。そのうちの2つの体験については、10年程前本誌に寄稿させて頂いた。今回は3つ目の事について記してみたいと思う。

大学に入学したばかりの夏休み、故郷に帰るため鹿児島港で船待ちをしていたが台風接近のため出航が延期となった。台風前の暑さは格別なもので、あまりものその暑さに磯の海水浴場へふらっと出かけた。みやげもの屋で海水パンツを買い、海へと飛び込んだ。自分なりに泳ぎには自信があったので一気に沖へと泳いだ。Uターンしようと頭を上げ海水浴場を眺めた瞬間、頭の中が真っ白になった。海水浴客の姿は、小さくはるかかなたにしか見えなくなっていた。錦江湾は折からの引き潮でさざ波さえ立てて、鹿児島市の沖を北から南へと湾口へ向けて流れていた。必死になって陸地に向かって泳いだが、流されるばかりで自然の力にはどうしても勝てなかった。しかし人間、死を覚悟すると一瞬色んな知恵が生まれるものである。高校時代、泳ぎ疲れて海面で仰向けになり、浮かんだ状態で体を休めたことが何度かあった。手のひらを魚のひれの様にゆっくり動かして浮力をつ

ける。そして吸気を大きくして呼気は小さくし肺の残気量を増加させて更に浮力をつける。こういう訓練をしておくと水温と波の条件さえ満たせば数時間くらいはどうにかなる。疲労と失意の中で母の顔がおぼろに浮かんでは消え、消えてはまた浮かんで来た。運を天にまかせて引き潮の止まるのを待った。桜島丸も2, 3回通過していったが全く気付いてくれなかった。夕暮れもせまる頃、鹿児島市沖をひとまたぎして海水浴客もまばらになっていた鴨池海水浴場へ、やっとのことで泳ぎ着いた。死と隣り合わせの愚で無駄な数時間の行為については、まだ誰にも語ったことがない。

短  
歌黙  
禱延岡市 藤本内科小児科医院 藤本孝一  
ふじもとこういち終戦の暑き日偲びせめてもの黙禱しをりパ  
チンコ台に右手萎え左手に打つは易からずかかる構図  
にパチンコをする今頃はゴルフ場にとふと思ふ萎えにし身な  
ればパチンコに凝る騒音に身をまかせつつパチンコをしをりて  
われは孤独と思ふパチンコと笑ひ給ふな台の前座ればわれの  
心はをどる

## イラク戦争と大学改革

清武町 宮崎医科大学 田村正三  
たむらしょうぞう

国立大学病院のマネジメント改革，国立大学の法人化，国立大学の統合，診療報酬の包括化など，このところ大学病院は改革の嵐である。

先日，イラク戦争が始まり，あっけなく終わった。アメリカ軍の高い技術力と合理的な作戦指導で実に速やかな勝利であった。この度もアメリカ軍の戦死者は極めて少なく，攻撃にもイラク市民の犠牲を最小限にとどめようとする姿勢は余裕を感じさせた。完勝した湾岸戦争の後で

すらアメリカ軍は進歩し続けている。一方，イラク軍兵士は厳しい攻撃にさらされ，多数の戦死者を出した。圧倒的な軍事力の前に，個々の兵士の勇気も精神力もほとんど何の役にも立たない死だったのではないだろうか。

日本もかつて太平洋でアメリカと戦った。アメリカ軍との戦いがどんなものか吉田 満の「戦艦大和ノ最後」に垣間見ることが出来る。徹底的に合理性を追求するアメリカ軍の戦いぶり

に対し、日本軍が様々の盲信、根拠のない楽観主義などに縛られ、合理的に考え行動できなかったことが戦いの帰趨を決定した。戦争末期とはいえ、戦艦大和による沖縄への海上特攻という考えも合理性を欠いている。また、敗北の原因を一律に訓練や精神の不足に帰する指導者の怠慢が徹底的に批判されている。若干21歳の臼淵大尉は悲痛に呟く。「進歩のないものは決して勝たない。負けて目覚めることが最上の道だ…」。

戦後、幸い戦場で我々の合理性が試される機会はなかった。しかし、日本が平和のうちに驚異的な発展を遂げ世界第2位の経済大国になった現代、日本人は様々な既得権や過去の成功体験にしばられて、再び自由で合理的な精神を失っていないだろうか。その間もアメリカは自己改革を怠っていないようである。このところ、大学病院も変化の速度が増しているのを感じる。医療の世界でも、この度の大学病院改革を、真に合理的で役に立つ医療・教育システム構築を目指す取り組みのきっかけとするべきである。

## 原田, 日高両先生と 宮崎市郡医師会病院

宮崎市 河野産婦人科医院 かわの 河野 とおる 通

原田政邦先生、日高祥久先生とお別れしてから、それぞれ7年、4年になりました。今回、宮崎県医師会広報委員会から投稿の依頼があり、良い機会だと思いますのであえて筆をとり、その後の宮崎市郡医師会病院の経緯について御報告したいと思います。

先ず、開院当初から行っておりました運営委員会においては、原田先生が得意のコンピュータを使い緻密な頭脳で鋭意工夫され作られた統計・図表・財務諸表は今日も尚そのまま使用されています。日高先生が厳正中立の精神で、自分の病院よりもさらに努力された宮崎市郡医師会病院の医療機器、薬品の購入方法等も原案のまま受け継がれています。あらためて両先生の御尽力と先見の明に対して敬意を表します。有難うございました。開院早々の昭和59年6月のボツリヌス中毒症患者の入院時には、医師会病院勤務の医師全員で診断治療にあたり、両先生には抗血清剤の確保に懸命の努力をして頂いたことは昨日のことのようであります。この頃は多くの救急患者の入院が続いており、宮崎市郡医師会病院が救急医療、地域医療の中核病院であると確信したことを覚えております。

次に、綾部会長以下現執行部のご努力によって、医師会病院北側の敷地約2,000坪に平成13年2月より訪問看護ステーション、在宅介護支援センターが開設され、更に13年12月には緩和

ケア病棟を含む新病棟の開設、14年2月に30床の増床が認可され病床数248床となりました。現在の医療界の流れに沿った立派な建築であり、宮崎市郡医師会会員の後方支援機関として十分に活躍しております。

最後に、私は救急医療体制の確立に尽力したとのことで、宮崎県医師会、宮崎市郡医師会の推薦により、平成14年11月1日、日本医師会から最高優功賞を授与されました。宮崎市郡医師会会員の先生及び両先生の御協力のおかげだと心より感謝します。

以上、御報告いたします。

## 帯 患 帰 郷

高千穂町 国見ヶ丘病院 つちもち たか ひこ  
土 持 隆 彦

今年がわが国でテレビ放送が始まって50周年に当たるということで、NHKでは、いろいろ過去の番組を再放送している。テレビ小説「おしん」もその中の一つである。5月に放映された中で、紡績工場に働きに出ていたおしんの姉が、結核に罹患して家に帰され、終には死亡するシーン

があった。これこそまさに、父が生前時折口にしていた「帯患帰郷」＝病を得て故郷に帰る、である。かつてはこのおしんの姉と同じような事例が、私達の近くでも稀ならずあったのである。そのような患者を亡父は幾人も診ていたのであり、私も子供の頃に、痩せ細って、本当に蠟のような透き通った肌になった若い女性を見たことがある。

ドラマはたしか1916年か1917年のことであり、当時わが国には未だ健康保険制度などなく(わが国の健康保険法公布は1922年4月)、病気になった労働者は僅かな見舞金(それもあったかどうか分からないが)で、解雇されていたのであろう。

ところでこの帯患帰郷という言葉は既に死語になっているのであろうか。というのは、1970年代のある時、父がある調査に来られた某大学の先生に、「あの家は帯患帰郷者がいて、次々に家族内感染を起こしてほとんど一家全員肺結核で死亡した」というような説明をした時、「帯患帰郷とは何のことですか」と聞き返された、と話していたことが記憶に残っているからである。おしんの家では幸い、家族内感染は起こらなかったようであるが。

そして連想は今問題の新型肺炎(SARS)へと跳ぶ。もしこの病気の感染者が未だ症状が出ないうちに、患者と接触したこと、あるいは汚染地域に滞在していたことなどが不明のまま、またはそれを隠して家に帰って発病したら、どういうことになるか。これは単なる杞憂に過ぎなかったということで、終息宣言がなされることを切望するものである。

## 急性心筋炎

宮崎市 もり森 みつ満 たもつ保

それは極めて不思議な発症であった。今年 3 月 4 日朝、体温 37.7 度、所得税確定申告に行く、午後ズーッと胃全体がシクシク痛んだ。食欲なく焼酎五勺の晩酌が飲めなかった。5 日朝、耳管開放症が起こった。鼻をすすると治るが、すぐに自声強調が再発した。国立科学博物館から集団上陸イルカの冷凍頭が届き、医大動物センターで解剖。ステヌルス属寄生虫を耳胞内に多数発見した。道具を振るう腕が疲れやすく、咳が出て痰が白く泡沫状なのが気になった。午後、予定の高齢者免許更新講習会を受けた。運転実技も諸テストも、やや優れていると判定されたが、暗順応が遅く合格ギリギリであった。終わって数十メートルの駐車場まで歩く足が重く感じられた。車を車庫に入れ、裏木戸 5 段の階段が上がれずに、手を着いてやっと這い上がり居間に倒れこんだ。本来は高い血圧が 120/80、脈 120 で不整・微弱、手足が異常に蒼白で冷たい。次第に呼吸切迫し始めたが、胸痛など痛みと言うものは全くなく、意識も正常で、何が起きたのか全く自己診断できなかった。夜 10 時、我慢できなくなり小田先生に往診をお願いした。梗塞などの緊急事態ではないと様子を見る事とした。6 日朝、呼吸困難が増悪、吸気が半分ほどで、ピタッと蓋をしたように入らなくなった。血圧 100 前後、微弱不整で測定困難。午後 1 時小田先生来診、即座に先生の車で医大 CCU に担ぎこんで頂いた。肝腎機能は高度に低下、血液凝固を示す D-dimer、CRP が高値。次々と秩序だった

最新検査が繰り返され、適切な治療が始まった。心不全と肺水腫で DIC 寸前であったが、9 日には大欠伸が出て、点滴も逆流しなくなった。尿量も数リッターになり、薄紙ならぬ、ダンボールを剥がす様に回復した。17 日に退院。急性心筋炎と診断された。そして 4 月 13 日予選、20 日決勝の G・シニア・クラブコンペに優勝できた。小田先生、第一内科江藤教授と諸先生方、命を助けて頂き本当に有難うございました。

## 戦時下の民衆

宮崎市 宮崎医療センター病院  
むら村 た田 ためし比

戦時下、銃後も前線も見境のつかぬ混乱の中、医学生であった私達仲間が体験した苦々しくも懐かしい感覚をパロディにした川柳を紹介したい。

- 非常時の乞食黙殺されている
- 長期戦えさにも劣る米を食い
- 弁当の検査白米うろたえる
- よく噛んで食べれば又も石を噛み
- 電柱の再生と聞き箸を投げ
- 風呂敷え売っていただくものを入れ

- 増産の秋が道路をせまくする
- ただくれるわけでもないがみな並び
- なかばからもう無いらしいパンの列
- 散水車スフのよそ行きとびあがり
- 純綿え継ぐ純綿が見当らず
- 石鹼はないかと里帰り
- 代用の靴は毛皮の見える皮
- 下駄ばきは禁ず草履はみんな切れ
- 鉢の木のように桜も松も伐る
- 主婦の友もうお化粧の秘訣なし
- 衣料切符なんの姑手離さず
- 開けりゃ蚊が閉めれば暑い外は月
- 産むだけは統制令に除外され
- 酒煙草止せとは言わぬ課税率
- 学歴のない我々とふてくされ
- 英語科の教師猫なで声を出し
- 灯火管制宵寝せよとは言っていない
- 国債を残しただけでナスは消え
- 気がねして汲めば釣瓶が音をたて
- 県境の橋でいなく徴発馬
- 劇場優待寝たほうがよい模範工
- 蹴って脱ぐ蒲団の足に巻脚絆
- 腹巻きの五銭銅貨に母がいる
- 会わないで発ちます夜の伝言板
- 征った子の姿が残る曲り角
- あの方も神の妻かとふり返る
- 大戦果白衣は黙って聞いただけ
- 生きていればまた来る花の春が来る

## 煙 草 の 無 い 生 活

宮崎市 こんどう形成外科 近^{こん} 藤^{どう} 方^{まさ} 彰^{あき}

昨年の暮れで禁煙しました。直接の原因は、愛飲していた煙草が製造中止になったためです。非常にマイナーな煙草で、自販機や煙草屋にはまず置いてなく、私も近くの煙草屋に頼んで取り寄せて貰っていました。

昨年の9月にとうとう品切れになり、代わりの煙草探しが始まりました。数か月経って、それなりに気に入ったものが見つかった頃です。突然、煙草を吸っている自分の姿が嫌になりました。煙草を買いに行くのも、煙草とライターを持ち歩くのも、灰皿を捜すのも、煙草に関するすべてのことが面倒になってしまいました。それならこの際一気に止めてしまえということで、早速薬局にニコチンテープとニコチンガムを買いに行き、12月30日に禁煙を開始しました。

その後の経過は全く順調で、6週間でテープから離脱しました。ニコチンガムは最初に少し使っただけでかなり余ってしまいました。

喫煙衝動は全く問題にならなかったのですが、

いくつか困ったことが起こりました。まず全身の痒みです。テープの貼付部位だけではなくたので、ニコチンの離脱症状のひとつなのでしょう。この搔痒感は2～3か月で無くなりました。次は味覚の異常です。本来の感覚に戻ってきたということなのでしょうが、何か生臭いような変な感じでした。これは今だに続いています。その他、よく言われることですが、肥りました。用心してはいたのですが、また、お酒が弱くなったというか、悪酔いするようになってしまいました。手持ち無沙汰でつい量が多くなるのでしよう。

30年ぶりに戻ってきた煙草の無い生活です。まだ慣れないことがいくつも有りますが、香を焚いたり、食べ物やお酒の量を減らしたりと、少しずつ新しい生活パターンを作っていっています。これもまた一つの楽しみになっています。

## 八 千 代 座

宮崎市 日高クリニック ひ だか まさ あき  
日 高 正 昭

八千代座に板東玉三郎の“ふるあめりかに袖はぬらさじ”と言う芝居を見に行った。八千代座は門外漢の私は知らなかったが、あの灯籠まつりで有名な熊本県の山鹿市にあり、江戸時代の歌舞伎小屋の様式を今に伝える良く知られた芝居小屋だそうである。

花道の外側と2階が棧敷席、中央部に枡席があり椅子席は最後列に補助的にあるだけで劇場としてはあまり大きくはない。私たちは枡席で、膝の悪い年寄りには少し厳しいのではないかと先ず覚悟したが、最後まで保てたのは玉三郎の妖しい美しさに魅せられたのであろうか。彼はこの小屋が好きで好んで出演するので、これからも度々見に来るのだと同行の家人たちは言う。枡席は窮屈で好ましくはないが相撲のに比べると大分ましのように思われた。

私は20代のころ鏡獅子を、何かの観劇会で1回見た記憶があるきりで、芝居を見るなど風流なことには縁がなく、テレビで放映される歌舞伎などを見ても、レンズを通して克明に、厳しくクローズアップされたりするとそれだけで意欲を無くしてしまっていたのだが、今年の正月歌舞伎座に、生まれて初めて家人のお供で行く機会を持った。あのあたりは今すごい繁華街だがその昔、恩師のM教授が旅館に帰る途中に、暗がりでは追い剥ぎに遇ったと言う、今は到底信じられない様な話もあった所なのである。

歌舞伎座で見た出し物は同じく玉三郎の、妖艶な長い時間のかかる踊り京鹿子娘道成寺で家

人は私の居眠りを、そして鼾を警戒していたらしい。しかし睡魔に引きいれられて、こっくりこっくりするのも、好い気持ちでなかなか捨てがたいものである。

切符を入手するのには一苦労あるらしいが、今後も機会がある限り出来るだけお相伴して耽美的な世界を覗いて見たいと考えている次第である。

玉さまに眠り誘われ小突かれる  
留守番も嫌で芝居に着いていく

## 私 の 季 節 感

宮崎市 影山内科医院 かげ やま ひとし  
影 山 均

私は春から夏が好きで、秋から冬は嫌いです。梅雨も暖かいので嫌いではありません。去年の春は、自宅の植木鉢に製薬会社からいただいた風船かづらの種をまき、秋まで楽しみました。今年は郵便局でもらった矢車草の種と家内が選んだ朝顔の種を植木鉢に植えました。どちらも

植えた3日後には元気に芽を出しました。生き生きとした様子をみることはなんとも嬉しいものです。思い出されるのは、結婚後にカナダPEIのポイントプリムでみた、パイナップルの香りがする野草のことです。これは英国式庭園を上回る光景でした。静かな波打ち際に立つ白い灯台の下に黄色い小さな花をつけた野草が穏やかに咲いていました。この地では観光シーズンは短く、秋を過ぎると突風が吹き、厳しい寒気が来ます。可愛らしい家々も積雪やブリザードへの対応が施されているそうです。飛行機が離陸するとき、ふと窓から見下ろすと、牧場の中にパステルカラーの屋根をもつ家が点在し、まさに絵画のような風景が広がっていました。ほどなく飛行機は雲間に入り風景は消え去りましたが、忘れられない風景の一つです。

冒頭に秋から冬は嫌いだと書きましたが、内省的になるため、音楽を聴くにはもってこいです。私は、昔のようにレコード店巡りはしなくなったかわりに、時に名前を思い浮かべては、少し頭の中で再生してみます。ヴィクトリアエレイソン、セリーナゴンザレス、アルフレードグティエレス等、何を歌っているのか分らない異国の音楽でも心に触れるのは何故でしょうか。その音楽が生まれた瞬間に居合わせたかっと思ふことがあります。もっとも治安の悪い場所が多いのが難点で、買ったレコードの中には背景を知らないため、理解に苦しむ音楽があるのも事実です。

尚、今年は、私に関していえば食欲の秋を卒業して、スポーツの秋にするべきかもしれません。

## 晴天乱流(エアタービランス)

都城市 宮崎県健康づくり協会都城事業所

とび まつ のり お  
飛 松 憲 夫

通常航空機の事故は離着陸時の発生が最も多く、水平飛行に移れば一様に安堵しますが少しでも揺れると空の上の事だから恐怖感が強いのは普通です。雲中とか雲の真上では揺れも予想できますが、雲一つない日本晴れの空の旅は静かで楽しいものです。しかし、冬、北風の吹く富士山周辺はすっきりと晴れている日は却って怖いのです。北風は富士山に当たって上昇、下降して気流が乱れて晴天乱流となり百トンを超す巨大な航空機を百メートル以上も突き落とし、破壊して墜落させる事があるからです。現に昭和41年3月5日イギリス航空 BOAC のボーイング707機が富士山南側上空で、真っ二つに折れるようにして墜落し124名が犠牲になりました。当日は富士山の全貌が見える程の晴天でした。と言うのもその日私も冠雪の富士山を上空から見ている似た様な体験をしたからです。私はその日公務で埼玉県入間基地から複座のジェット練習機で飛び立ちました。朝から良く晴れた素晴らしい天気だったので、上空から見る富士山はさぞ綺麗だろうとカメラ持参でした。パイロットも「今日の富士山は綺麗ですね」と言うので北側上空から良いアングルになるまでチャンスを待ちながら構えていたときです。いきなりドーンと凄い音と共に飛行機が落ちた感じになって、肩バンドで固定されている筈の私の身体が跳び上がって、嫌と言うほどヘルメットを天蓋にぶっつけてしまいました。ベテランのパイロットも

「今のは酷かったですね？」と驚くほどでした。墜落せずに良かったねと話しているうちに操縦席の足元から紫がかった煙が出てきて操縦席に充満して来ました。直ぐパイロットが操縦は効くから近くの基地で点検しましょうと言って浜松基地に降りて調べた所、案の定機内の脚でオイルパイプが破れていて発煙したようです。新田原到着後、BOAC 機の事故を知り改めて晴天乱流の怖さを実感した次第です。

## 旅 と ネット 通 信

清武町 宮崎医科大学 え とう たね なお  
江 藤 胤 尚

5月中旬にニューヨークに、6月中旬にベルリンとミラノに滞在する機会があった。60年前には敵味方に分かれて戦った国々に前後して旅したことになる。3つの都市には異なる歴史と文化があるものの、グローバル化の進んだ現代では、旅をする上で特別な支障は感じない。

ニューヨークでの学会はタイムズ広場にあるマリオットホテルで開かれたので、そこに滞在した。設備の整った快適なホテルで、インター

ネットの端末が各部屋にあり、モバイル・パソコンで日本との交信も可能であった。国内を2日以上旅する場合、モバイルを持参し、電話回線を利用した通信や、原稿書きに利用している。外国ではネット接続に特別な設定を要するので、今回は持参せず、惜しいことをした。そこで、欧州旅行にはモバイルを持参することにした。

国内外の空港ラウンジにはパソコン通信を快適に行う設備が整っている。最近は飛行中の座席にもパソコン専用電源が用意されており、機上での原稿書きが今回も大いにはかどった。ベルリンでは西側のショーウィンドウと称されたクーダム通りに近いホテルに、ミラノでは大聖堂に近接するホテルに滞在した。しかし、この2つのホテルとも、ネット通信の設備は皆無であった。しかも、200Vから100Vへの変圧器のソケットが合致せず、パソコンのワープロ機能すら使用できなかった。

今回の旅の印象では、ネット通信の進んだ米国は独伊に大きな差をつけているようだ。この点、日本は米国に近い、いい線を行っているように思う。しかし、欧米の旅先から日本と自由にネット交信ができる時代も、そう遠くないところまで来ているように感ずる。ただ、ネット通信のグローバル化を推進する前に、電圧やソケットサイズなど、単純な問題をクリアする必要があろう。

## 義 弟 の 旅 だ ち

宮崎市 新城眼科医院 しん じょう うた こ 新 城 歌 子

1978年6月、私が眼科を開業したとき、金の出し入れに信用出来る人が絶対に必要なのだと、夫の12歳年下の弟を口説いて事務長にした。当時まだ独身で、「よいお嫁さんを捜してあげるから」も条件の一つであった。「本人は良くは知らないのだけれど、お母さんがいい方だから」とお世話くださる方があって結婚し、4人の子供にも恵まれた。2002年7月には家を新築、引越し予定の報告をうけるのと前後して、定期検診での彼の異常を知った。食道癌の、しかも相当に進行した状態であった。

8月に手術、9時間もかかったが、完璧な手術、術後の回復の早さに、進歩したのは、眼科ばかりではないのだなあと変なところに感心した。11月には眼科に出勤してくるようになった。しかし手術で廓清したリンパ節の一つへの転移が見られ、再発は予想された。義妹は看護婦で「一日でも長く生きていて欲しい」と気丈に受け止めて、でも涙ぐんでいた。

2003年3月には医師会病院の緩和ケア病棟にお世話になることになった。病棟は面会の制限時間も無く、季節の花が受付や、廊下のテーブルの上にさりげなく飾られて暖かい。テラスから芝生の庭に出ることが出来る。食事もよく工夫されている。初めの日、「いつもは食欲が無いのに今日は殆ど全部食べた」と喜んでいた。が、日々確実に弱っているのに、「家に帰りたい」と言い出した。患者の希望は受け入れられる。往診をして下さる先生と、訪問看護、ベットその

他器械のリースなどの手配をして下さり、自宅療養が出来ることになった。約1か月の自宅療養で、家族に囲まれて臨終をむかえた。

終末の医療が恵まれてきていることを感謝した。私の時代を支えて、もう終わったからとばかりにさっさと旅立ってしまった義弟に「本当に有難う。でも私も約束どうりいい奥さんを捜して上げたわよね」と話しかけている。

## 再 び 花 を

木城町 よし吉 だ田 たかし隆

妻が逝ってから1か月位経った頃、久しぶりに蘭小屋をのぞいた私は愕然とした。70余鉢の寒蘭が全部見事に枯れているではないか。20年も親しみ可愛がってきた寒蘭が無惨な姿になっていた。可哀相なことをしたと慚愧の念にたえなかった。

癌という名の闖入者のために妻の入院生活を余儀なくされ、蘭の世話どころではなかったと自分をひどく責め、しばらくは寒蘭から遠ざかっていた。

ところが昨年診療所をやめたところ僻地の人達が慰労会を催され、その時寒蘭を10株位いただいた。更に都農の知人からも、蘭が全滅だったと聞いて20株位とどけて下され、再び寒蘭を育てようと意欲が湧いて昨年の県の寒蘭展示会では、最優秀賞に輝いた「華神」を1株買った。北郷町の産業祭に行った時、猪之八重産の寒蘭

を2株買ってきた。一応数も揃い、気持も落ち着いて生活にも自信ができたので蘭小屋を新しく建て、友人の専門家に、土のこと、施肥のこと、水やり、鉢の植えこみ方など、又日々の手入れをしっかりと教わって本格的に寒蘭の培養をすることにした。寒蘭は山中でひっそりと咲き、孤高の美しさを保ち一見淋しげに見えるが実に素晴らしい花である。白、紅、桃、青、更紗、葉をたのしむ覆輪など色々あるが、私はどの花でも美事に咲かせる事に意義があると思う。どの花もそれぞれ特徴があって美しく可愛らしい。花の時季になると愛好者があつまって、花を批判したり自慢しあうのも楽しい。以前(30年位前)は往診の途中でも一寸山に入れば1株2株みつけたものだったが今はもう断崖の危険な所にしか見当らない。蘭は丁寧に手当をしたり、愛情をかけると素直に応えてくれるものだ。今年の春は新芽が沢山でたから、秋に花がそれぞれ一杯咲いて私の目をたのしませてくれるだろう。毎日朝夕の手入れは少しも苦にならない。有銘、無銘の寒蘭の素晴らしい開花が待ち遠しい。

## ゴルフの思い出

三股町 山下医院 ^{やま}山 ^{した}下 ^{ひろし}博

約30年前から健康保持のためゴルフを始めた。ハンディは始めた年齢の半分になれば一人前との話であった。23でいいと思って始めた。

当時都城医師会でシングルはA先生一人であった。第1回医師会ゴルフはY薬品の肝いりで桜島C.C.で行われた,その後転々として現在霧島C.C.に落ち着き続いている。練習は土・日曜にトーアでした。200Yの打ち放し,その周囲に9ホールのショートコースがあり,いつも賑わっていた。夏になると早朝練習に若葉町まで朝6時に出かけ7時過ぎに帰ってきた。本番は鹿児島空港C.C.にはF先生の車に,霧島C.C.にはS先生の車に乗せていただきプレイした。その後末吉町に三州C.C.ができ,高峯会(メンバー有志の会)に入れてもらい月1回出かけた。ハンディも何とか19までなった。現在は医師会のアルツト会(シニア会員)のみ月1回出ている。ダブルペリアで運次第で優勝もあるから面白い。

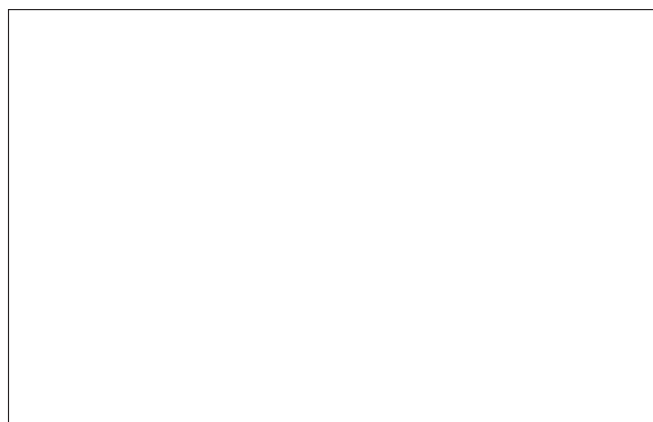
N・Pねらいを楽しみにしている。今年三州No.16(199Y), レインボーNo.9(168Y)でN・Pをいただいた。忘れられない事が2000年4月9日におこった。レインボーの開場記念日にNo.9の池越えのショートホールでホール・イン・ワンをした。打つ前にパートナーの江夏さん(商事社長)がホール・イン・ワンの話をキャディなどにされていた。小生が打ってしばらくして,「入った,入った」と喚声が上がった。打った本人はボールがどこに飛んだか分からない。グリーンに上がってみるとちゃんと入っていた。

思い出のゴルフ場は大箱根C.C.である。広々とした土地にキャディが2人つき殿様ゴルフをした。プレイ代も宮崎の5倍位だった。

又,チェジュ島の長い長いロングホールは忘れられない。

気持は昔のままで体力は低下している。150Yを越えるとⅢ番アイアンになる。

当医師会で傘寿をすぎてプレイしているのはF先生, T先生お二人である。ぜひあと3年頑張りたい。

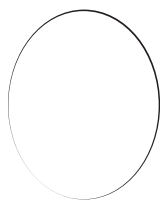


## エコー・リレー

(336回)

(南から北へ北から南へ)

## いつのまにか50歳

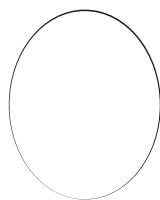
宮崎市 福田胃腸科・内科クリニック はら ぐち やす あき  
原 口 靖 昭

多くの人がそうであるように、私もいつまでも若いつもりでいました。しかし昭和27年生まれの私も昨年50歳になり、周りからはいいおっさんに見られる世代の仲間入りをしたようです。

もう父親の病死した年齢を越えたのだと思うと、ひたひたと齢が押し寄せてきます。周囲の見方が急に変化したようには感じませんが、体の曲線、皮膚のたるみ、腰痛、物忘れ、気力、士気の低下など日常では頻繁に年齢を感じるようになって来ました。動く前に口が出るのも同じ事の現れでしょう。この時期は子供が親離れした寂しさや親の介護の疲れなどを経験し、幾多の先人が経験した事を我もまた悩むのかと少し滅入ってしまいます。50歳近くになるまでは夢中で生きてきたような気がしますが、これからは周囲に気を使いながら生きるのではなく、周囲も楽しくなるように工夫をしながら、もちろん己が最も楽しめるような生き方をしたいと思いはじめています。宮崎での生活が長く、性格に難があるにもかかわらず、同窓会から職場の方々まで多くの方と今でも楽しくお付き合いをできるのは、50年の人生の強みだと信じています。また、宮医大第1内科に長年在籍させていただったので、研究室仲間が多くおり、定期的に集まりますが、これがまたなかなか楽しい会になっています。これからも皆さんよろしくという心境です。きらきらした50代を送りたいものです。

[次回は、串間市の中島昌文先生にお願いします]

## マイク

延岡市 井上病院 いの うえ ひろし  
井 上 博

今から33年前、大学に通っていた私が夏休みに帰省すると、マイクと言うアメリカの少年がホームステイしていた。私の両親には、お父さん、お母さんと言っていたが、日本語はほとんど話せず、英語を全く話さない母とは、母の巧みなジェスチャーで意思の疎通をはかっていた。端で見ていてもその光景は滑稽であった。彼もそう思っていたのか自分のことは棚に上げて、その内、母のことを「ミセスファニー」と呼ぶようになった。

またその年の冬には東京の私の下宿に遊びに来たが、彼の食費にと余分に送金してもらっていたにも関わらず私がいちいち使込んでしまっていたために毎日カップラーメンばかり食べることになり、未だに恨み言を言われる。1年間の楽しい思い出を残し、彼がアメリカに帰ってから、折にふれ連絡を取り合っている。彼に長女が誕生した時は、口蓋裂で非常に心配し、写真を送って来て相談を受けたこともあった。昨年の夏にはその彼女が高校の夏休みを利用し我が家に遊びに来た。とてもチャームングで明るく育っており安心した。

先月その彼女から両親の結婚25周年記念に「びっくりパーティー」をやるからぜひ参加してくれとのメールをもらった。時間の都合がつかないため、私の長女に「代わりに行くか？」と聞いたら二つ返事で行くと言う。向こうでは大変な歓待を受けたようだ。

考えてみると私とマイク、それぞれの両親、そして子供達と、三代に渡り交友が続いている。先日マイクからも、私の娘が訪問した時、ちょうど彼は、彼が初めて我が家に来た時の私の父と同じ年令になったと言って来た。

娘達の代になり新たなステージに移ったことはうれしいことではあるが、なんだか寂しくもある。

[次回は、国富町の日高令一郎先生にお願いします]

## グリーンページ

## 経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2003 (骨太の方針 第3弾)

副会長 志 多 武 彦

政府は6月27日、標記の基本方針を閣議決定した。医療制度改革では高齢者医療費の伸びの適正化や、公的保険の給付内容・範囲の見直し等の検討、基本方針2001の「医療サービス効率化プログラム」の工程表の再作成と早期実施を求めている。

尚、年金改革では一定水準に負担を固定した給付自動調整などを提示し、国と地方の改革では国庫補助負担金の縮減と税源移譲(三位一体)を明記している。

基本方針は6月26日の財政諮問会議でまとめられた。

〈基本方針2003の柱〉

### 第1部 日本経済の課題

1. 日本経済の体質強化
2. デフレの克服
3. 「3つの宣言」と「7つの改革」(別表)

### 第2部 構造改革への具体的な取り組み

1. 規制改革・構造改革特区
  - (1) 「規制改革推進のためのアクションプラン」12の重点検討事項
2. 資金の流れと金融・産業再生
3. 税制改革
4. 雇用・人間力の強化
5. 社会保障制度改革
  - (3) 医療制度の改革
6. 「国と地方」の改革
7. 予算編成プロセス改革

### 第3部 16年度経済財政運営と予算のあり方

1. 経済財政運営の考え方
2. 平成16年度予算における基本的な考え方

以下、重要部分を抜粋して掲載する。

#### 第1部 日本経済の課題

##### 「3つの宣言」と「7つの改革」(別表)

補) 将来世代に責任が持てる財政の確立

現行制度を維持する場合、公債残高の増加に伴う利払い費の増加、高齢化の進展による社会保障給付費の増加等により、今後、政府の規模は、趨勢的に増大していくこととなる。プライマリーバランスを黒字化する(過去の借金の元利払い以外の歳出は新たな借金に頼らない)など財政を健全化していくため、民間需要主導の持続的な経済成長を実現すると同時に、政府全体の歳出を国・地方が歩調を合わせつつ抑制することにより、例えば潜在的国民負担率で見て、その目途を50%程度としつつ、政府の規模の上昇を抑制する。

### 第2部 構造改革への具体的な取り組み

#### 1. 規制改革・構造改革特区

##### 【改革のポイント】

- (1) 医療・福祉・教育・農業など、官の関与の強いサービス分野の民間開放を促進することにより、消費者・利用者の選択肢の拡大を通じた多様なサービス提供を可能とす

るとともに、新規需要と雇用の創出を加速化する。

- (2) 地方や民間から定期的に全国規模の要望及び構造改革特区の提案を受け付け、これらの項目については、「全国」あるいは「構造改革特区」で規制改革を強力に推進するとともに、構造改革特区においては、規制の特例措置の効果等を評価し、特段の問題のないものは速やかに全国規模の規制改革につなげる。

#### 【具体的手段】4 項目のみ抜粋

- (1) 「規制改革推進のためのアクションプラン」(平成15年 2 月17日総合規制改革会議。以下、「アクションプラン」)の12の重点検討事項については、次のとおり改革を進める。

##### ①株式会社等による医療機関経営の解禁

構造改革特区における株式会社による医療機関経営の状況等を見ながら、全国における取扱いなどについて更に検討を進める。(構造改革特区における株式会社の医療への参入については後述)

##### ②保険診療と保険外診療の併用の拡大

特定療養費制度における高度先進医療について、一定の基準を満たした場合には、医療技術及び病院ごとの個別の承認を必要とせず、迅速に認める仕組みについて検討し、結論を得て、平成15年度中に措置する。また、医療技術の向上の観点から、高度先進医療への新技術の導入の迅速化を図ることにより、対象技術の範囲の拡大を促進する。

##### ③医薬品販売体制の拡充

医薬品の一般小売店における販売については、利用者の利便と安全の確保について平成15年中に十分な検討を行い、安全上特に問題がないとの結論に至った医薬品すべてについて、薬局・薬店に限らず販売できるようにする。

##### ⑦労働者派遣の医療分野への適用拡大

医療機関における労働者派遣については、紹介予定派遣の方式により行うことを可能とし、平成15年度中に実施する。

#### 5. 社会保障制度改革

世代間・世代内の公平を図り、持続可能で信頼できる社会保障制度に改革する。

#### 【改革のポイント】

- (1) 経済と調和し、かつ、国民生活の安心を確保できる、持続可能な社会保障制度を確立することが、経済社会の活力の源である。このため、活力ある高齢社会を構築する中で、国民の安心を確保しながら、社会保障給付費の伸びを抑制し、国民負担率の上昇を極力抑制する。
- (2) 年金制度は、現行制度のままでは、若年世代の負担が過重なものとなり、世代間のバランスを失することになってしまうことから、給付と負担の改革を行う。また、「生涯現役社会」や「男女共同参画社会」の理念に合致した制度に向けた改革を行う。
- (3) 保険者の再編・統合、高齢者医療制度、診療報酬体系についての基本方針の早期具体化、増大する高齢者医療費の伸びの適正化方策や公的保険給付の内容及び範囲の見直し等の課題の早期検討・実施、「今後の経済財政運営及び経済社会の構造改革に関する基本方針」(平成13年 6 月26日閣議決定。以下、「基本方針2001」)に盛り込まれた「医療サービス効率化プログラム(仮称)」の早期の完全実施など、医療制度改革を加速する。
- (4) 年金・医療・介護・生活保護などの社会保障サービスを一体的にとらえ、制度の設計を相互に関連づけて行う。

#### 【具体的手段】

- (1) 社会保障給付費の伸びの抑制

今後の一層の少子高齢化の進行の下で、政府の規模を抑制するとの方針を踏まえ、医療制度改革を加速するとともに、年金制度や介護制度について新たな改革を行い、持

続可能な制度を確立し国民の安心を確保しながら社会保障給付費の伸びを抑制する。その際、自助努力や民間部門の活用を図ることが重要である。

### (3) 医療制度改革

国民皆保険制度の下で、医療サービスの多様化・質の向上と患者による選択の拡大を図るとともに、公的医療費の伸びの抑制を図り、経済・財政とも均衡のとれたものとなるよう、持続可能性のある医療制度への改革を引き続き推進する。

- ①本年3月に閣議決定した保険者の再編・統合、高齢者医療制度、診療報酬体系についての「基本方針」の具体化について実施可能なものから極力早期に実施していく。
- ②増大する高齢者医療費の伸びの適正化方策や、公的保険給付の内容及び範囲の見直し等の「基本方針」以外の課題について、早期に検討を行い、実施する。
- ③「基本方針2001」に盛り込まれた「医療サービス効率化プログラム(仮称)」について、工程表を改めて作成し、早期の完全実施を行う。

## 第3部 16年度経済財政運営と予算のあり方

### 2. 平成16年度予算における基本的な考え方

「官から民へ」、「国から地方へ」といった改革を全面的に推進する。また、財政規律を維持しながら民間需要や雇用を創出するために、予算を「根元」から見直し、大胆なメリハリをつけ、将来のために活用する。さらに、持続可能な財政の構築に向け、簡素で効率的な政府を実現する。

#### (1) 歳出改革路線の堅持と財政の持続可能性の確保

- ・「改革と展望」において示された「政府の大きさ(一般政府の支出規模のGDP比)は現

在の水準を上回らない程度とすることを旨とする」との方針を踏まえ、平成15年度予算は一般会計歳出及び一般歳出ともに実質的に平成14年度の水準を下回るものとなった。現在の財政の状況に鑑み、平成16年度予算においても、昨年度同様の歳出改革路線を堅持する。また、国債発行額についても極力抑制する。

- ・また、特別会計や地方を含めて捉え、政府の大きさ(一般政府の支出規模のGDP比)を極力抑制することを目指す。

#### (3) 主要予算の改革

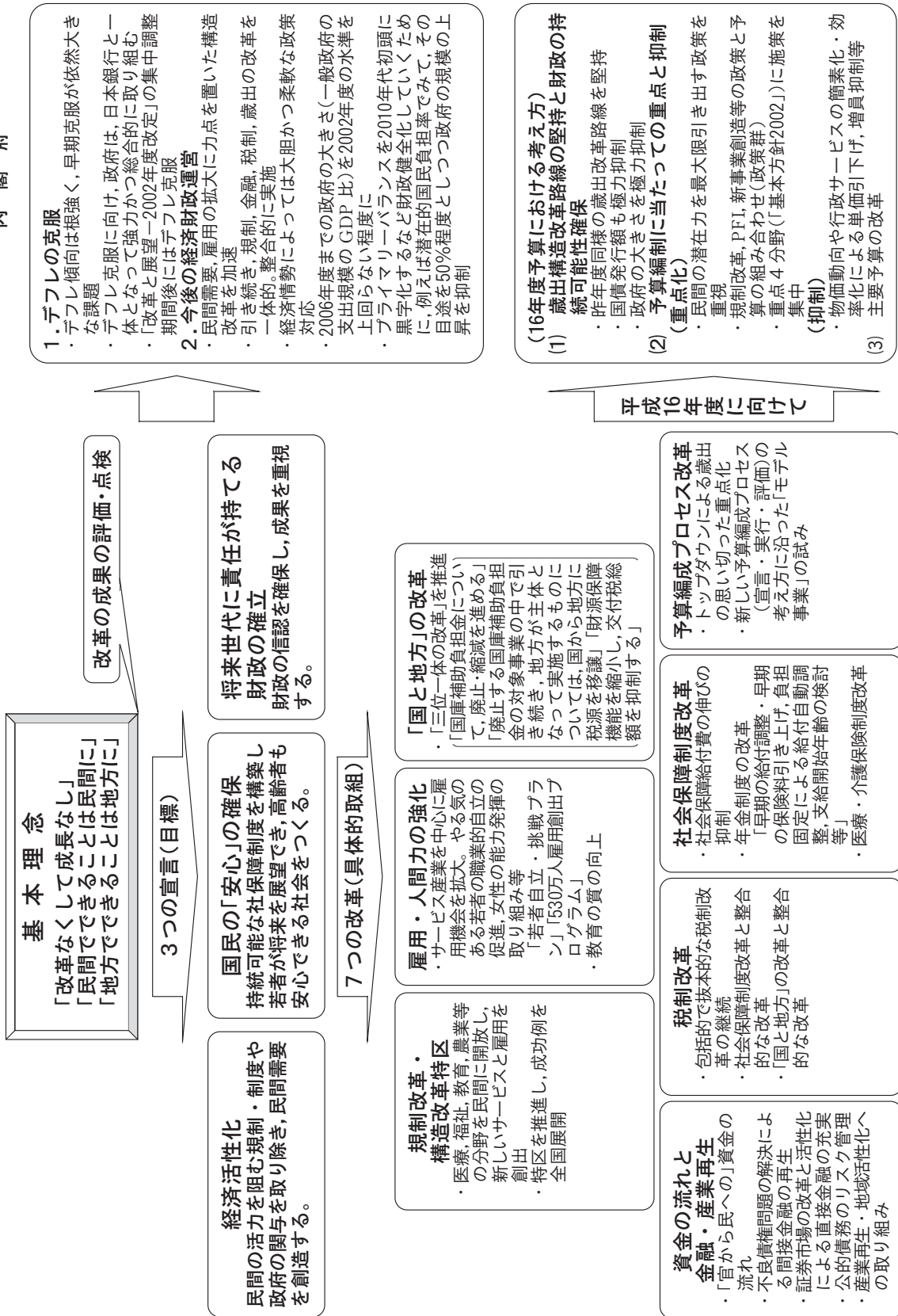
歳出の聖域なき見直しのためには、緊要性・政策効果等について「根元」から洗い直し、「官から民へ」、「国から地方へ」、「利用者選択の拡大へ」、「ハードからソフトへ」といった基本的な考え方に沿って、効率化・削減を強力に推進する必要がある。このため、概算要求段階から、以下の観点に立った歳出構造改革に取り組む。その際、政策評価等の結果を一層活用する。

##### ①社会保障

社会保障については、一般歳出の約4割を占め、年々増加する社会保障関係費の伸びの抑制が財政上の最大の問題である。このため、概算要求段階及びその後の予算編成過程において、社会保障関係の自然増を放置することなく、「第2部 5. 社会保障制度改革」を踏まえ、年金をはじめ医療・介護・その他の分野の制度改革等や近年の物価・賃金動向等を踏まえた給付・コストの見直しにより、その抑制を図る。

※基本方針2003(骨太第3弾)の決定をうけ、04年度予算編成の作業が本格化するが、次回04年4月の診療報酬改定も例外なく切り込む考えであり、医療界には予断を許さないものとなりそうである。

## 「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003」について

平成15年 6 月  
内 閣 府

**ご 案 内****親 善 ゴ ル フ 大 会 に つ い て**

開催日 平成15年 9 月14日(日)  
会 場 ハイビスカスゴルフクラブ  
宮崎郡佐土原町大字下田島21085-1  
☎0985(73)0109

1. 集合時間 8 : 00 (記念撮影)
2. スタート 8 : 30
3. 参加資格 宮崎県医師会員
4. 競技方法
  - ①18ホールズ ストロークプレイ ダブルペリア方式
  - ②同ネットの場合は年長者を上位とします。
  - ③上位 3 人による各郡市医師会対抗戦を行います。
  - ④組合せ, スタート時間は本会にご一任ください。
5. 参 加 料 2,000円  
(大会当日の受付で徴収します)  
※プレイ諸費は各自負担
6. 申 込 先 宮崎県医師会 宛  
(註記)
  - ①会員へ別途ご案内いたします。
  - ②受付は申し込み順に行い, 12組(定員48名)になり次第締め切ります  
のでご了承ください。  
なお, 組合せは大会 3 日前までにご通知申し上げます。

**お 知 ら せ****宮 崎 県 医 師 会 館 の 閉 館 に つ い て**

恒例により, 県医師会館は職員(医師会, 医師国保, 医師協同組合・エムエムエスシー, 病院厚生年金基金)の夏期休暇に伴い, 下記のとおり閉館いたしますのでお知らせします。

記

期 間 平成15年 8 月14日(木)~15日(金) 2 日間  
( 8 月16日(土)から平常通りです)

緊急連絡先 090-3015-0585  
090-1877-8312

## 宮崎県感染症発生動向 ～6月～

2003年 6 月 2 日～29日(第23週～26週)

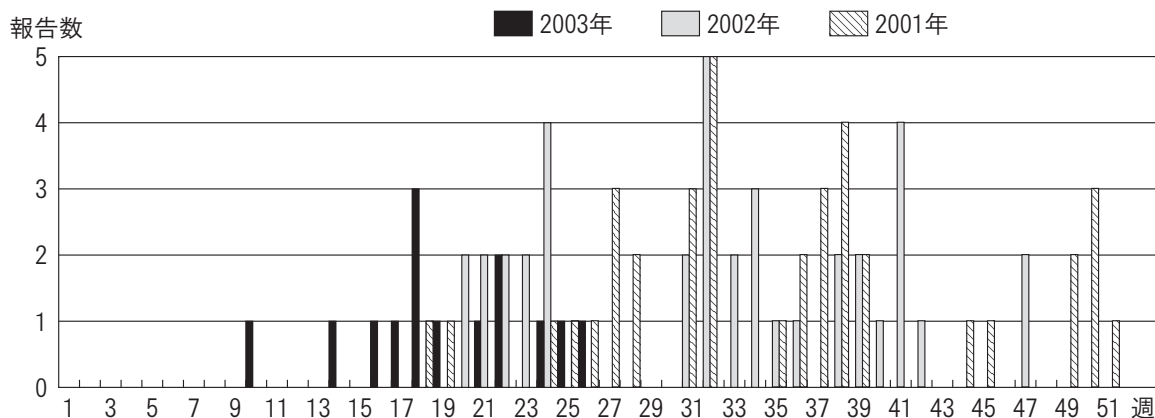
## ● 全数報告の感染症

1～2類は報告なし。3類の腸管出血性大腸菌感染症は3例報告された(表1)。病原体はO-157が1例、O-26が1例、血清型不明が1例であった。今年第1～26週までの累積患者報告数は14例で昨年同時期の13例とほぼ同程度であるが、例年10月中旬頃まで報告数の多い状態が続くので今後の動向に注意したい。4類では、急性ウイルス性肝炎2例(A型1例、B型1例)、ジアルジア症1例の報告があった。急性ウイルス性肝炎は2例とも宮崎市保健所からの報告であった。A型肝炎の患者は50代の男性で肝障害、倦怠感などの症状があり、B型肝炎の患者は20代の男性で黄疸などの症状があった。ジアルジア症は都城保健所から報告のあった70代女性で、無症状であった。

表1. 腸管出血性大腸菌感染症発生状況 6月

週	保健所	性別	年齢	病原体	VT	症 状	発病年月日	報告年月日
24	都城	女	54	不明	VT1	無		2003/6/17
25	都城	女	1	O-26	VT1	粘血便 咳 鼻水	2003/6/15	2003/6/19
26	宮崎市	男	7	O-157	VT2	血性下痢	2003/6/22	2003/6/29

腸管出血性大腸菌感染症の報告数(宮崎県)



## ● 4類定点報告の感染症

今月、定点当たり患者報告数の多かった感染症は、感染性胃腸炎(24.3人)、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(14.7人)、ヘルパンギーナ(14.3人)で、前月と比較すると特に急性出血性結膜炎、ヘルパンギーナ、伝染性紅斑の報告数が増加した。また過去3年間の同時期(6月)と比較すると、急性出血性結膜炎、水痘、咽頭結膜熱などの報告が多くなっている。

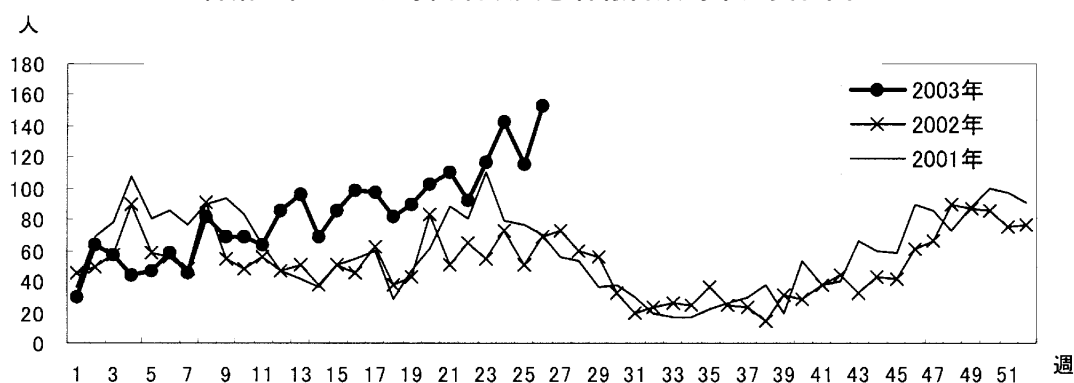
急性出血性結膜炎の報告は、第23～24週までなかったが、25週7人、26週16人と急激に増加した。年齢別では、15～19歳8人(全体の35%)、40～49歳4人(17%)、10～14歳3人(13%)であった。報告は宮崎市保健所管内の定点医療機関からであるが、中央保健所管内の学校等で集団発生がおこっており、7月14日現在、累計で約120人の生徒が罹患している。宮崎県では1993年に、コクサッキーA24変異株による大きな流行があった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の患者報告数は、4月350人、5月474人、6月528人と増加しており、6月の患者報告数は過去3年同時期平均値と比較して約1.5倍と多くなっている。地域別に定点当たりでみると、日向(75.5人)、延岡(20.0人)保健所管内で多い。年齢別では、4歳108人(全体の21%)、5歳89人(17%)で多く、3～5歳で全体の約半数を占めた。

	前月比 例年比	6 月		5 月	
		報告数	定点当たり(人)	報告数	定点当たり(人)
インフルエンザ		0	0.0	22	0.4
咽 頭 結 膜 熱	★	35	1.0	31	0.9
A 群溶連菌咽頭炎	★	528	14.7	474	13.2
感 染 性 胃 腸 炎	—	875	24.3	1,397	38.8
水 痘	— ★	384	10.7	647	18.0
手 足 口 病		627	17.4	548	15.2
伝 染 性 紅 斑 熱	+	91	2.5	48	1.3
突 発 性 発 疹		218	6.1	253	7.0
百 日 咳		2	0.1	0	0.0
風 疹		5	0.1	6	0.2
ヘルパンギーナ	+	516	14.3	156	4.3
麻 疹	—	28	0.8	59	1.6
流行性耳下腺炎		131	3.6	134	3.7
急性出血性結膜炎	+ ★	23	5.8	2	0.5
流行性角結膜炎		29	7.3	35	8.8
急 性 脳 炎		0	0.0	0	0.0
細 菌 性 髄 膜 炎		0	0.0	0	0.0
無 菌 性 髄 膜 炎	+	5	0.7	2	0.3
マイコプラズマ肺炎	+	5	0.7	2	0.3
ク ラ ミ ジ ア 肺 炎		0	0.0	0	0.0
成 人 麻 疹		0	0.0	3	0.4

＋：増加，－：減少，★：例年(過去3年)より多い

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者報告数時系列変化図



*宮崎県内の定点医療機関数

(インフルエンザ定点：60，小児科定点：37，眼科定点：4，基幹定点：7)

最新の発生動向については<http://www.pref.miyazaki.jp/fukushi/ipe/default.htm>をご覧ください。

(宮崎県衛生環境研究所)

## 宮崎県社会保険診療報酬請求書審査委員名簿

(任期 平成15年 6 月 1 日～平成17年 5 月31日 2 箇年)

(○印は新任)

区分	科 別	氏 名	現職及び公職	区分	科 別	氏 名	現職及び公職
診療 担 当 者 代 表	内 科	井 上 博 水	恒心館クリニック院長	保 険 者 代 表	整 形 外 科	谷 脇 功 一	谷村病院副院長
	〃	小岩屋 靖	宮崎県健康づくり協会 診療所健診部長		産 婦 人 科	○嶋 本 富 博	県立宮崎病院産婦人科 医長
	〃	佐々木 幸 二	佐々木医院院長		皮 膚 科	立 山 直	宮崎医科大学附属病院 皮膚科助手
	〃	大 西 雄 二	大西医院院長		泌 尿 器 科	養 田 優	県立宮崎病院泌尿器科 医長
	〃	松 岡 均	古賀総合病院		眼 科	○森 山 重 人	宮崎医科大学附属病院 眼科助手
	〃	皆 内 康 広	みなうち内科神経内科 医院院長		歯 科	難波江 正 通	なばえ歯科医院院長
	外 科	○假 屋 敏 郎	仮屋外科胃腸科医院 院長		〃	濱 田 剛	浜田歯科医院副院長
	〃	○田 中 俊 正	田中外科医院院長		〃	宮 谷 英 樹	宮谷歯科医院院長
	整 形 外 科	平 川 俊 一	ひらかわ整形外科クリ ニック院長		内 科	綾 部 隆 夫	綾部医院院長 (専任審査員)
	小 児 科	千 阪 治 夫	千阪小児科医院院長		〃	上 田 章	県立宮崎病院内科部長
	産 婦 人 科	○加 藤 民 哉	加藤レディースクリニッ ク院長		〃	隈 本 健 司	国立療養所宮崎東病院 院長
	皮 膚 科	蜂須賀 裕 志	蜂須賀クリニック院長		〃	児 玉 英 昭	宮崎県福祉保健部
	精 神 科	谷 口 浩	谷口病院院長		〃	志 多 武 彦	志多内科胃腸科医院 院長 (専任審査員)
	眼 科	二 見 要 介	ふたみ眼科院長		〃	栗 林 忠 信	古賀総合病院院長(専任 審査員) <b>審査委員長</b>
保 険 者 代 表	耳鼻咽喉科	井 上 久	井上耳鼻咽喉科医院 院長	学 識 者	外 科	大 坪 睦 郎	大坪外科医院院長 (専任審査員)
	歯 科	中 原 則 光	中原歯科医院院長		〃	呉 屋 朝 和	潤和会記念病院院長
	〃	藤 木 毅	藤木歯科医院院長		〃	松 崎 泰 憲	宮崎医科大学附属病院 第二外科助教授
	内 科	上 田 正 人	県立日南病院内科部長		泌 尿 器 科	中 山 健	中山医院院長(専任審査 員) <b>副審査委員長</b>
	〃	村 田 光 宏	宮崎県済生会日向病院 内科部長		整 形 外 科	河 野 雅 行	河野整形外科医院院長
	〃	杜 若 陽 祐	宮崎社会保険病院放射 線科主任部長		小 児 科	浜 田 恵 亮	県立宮崎病院副院長
	〃	○山 口 哲 朗	県立延岡病院内科医長		産 婦 人 科	○本 田 正 之	(全日専任審査員)
	〃	寺 本 仁 郎	国立療養所宮崎病院 院長		精 神 科	中 林 永 一	西都病院院長
	〃	野 本 浩 一	小林市立市民病院院長		耳鼻咽喉科	永 井 知 幸	国立都城病院副院長
	外 科	岩 村 威 志	宮崎医科大学附属病院 第一外科講師		歯 科	太 田 忠 和	太田歯科医院院長(専任 審査員) <b>副審査委員長</b>
	〃	八 尋 克 三	南部病院院長		〃	芝 良 祐	宮崎医科大学附属病院 歯科口腔外科教授
	〃	白 尾 一 定	宮崎社会保険病院 副院長				

## 宮崎県国民健康保険診療報酬審査委員名簿

(任期 平成15年 1 月 1 日～平成16年12月31日 2 箇年)

(○印は新任)

区分	科 名	氏 名	職 名 及 び 公 職	区分	科 名	氏 名	職 名 及 び 公 職
保 険 医 生 代 表	内 科	平 塚 正 伸	平塚医院院長	保 険 者 代 表	整 形 外 科	○佐 藤 信 博	県医師国保組合
	〃	富 田 雄 二	(医)社団 富田医院 院長		精 神 科	後 藤 勇	県医師国保組合
	〃	稲 倉 正 孝	(医)敬愛会 稲倉医院 院長 (会長代行)		皮 膚 科	小 田 裕次郎	宮崎医科大学附属病院 皮膚科助手
	〃	出 水 善 文	いづみ内科医院院長		産 婦 人 科	○濱 田 政 雄	県医師国保組合
	〃	福 田 陽一郎	福田医院院長		眼 科	松 浦 義 史	県医師国保組合
	〃	押 川 公 昭	押川内科医院院長		耳鼻咽喉科	安 達 裕一郎	県医師国保組合
	外 科	島 山 俊 夫	宮崎市郡医師会病院 外科医長		歯 科	弓 場 敏 克	県歯科医師国保組合
	〃	牧 野 剛 緒	(医)健寿会 黒木病院院長		〃	○水 流 裕二郎	県歯科医師国保組合
	〃	○中 村 典 生	(医)典生会 加納中央医院院長	公 益 代 表	内 科	菊 池 郁 夫	県立宮崎病院 医療情 報科部長兼内科医長
	整 形 外 科	小 牧 一 磨	(医)社団牧会 小牧病院院長		〃	○藤 元 昭 一	宮崎医科大学附属病院 第一内科助教授
	精 神 科	二 宮 嘉 正	(医)向洋会 協和病院院長		〃	石 川 恵 美	県立宮崎病院 内科医長
	皮 膚 科	中 野 俊 二	(医)中野会 中野医院院長		神 経 内 科	湊 誠一郎	県立宮崎病院 神経内科医長
	泌 尿 器 科	養 田 國 廣	(医)十全会 みのだ 泌尿器科医院院長		小 児 科	西 口 俊 裕	県立宮崎病院 小児科医長
	眼 科	川 島 謙一郎	川島眼科院長		外 科	内 山 一 雄	県福祉保健部国保指導 監査専門医
	歯 科	齋 藤 隆 尋	斎藤歯科医院院長		〃	豊 田 清 一	県立宮崎病院副院長 (会長)
	〃	浪 花 保	浪花歯科医院院長		〃	落 合 隆 志	県立延岡病院 外科部長
保 険 者 代 表	内 科	林 克 裕	宮崎医科大学附属病院 第二内科講師		脳神経外科	中 野 真 一	宮崎医科大学附属病院 脳神経外科学講座助教授
	〃	小 牧 斎	県医師国保組合		心 臓 外 科	湯 田 敏 行	県立宮崎病院 心臓血管外科部長
	〃	金 丸 吉 昌	西郷村国民健康保険 病院院長		整 形 外 科	小 林 邦 雄	常務処理審査委員 (前県立宮崎病院 整形外科部長)
	〃	○牧 野 茂 義	県立宮崎病院内科医長		産 婦 人 科	山 口 昌 俊	宮崎医科大学附属病院 産科・婦人科講師
	小 児 科	佐 藤 雄 一	県医師国保組合		耳鼻咽喉科	春 田 厚	宮崎医科大学附属病院 耳鼻咽喉科講師
	外 科	谷 口 武 臣	田野町国民健康保険 病院院長		泌 尿 器 科	蓮 井 良 浩	宮崎医科大学附属病院 泌尿器科学講座助教授
	〃	大 園 博 文	国民健康保険中部病院 院長		歯 科	林 升	県立宮崎病院 歯科口腔外科医長
	〃	横 山 憲 三	県医師国保組合		薬 剤 師	○串 間 奉 文	県立宮崎病院薬剤長

## 各都市医師会だより

### 南 那 珂 医 師 会

南那珂医師会では平成8年度に“かかりつけ医モデル事業”を県内で最初に又全国でも4番目という早い時期に取り組み、住民の皆様にかかりつけ医を持ってもらうように働きかけてきました。しかし現況は住民の大病院志向もあり、なかなか困難なものがあります。この状態を打破する1つの方策として病診連携があると思います。事業当初から病診連携がスムーズに運営できるように後方病院に働きかけてきましたが、後方病院の先生方には、医師会員側の都合の良いシステム(日勤帯は自分達で診て時間外は病院に回すetc)であり後方病院としてのメリットは無いといった考え方もあり、なかなかうまく運ばませんでした。病院と医師会員とのトラブル(紹介状持参なしでの時間外受診 or 予約なしの緊急患者の受診etc)もあり、執行部として対応に苦慮している事もたびたびあります。基本的には開業医の先生方がかかりつけ医としての責任ある行動を取ってもらえれば何ら問題ない事も多いのが現実であります。時間外でも一応自分が診察し、又状態をTelで確認。手に負えなければ自分で後方病院に直接電話で伺いをたて、了解を得、紹介状持参 or Faxで送るといった手順を踏めば、病院の先生方も心よく引き受けてもらえると思います。当医師会ではこの事を周知徹底する為に事あるごとに理事会報告などで広報しておりますので、近い将来にはうまく連携できるものと期待しております。

又、後方病院の医師との関係強化が図れるよう種々の催し“共同勉強会、飲み会、ゴルフ会、etc”を考えており“Face to Face”で問題解決ができるように取り組みたいと思っております。  
(山元 敏嗣)

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

### 西 諸 医 師 会

戦争、内紛、経済崩壊、教育現場の混沌、少子高齢社会、凶悪事件の低年齢化など、心の重くなる問題が次から次へと目や耳に入ってくる。

医師会でも診療報酬削減や看護師等育成など切実な問題が山積している。このような昨今だからこそ、責任転嫁の議論に終始してはいないか、今できることを前向きに責任をもって行っているのかと自問する姿勢が大切だろうと思いつつ平凡な日々を送っている。(内村 大介)

◇ ◇ ◇ ◇

### 宮 崎 医 科 大 学 医 師 会

宮崎医科大学医師会では平成15年7月9日、総会を開き、下記の通り新たに役員が決定しました。  
(池ノ上 克)

#### 宮崎医科大学医師会役員

役 職 名	氏 名
会 長	住 吉 昭 信
副 会 長	江 藤 胤 尚
理 事	長 田 幸 夫
〃	高 崎 眞 弓
〃	田 村 正 三
〃	松 崎 泰 憲
監 事	瀬戸山 充
〃	池ノ上 克
事 務 局 長	太 田 健 二

### 宮 崎 市 郡 医 師 会

9月13日、14日に那覇市で第40回の九州首市医師会連絡協議会があります。昨年は当会が主催しました。九州の県庁所在市と下関市、那覇市の9市の医師会が年に1回参集します。初日の分科会は突っ込んだ論議と本音の話で実の在る会議です。その夜は全員集合しての懇親会ですがいつも盛り上がります。翌日は日医会長などの講演会などが企画されています。ところで那覇市は判るとして下関市がどうして参加しているのか不思議な感があります。薩長連合の名残？いずれにしても40年にわたる先達の努力に敬服しています。(八尋 克三)

◇ ◇ ◇ ◇

### 都城市北諸県郡医師会

このところ小学生、中学生に関係する事件が数多く報道されるのを見ていると誠に心が痛みます。ましてや少子化の時代において子供は、将来社会を荷ってくれる大事な宝のようなものです。

私共医師も地域の子供達が心身ともに健やかに育つよう学校医活動等を通じてこれまで以上に積極的にかかわっていく必要性があると思います。(石井 芳満)

◇ ◇ ◇ ◇

### 延 岡 市 医 師 会

新医師会病院の建設業者の入札があと4日後に迫っており(この記事が載る頃は既に決定していると思いますが)、それに伴って様々な流言、風聞といった類も耳に入ってくるようになりました。内容はくだらないものばかりですが、これも世の常であり、避けては通れないもののようなのです。

ともかく、そのような情報(?)も少しだけ頭の片隅に置きながら、①しっかりした病院を、②できるだけ安い値段で、建設することを中心に見据えて奮闘中です。(杉本 俊一)

### 日向市東臼杵郡医師会

6月26日(土)当医師会の総会・従業員表彰・学術講演会、医師連盟大会を行った。出席者は94名中44名で過半数に達しなかったが充実した会でした。今回から会場内は禁煙としましたが特に問題はありませんでした。終了後例年のように日向入郷地域の首長、関係機関、課のトップを交えた懇親会を行い、情報交換、相互理解と協力を得る意義ある会でした。若手の先生の出席が少ないのは、他の郡市医師会も同じでしょうか、気になっています。(甲斐 文明)

◇ ◇ ◇ ◇

### 児 湯 医 師 会

児湯医師会の悩みの1つに、児湯准看護学校の経営があります。児湯准看護学校は40年の歴史があり、毎年優秀な准看護師を輩出していますが、毎年赤字経営となっております。その為、会員の中からも存続の是非が問われており、苦しい状況であります。しかし、児湯地区医療サービスの確保の為、准看護学校は大きな役割を果たしてきました。

今後当医師会では、准看護学校の展望・経営について、さらに協議していく必要性が高まることと思われます。(坂田 師隣)

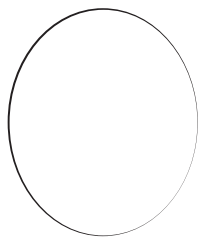
◇ ◇ ◇ ◇

### 西都市・西児湯医師会

7月8日、高鍋保健所で第1回西都児湯地域救急医療協議会が開催されました。その場で、小児救急体制をどうやって充実させていくかが、議題の一つとして挙がりました。西都救急病院では、平成8年に医大からの医師派遣が困難となり、小児科診療を廃止した経緯があります。小児科開業医の先生方の協力のもとに病診連携を図り、何とか地域の小児救急医療を改善させていけるとよいのですが。(野津原 勝)

## 宮崎医科大学だより

### — 救急医学講座／救急部 —



てらい ちかのり  
寺井 親則 教授

救急医学講座が平成8年に寺井教授を迎えて開講して以来、救急部による三次救急医療・教育・研究と三位一体の積極的な活動を行ってまいりました。

臨床面では、運営体制の改正により救急患者専用病床を設けたことで救急患者の受け入れが容易になり、平成14年度の外来初診数は1,284名と年々増加傾向にあります。ともすれば「陸の孤島」と揶揄される宮崎県では、山村地域や僻地が多く、道路網の整備も十分ではありません。また、県土の東側全域に面する太平洋では、水難・海難事故が多発しています。救急部では、航空自衛隊、海上保安庁、民間航空会社、県警等の協力を得て、ヘリコプターを活用した広域の患者搬送システムの確立を最重要課題として取り組んでいます(平成11～12年度の文部科学省国立大学附属病院パイロット事業に採択)。県は消防防災ヘリの導入を正式決定し、それに対応して平成12年度に病院の敷地内に大型ヘリの夜間離発着が可能なヘリポートを整備し、同年宮崎で開催された太平洋・島サミットやサミット外相会合で医療面の中心的役割を担いました。また、国内では目を向けられることの少ない「洋上救急」に積極的に取り組み、海上保安庁合同による洋上救急訓練を定期的 to 実施しています。災害医療については、これまでも宮崎県医師会の災害

医療計画の立案や日赤が主催する総合防災訓練等に参加してきましたが、平成15年度には基幹災害医療センターの指定を受け、県内の災害拠点病院の職員を対象とした災害教育・訓練を担当することになりました。

研究に関しては、蘇生学・侵襲学に関する基礎的・臨床的研究を目指しています。産学(官)連携も推進しており、平成14年からは大型動物を用いた血液浄化法に関する共同研究を民間企業と取り組みはじめました。また、平成15年度には宮崎県からの受託研究(災害時医療機能強化事業)がスタートします。これらの活動は、大学評価・学位授与機構では「救急医学の臨床に即した基礎的な研究、特に外傷などのいわゆる侵襲学の研究で優れた研究活動の開始が認められる」と評価されており、今後もその期待を裏切らないように研究を展開するつもりです。

近年、救急医療の重要性と体制上の不備が世論的にクローズアップされ、それに応じて救急部と教室に対する要望や責任が一層高まっています。地域医療の関連分野では、一般医、看護師、パラメディックに対する ACLS, JATEC, PTEC などの救急医療の指導・普及やメディカルコントロールを含む病院前診療体制の確立などが重要課題となっています。救急部はいずれの活動においても中心的役割を果たすことが期待されており、またそのように努力する所存ですが、十分な成果の達成には医師会の先生方のご協力が不可欠であります。どうかよろしく願ひします。

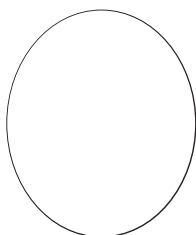
(助教授 おかもと 岡本 けん 健)

## 専 門 分 科 医 会 だ よ り

## (小児科医会)

1 歳のお誕生日プレゼントに  
麻疹ワクチンを

## 『小児科医がいまできること』

ち せ か はる お  
千 阪 治 夫 会 長

日本では「はしかは命定め」といわれたほど麻疹は重症化しやすく、ときに死に到る疾患である。が、はしかは予防接種で地球上から制圧が可能な疾患でもありません。麻疹制圧には、一にも

二にも麻疹ワクチンの接種であります。

麻疹ワクチンの定期予防接種導入後も接種率が80%台にとどまっていることから、散発的な流行がいまだに日本各地で報告されています。宮崎県では、平成10年、平成13年に流行があり、平成16年にも流行が予想されるため、県医師会及び行政機関が連携を図りながら、麻疹予防接種を強力に推進し、全県的な流行阻止にむけた「みやざき はしかゼロ作戦」はしかの予防接種をうけましょう！～1歳のお誕生日のプレゼントに～が平成14年10月より開始されました。本県の麻疹を限りなくゼロにする運動です。

平成6年予防接種法が改正され原則として個別接種になりましたが、改正後9年を経過した現在も予防接種率は上っていません。麻疹を根絶するためには少なくとも95～96%の接種率が必要です。ワクチン接種率を高めるためには、個別化、広域化、無料化など接種体制の整備が必要です。宮崎県では行政のご理解で県下44市町村公費負担で麻疹予防接種は12か月より90か月まで無料です。平成15年7月1日より予防接

種の広域化も県医師会及び行政機関のご協力のもと開始されました。宮崎県下在住の子どもたちは「いつでも どこでも」かかりつけ医での接種が可能になりました。

いま小児科医にできることは、麻疹予防接種の大切さを啓蒙して1歳代の予防接種率を95%以上に上げることです。麻疹罹患者を年齢別にみると、1歳代が最多であり、次いで0歳、2歳であり、2歳以下の罹患者が半数以上を占めています。定期接種を受ける前の0歳児を麻疹から守るためには、感染源となる1歳以上の感染者を一人でも少なくしておくことが必要です。そのために、小児科医は一般診察時、乳児健診時に1歳のお誕生日プレゼントに麻疹ワクチンを！常に勧奨、確認、感受性者には予防接種の勧奨、確認をくり返し自分の診た子どもからは麻疹をださないという強い意志が必要です。

一方公的には1歳半健診時に1歳以上の感受性者を拾い上げ、ワクチン接種を勧奨することも大事です。

あらゆる機会を利用して、予防接種率向上に努力し、麻疹制圧に少なくとも必要といわれる予防接種到達率18か月で95%以上をめざしましょう。

広域的予防接種はスタートしたばかりです。色々な問題がでてくるかもしれませんが宮崎県保健薬務課と相談し、できるだけこの制度を活用して一人でも麻疹罹患者を少なくして、麻疹対策先進県になるよう頑張りましょう。

県医師会の諸先生方のご協力、ご支援を宜しくお願い申し上げます。

(千阪 治夫)

## — 各種委員会 —

## 公衆衛生エイズ等対策委員会

と き 平成15年 6 月23日(月)

ところ 県医師会館

吉田理事により開会、大坪副会長挨拶の後、  
下記の議題について協議を行った。

## 報 告

新型肺炎 SARS に関する会議として、5 月11  
日開催の九医連重症急性呼吸器症候群(SARS)緊  
急対策協議会、5 月14日開催の日医感染症(SARS)  
危機管理対策協議会の概要について吉田理事が  
報告した。

## 協 議

麻疹(はしか)全数調査について

「みやざきはしかゼロ作戦(プロジェクト“M”)」  
浜田本部長より全数調査の意義等について説明  
があり、県医師会として実施するか否かの検討  
がなされたが、結果は、県が実施する全数調査  
に全面的に協力することを確認し、調査結果の  
速やかな公表と調査項目の簡素化について願  
いすることになった。

出席者一橋委員長, 相馬副委員長, 佐藤・中島・  
黒木・出沢・岡山・戸田委員  
県 医一大坪副会長, 吉田・小玉理事  
早稲田常任理事, 浜田理事  
事務局一島原課長, 久永係長

## 駒込だより

## 第 7 回医療情報ネットワーク推進委員会

と き 平成15年 7 月16日(水)

ところ 日本医師会館

常任理事 富 田 雄 二

日医の委託研究で「地域医療を支える先進的医  
療情報ネットワークの推進に関する実態調査と  
その成功要因分析に関する調査研究」を行って  
いる名古屋工業大学教授 山本 勝先生より中間報  
告があった。何を持って成功しているかという  
評価方法の難しさを認めつつも、医師会の情報  
化はまだ遅れており、その要因が15年前の調査  
時点とほとんど変わっていないことを指摘した。  
システム作りに向けて、以下の3つの提言を示  
した。

1. 情報化はそれに見合った費用と態度が必要  
である

情報は有料であるという発想を持ち、自分  
たちが主体的に関わっていく

2. 医療情報システムを医師会の砦にしたけれ  
ば、自前で作る

もちろん公益性のあるものは行政の負担も  
求めて良いが、あくまでも自前でやるという  
基本姿勢をもつ

3. 自前の情報ネットワーク作りこそ21世紀に  
おける医師会生き残りのための最大の投資か  
つ保険である

強い医師会とは、地域医療活動を通して住  
民の期待と信頼に応えるべき努力を続けている  
医師会ではないか

その後、医師会のネットワーク構築について、  
各委員の医師会での現状報告や今後の方策につ  
いて協議した。

ORCA については、6 月のレセプトを ORCA  
で提出した医療機関が200施設、既存のレセコン  
と併用で運用している施設が230施設であること  
(日医で把握している実数)が報告された。

## 第133回宮崎県医師会定例代議員会(概要)

と き 平成15年 6 月17日(火)

ところ 県医師会館

### 議長開会宣言

大塚議長が、代議員の定数は33名、現在の出席者は28名であり、総数の過半数以上ですから、定款第44条の規定に基づき代議員会は成立する旨を告げ、18:50分開会を宣した。

### 議事録署名人選出

定款第46条第2項の規定に基づき、議事録署名議員として、5番王丸鴻一先生、11番千阪治夫先生の両代議員が選出された。

### 秦会長挨拶

諸先生方今晚は。足場の悪い所お集まりいただきまして有り難うございます。今日は決算のご審議をお願いいたします。ご承知のように6月1日から再診料の月内通減制が廃止されました。私は、明日、日本医師会の診療報酬検討委員会に参りますが、政治的な圧力等がありまして5月1日からというふうにあちこちでアナウンスをしていたのですが、6月1日からになりました。日本医師会常任理事会でも内科系の先生方が81点の再診料を捨てるのはおしいと言っています。これを何とか生かす方法はないかということで、担当は青柳副会長ですが、75点でということで、日医診療報酬検討委員会では青柳副会長にお願いし、坪井会長にも74点より下がると日本医師会執行部に対する不満がまた内科系の方から起ってきますと申し上げました。

結果的には財政中立と言いまして、財源を全然よそからもってこないですむ改定なら応じようということで、保険者側は金を出さないですむならいいということです。それで74点が73点、1.3%のマイナスです。最終決着がつくの1月ずれ込んだということです。内科系の先生方から81点をなくした分をどうにかしてくれと

いうご要望が恐らく明日の日医診療報酬検討委員会であると思います。しかし、2年に1回しか改定できないという中医協のルールを、非常に不都合なときがあれば年度内でも改正できるという一つのルールを作ったことは進歩であろうと考えています。不合理は是正できるというルールができたということは今後にとって非常に喜ばしいことだと思っています。

結局、診療報酬を引き下げられて、老人の定率・1割負担が入り、更に保険本人自己負担3割が入り、平成14年度の収支がどうなっているのか、決算がどうなっているか、医療費がどうなっているか、非常に今興味をもって見えています。

来週月曜日に支払基金本部に行きますので、このときにデータが出てくると思いますが、現在、はっきりした正確なデータは出ておりません。

4月分に関しましても、被用者保険自己3割負担になった為に、どの位の受診抑制が起きているかという全国のデータはまだ出ていません。いろいろな調査を始めていまして、医療機関の半分が1割の受診抑制が実際に起こっているというデータが出てきています。これは非常に大変なことでありまして、全体が出てこないとなかなか日本医師会が動かないので、日本医師会執行部は危機感がないと言って、地方の日医代議員等の先生方から突き上げがあっています。これを乗り切らないと現日本医師会執行部の存立が危いと感じています。

そのような状態をご理解いただきまして、ここなんとか歯を食い縛って、次の改定で不合理なことをさせないということで、医師会が一致

団結してやっていくときであろうと考えています。先生方のご協力をお願い申し上げまして、挨拶といたします。

## 報 告

### 1. 平成15年度事業現況報告について

**大坪副会長：**去る 3 月 25 日開催されました第 132 回定例代議員会において承認いただきました事業計画に基づき、事業を執行しております。平成15年度の事業に着手しまして、まだ 2 か月余りではありますが、事業現況について概要をご報告いたします。

まず、会員の異動状況ですが、5 月末日現在 A 会員 801 名、B 会員 824 名、計 1,625 名となっています。

次に具体的事項を主なる事項についてご報告いたします。

生涯教育の強化充実に関しては、6 月 4 日に医学賞選考委員会を開催し、医学賞の選考を行い、6 月 28 日の県医師会定例総会の際に表彰する予定にしております。

社会医療保険対策については、次回の診療報酬改定について、6 月 7 日、福岡市において九州医師会連合会医療保険対策協議会が開催されましたが、九州各県からの要望事項について検討が行われ、日本医師会へ要望することになっています。

地域医療関係については、新医師臨床研修医制度への協力としまして、5 月 28 日に臨床研修病院群参加希望医療機関への説明会を開催し、対応しております。

感染症対策関係については、5 月 30 日宮日会館において、県民を対象として、SARS(重症急性呼吸器症候群)講演会を開催し、200 名を超える参加者で好評を得ております。

産業保健活動については、4 月 21 日に産業医部会理事会を開催し、平成15年度の事業計画・予算等について検討をいただいています。更に 5 月 10 日に産業医部会総会・産業医研修会を開催しております。

会員福祉対策については、6 月 12 日に互助

会定時評議員会を開催しました。厳しい経済状況ではありますが、今後とも会員諸先生方の福利厚生のために努力していく所存であります。

医療関係者対策については、「看護の日」並びに「看護週間の記念行事」といたしまして、県および県医師会等の主催により、5 月 24 日に「みやざきナース Today 2003」を開催しました。盛会裡に終了しております。

広報活動については、広報委員会において、会内広報として、日州医事の充実に努めていきます。

「医家芸術展」については、来る 7 月 24 日(木)から 27 日(日)の 4 日間、県立美術館の県民ギャラリーにおいて開催する予定にしています。本年度は第 4 回目を迎えます。会員の先生方のご協力を得まして、写真・絵画・書道の 3 部門に 110 点余りの応募をいただいております。代議員の先生方も、「医家芸術展」に是非来ていただきまして、ご鑑賞いただきますようお願いいたします。

各郡市医師会との連携については、本年度第 1 回の各郡市医師会長協議会を 6 月 3 日に開催し、中央情勢報告等を行っています。なお、今年度も前年同様、各郡市医師会長協議会を開催し、先生方のご意見を賜りながら事業に反映して参りたいと考えております。

その他の事項については、5 月 20 日に宮崎医科大学教授と県医師会役員・各郡市医師会長・各専門分科医会長との懇談会を開催し、地域医療等について懇談し、意志の疎通を図っております。

また、5 月 27 日に県福祉保健部と県医師会との懇談会を開催しています。今後とも行政との緊密な連携に努めて参りたいと考えております。

以上が主たる事業現況であります。代議員会でご承認いただきました事業計画に基づいて、会務の遂行に努力して参りたいと考えております。今後共ご支援、ご協力をお願い

いたしまして、報告を終わらせていただきます。

## 2. 宮崎県医師会館特殊建築物定期報告による改修工事について

**稲倉常任理事：**宮崎県医師会館特殊建築物定期報告による改修工事概算見積り金額が、13,500,000円となっています。この特殊建築物の定期報告は法律で義務付けられています。特定或いは不特定多数の人々が利用する特殊な建築物は、いったん大きな災害が発生すると大惨事になる危険性があるので、安全性の確保と適正な維持保全を図り、事故の発生を未然に防止する必要があります。定期報告制度とは、定期報告義務者が特殊建築物を専門の技術者に定期点検させ、特定行政庁に報告する制度です。

今回、法律に基づく宮崎県医師会館の改修工事を7月上旬から9月下旬を予定しています。宮崎県医師会館耐震補強工事及び空調設備改修工事につきましては、赤須代議員(延岡)から質問が提出されていますので、その際に説明させていただきます。

議長から質問を求めたが、特に質問もなく、了承された。

### 議 事

#### 議案第1号 平成14年度宮崎県医師会各会計 収入支出決算に関する件

- ①一般会計
- ②福祉特別会計
- ③会館管理特別会計

西村常任理事から、各会計について、配付資料により説明が行われた。

議長から質問を求めたが、特に質問もなく、議案第1号は全員賛成により承認可決された。

### 協 議

#### ○宮崎県医師会裁定委員会規程の一部変更について

稲倉常任理事から、配布資料により、既に本会定款が変更され、それに伴う本会裁定委員会規程の一部を変更するものであり、第1・

第2・第3・第5条の変更箇所について説明が行われた。

その後、議長から質問を求めたが、特に質問もなく、承認された。

以上で協議を終了した。

大塚議長から、2名の先生(代議員等)から質問が提出されています。

先ず、菊池先生(予備代議員)からお願いします。

**菊池先生(予備代議員)：**県医師会職員は現在、定年が60歳であるが、現在高齢化社会において、最近の新聞では定年を65歳まで延長をとの記事を見ますが、職員の定年を65歳に延長する考えをないかどうか、お伺いしたい。

**大坪副会長：**現在の日本は、少子高齢化で若い働き手が減少している。一方元気な高齢者が増加している状況にあります。また、年金の給付年齢がアップする或いは年金が目減りするということがありまして、一部には定年延長したらどうかという動きもあるやに聞いております。現在、県医師会職員給与基準は県に準じるという形で支給されています。県人事委員会に照会しましたところ現時点では、国、県には定年延長の動きはないとのことあります。また、今後、医師会の運営を考えた時に財政的に厳しくなると予測しています。定年を延長しますと人件費の増を伴うことになりますので、対応には慎重でなければならぬと考えています。従って、結論としては現状では定年延長は時機尚早であると考えます。宮崎県医師会職員就業規則第33条に職員の定年制を設け、定年の日は満60歳に達する月の末日とする。但し、定年に至っても本会が必要であると認めた場合には、定年退職者雇用取扱規則により引き続き本会職員として勤務させることができるという規程があり、これによって対応して参りたい。

**赤須先生(代議員)：**本年4月12日に、県医師会館の耐震補強工事、改修工事、空調設備改修工事等の資料をお送りいただきましたが、

3点について、お尋ねしたい。①これらの工事は、何時、始められるのかお教えいただきたい、②会員の費用負担は、A会員のみで、B会員にも負担させるおつもりですか、③費用の徴収方法は分割、一括かお尋ねしたい。

**稲倉常任理事：**先ほど説明いたしました、宮崎県医師会館特殊建築物定期報告による改修工事は、法律に基づく改修工事であります。工事費用は会館管理特別会計より支出されるものであります。

宮崎県医師会館耐震補強工事及び空調設備改修工事につきましては、今後、会館建設検討委員会において検討し、更に本会理事会並びに各郡市医師会長協議会において検討し、

最終的に本代議員会に提案し、ご審議いただく予定であります。会員等の安全、会館使用の利便性を考えた場合、この改修工事は是非必要な工事と考えられますが、多額の費用を要しますので、慎重に検討したいと考えています。現在のところ、工事開始時期、費用負担方法及び徴収方法は未定ですが、諸先生に充分ご相談申し上げ、対応して参りたい。

**赤須先生(代議員)：**早めに対応をお願いします。

その他に質問もなく、以上で質問を終了した。

#### 議長閉会宣言

最後に、秦会長の謝辞が行われ、議長が19：55閉会を宣した。

#### 出席代議員

1 番 佐 藤 元二郎	12番 楠 原 敏 幸	23番 赤 須 正 道
2 番 住 吉 昭 信	13番 皆 内 康 広	24番 佐 藤 靖 美
3 番 脇 坂 信一郎	14番 八 尋 克 三	25番 甲 斐 文 明
4 番 綾 部 隆 夫	15番 永 吉 洋 次	26番 三ヶ尻 榮 一
5 番 王 丸 鴻 一	16番 川 島 謙一郎	27番 永 友 和 之
6 番 中 山 健	17番 瀬ノ口 頼 久	28番 大 塚 直 純
7 番 ※菊 池 清 文	18番 長 倉 泰 郎	29番 岩 田 達 男
8 番 市 来 齊	19番 石 井 芳 満	30番 山 元 敏 嗣
9 番 増 田 好 治	20番 ※河 野 一 成	31番 大 森 臣 道
10番 金 丸 禮 三	21番 ※出 水 善 文	32番 前 原 東 洋
11番 千 阪 治 夫	22番 平 田 実	

(出席者32名、※印は予備代議員)

#### 出席役員

会 長 秦 喜八郎	常任理事 河 野 雅 行	理 事 小 牧 一 磨
副 会 長 大 坪 睦 郎	” 濱 砂 重 仁	” 高 崎 眞 弓
” 志 多 武 彦	” 夏 田 康 則	” 高 橋 政 見
常任理事 稲 倉 正 孝	理 事 和 田 徹 也	” 池 井 義 彦
” 西 村 篤 乃	” 浜 田 恵 亮	監 事 尾 田 博
” 富 田 雄 二	” 小 玉 徳 信	” 甲 斐 允 雄
” 早稲田 芳 男	” 吉 田 建 世	” 稲 津 舜 介

(出席 21名)

第58回宮崎県医師会定例総会  
特 別 講 演  
平成15年度  
第53回宮崎県医師会互助会総会  
第55回宮崎県医師連盟大会

と き 平成15年 6 月28日(土)

ところ 県医師会館

### 定例総会

稲倉常任理事の司会により、志多副会長から開会挨拶があった。

最初に、平成14年度定例総会以降物故会員11名の先生方に黙祷を捧げた。

古 賀 知 章 先生(宮 崎)  
高 橋 司 先生( " )  
海老原 為 明 先生( " )  
日 高 律 郎 先生( " )  
竹 下 文 夫 先生(都 城)  
吉 村 武 文 先生(延 岡)  
田 中 則 光 先生(日 向)  
蟻 塚 良 助 先生(児 湯)  
江 藤 英 延 先生( " )  
伊 藤 徹 先生(西 都)  
福 岡 良 朗 先生(南那珂)

### 秦 会長挨拶

秦でございます。第58回の県医師会定例総会を開催いたしましたところ、県下から多数の会員の先生方にお集まりいただきまして有り難うございます。

また、日本医師会長、松形県知事、国会議員の諸先生方、宮崎医科大学の松尾学長先生をはじめ多数のご来賓の方々に、華を添えていただきまして心からお礼を申し上げます。又、数々の表彰の榮に浴されました先生方、お元気で喜

寿をお迎えの先輩の諸先生方、心からお喜び申し上げます。

さて、ご承知のように昨年4月の診療報酬切り下げ、10月の高齢者1割負担の導入、本年4月の保険本人自己負担3割への引き上げ等々、お年寄り等、弱い者いじめの医療制度改革が実施されまして、その結果、現実に患者さんの受診抑制ということが起っております。一方で良質の医療提供を継続することを困難にさせるような事態になっています。このまま行きますと、地域医療の崩壊は目前に迫っているという認識を持っています。日本医師会でも必死に巻き返しを図っておりまして、例えば、再診料の月内通減制の廃止、手術料減算の施設基準要件の緩和など、局地戦では少しずつ回復の状況にあります。しかし、大筋では連戦連敗というふうに私は考えています。

九州各県医師会では医療制度改革反対と小泉総理の退陣を各県の代議員会で決議しています。全国を動かす力とはなっていませんが、変革は辺境の地で起ると確信しています。また、規制改革会議での最重要6項目の中に①株式会社の参入、②混合診療の解禁、③コンビニでの医薬品販売等があり、一部は、昨日(6月27日)の閣議におきまして、骨太の方針(第3弾)として閣議決定をされています。

このように、この1、2年のうちに21世紀の

医療制度の根幹が決定されようとしています。世界に冠たる国民皆保険制度を守り抜く為に、また、県民の健康と幸せを約束する為に総力を挙げて戦うときが今であろうかと考えています。

本日、関連の互助会につきましては、互助会を解散するというような意見も出ていますが、相互扶助の初心に立ち返り、本県では存続を図りたいと考えています。また、医師連盟につきましては、6月18日の県医連執行委員会で県政全般に亘り明るく且つ保健・医療・福祉の分野に理解の深い、牧野としお候補の推薦を決定しました。松形知事が殆どの基盤整備をされました宮崎県政を更に発展させるであろうということをお願いしています。

最後に、会員の諸先生方の団結と行動力こそが今日の、我々のおかれている困難な事態を開する力となりますことを再度強調申し上げまして、ご挨拶といたします。

その後、来賓祝辞及び来賓紹介があった。

#### 来賓祝辞

坪 井 栄 孝 日本医師会長  
(柳田喜美子日医常任理事代読)

松 形 祐 堯 宮崎県知事  
持 永 和 見 衆議院議員  
小齊平 敏 文 参議院議員

#### 来賓紹介

松 尾 壽 之 宮崎医科大学長  
喜 島 健一郎 宮崎県薬剤師長  
日 高 幸 平 宮崎県福祉保健部長  
江 藤 隆 美 衆議院議員(代理)  
堀之内 久 男 衆議院議員(代理)  
大 原 一 三 衆議院議員(代理)  
中 山 成 彬 衆議院議員(代理)  
上 杉 光 弘 参議院議員(代理)

#### 宮崎県医療功労者知事表彰

比江嶋睦典(宮崎)、池之上邦彦(都城)、三ヶ尻榮一(日向)、黒木和裕(児湯)、上山征史郎(西都)、松田弘彦(南那珂)の6名の先生に対し、医療功労者知事表彰が松形県知事から行われた。

#### 在任10年以上の郡市医師会長表彰

在任10年以上の郡市医師会長として、千代反田 泉先生(前日向市東臼杵郡医師会長)に秦会長から表彰状が贈呈された。

#### 永年勤続代議員に対する感謝状贈呈

永年勤続代議員(10年以上の代議員歴・満70歳以上の先生)として、王丸鴻一先生(宮崎)に秦会長から感謝状が贈呈された。

#### 県医師会医学賞贈呈

稲倉常任理事から、県医師会医学賞に関する規程により、6月4日の医学賞選考委員会での選考経過を説明し、

①「学校検尿3次個別検診方式のシステム化と集団検尿方式との比較」

宮田 純一 先生他(第26巻第1号)

②「宮崎県泌尿器科医会における7年間の性感染症患者の検討」

瀨砂 良一 先生他(第26巻第2号)

の2論文が優秀論文として、推薦され決定された旨の説明があった。その後、代表して、宮田純一先生(延岡)及び瀨砂良一先生(宮医大)に秦会長から本会医学賞が贈呈された。

#### 高齢会員祝賀

喜寿会員(34名)(大正15年1月1日～

昭和元年12月31日生77歳)

中 島 知 徳 先生(宮 崎)  
松 村 雄 二 先生( " )  
青 木 宏 先生( " )  
牛 嶋 壯一郎 先生( " )  
影 山 健 彦 先生( " )  
木佐貫 靖 夫 先生( " )

村 田 比 先生(宮 崎)  
 小 川 次 男 先生( " )  
 田 代 逸 哉 先生( " )  
 福 田 實 先生( " )  
 三 原 英 三 先生( " )  
 安 達 哲 哉 先生( " )  
 松 本 信 儀 先生( " )  
 坂 本 徳 夫 先生( " )  
 白 石 正 路 先生( " )  
 河 内 實 世 先生( " )  
 野 邊 堅太郎 先生(都 城)  
 義 川 英 治 先生( " )  
 中 山 展 男 先生( " )  
 木 村 元 亨 先生( " )  
 山 元 平 先生( " )  
 山 下 博 先生( " )  
 宇 宿 不二夫 先生( " )  
 山 本 忠 男 先生( " )  
 中 村 権 二 先生(延 岡)  
 大 重 光 雄 先生( " )  
 北 國 秀 一 先生( " )  
 吉 川 光 男 先生(児 湯)  
 上 野 百 喜 先生(西 都)  
 高 岡 日 吉 先生( " )  
 山 見 文 雄 先生(南那珂)  
 川 口 武 俊 先生( " )  
 内 村 成 良 先生(西 諸)  
 西 郷 成 誠 先生( " )

#### 各種表彰祝賀〔受賞(章)者〕

○平成14年 8 月 1 日

保健衛生功労により勲五等双光旭日章

渡 邊 得 三 先生(日 向)

○平成14年 9 月 6 日

救急医療事業功労により県知事表彰

志 多 武 彦 先生(宮 崎)

福 島 正 明 先生(都 城)

野 村 敏 彰 先生(延 岡)

○平成14年 9 月 9 日

救急医療功労により厚生労働大臣表彰

姉 川 朔 実 先生(都 城)

○平成14年10月24日

宮崎日日新聞賞(科学賞)

坪 内 博 仁 先生(宮医大)

○平成14年10月24日

社会保険診療報酬支払基金関係功労により

厚生労働大臣表彰

栗 林 忠 信 先生(宮 崎)

○平成14年10月30日

精神保健福祉事業功労により

厚生労働大臣表彰

藤 元 登四郎 先生(都 城)

○平成14年10月30日

精神保健福祉事業功労により

厚生労働大臣感謝状

近 間 悟 先生(宮 崎)

○平成14年11月 1 日

救急医療体制功労により

日本医師会最高優功賞

河 野 通 先生(宮 崎)

○平成14年11月 3 日

保健衛生功労により勲四等瑞宝章

有 満 金 郎 先生(都 城)

○平成14年11月 3 日

保健衛生功労により勲五等瑞宝章

加 藤 重 信 先生(南那珂)

○平成14年11月 7 日

学校保健及び学校安全功労により

文部科学大臣表彰

内之浦 明 先生(都 城)

○平成14年11月 7 日

公衆衛生事業功労により厚生労働大臣表彰

森 下 博 夫 先生(宮 崎)

吉 松 成 人 先生(都 城)

井 上 日出男 先生(延 岡)

○平成14年11月 7 日

公衆衛生事業功勞により 日本公衆衛生協会  
長表彰

長 田 憲二郎 先生(日 向)

上 野 百 喜 先生(西 都)

○平成14年11月14日

母子保健家族計画事業功勞による  
厚生労働大臣表彰

寺 尾 博 二 先生(日 向)

○平成14年11月14日

公衆衛生事業功勞により県知事表彰

倉 岡 誠 三 先生(宮 崎)

佐 藤 重 国 先生(西 都)

○平成15年 4 月29日

保健衛生功勞により勲四等瑞宝章

吉 田 精 孝 先生(延 岡)

鮫 島 哲 也 先生(日 向)

○平成15年 4 月29日

学校保健功勞により勲五等瑞宝章

高 岡 日 吉 先生(西 都)

○平成15年 6 月28日

医療功勞者として県知事表彰

比江嶋 睦 典 先生(宮 崎)

池之上 邦 彦 先生(都 城)

三ヶ尻 榮 一 先生(日 向)

黒 木 和 裕 先生(児 湯)

上 山 征史郎 先生(西 都)

松 田 弘 彦 先生(南那珂)

## 報告・議事

議事の進行にあたり、議長は、本会定款第30条により、県医師会長が務めることになっておりますので、秦会長が議長席に着席し、はじめに、本会定款第32条第2項の規定に基づき、議事録署名人として、市来 齊先生、増田好治先生(いずれも宮崎)の2名が選出され、報告、議事に入った。

## 1. 報 告

志多副会長から、配布資料により代議員会における決議事項及び会務報告について、報告があった。

第132回定例代議員会が、平成15年 3 月25日

**議案第 1 号 平成15年度宮崎県医師会事業計画に関する件**

**議案第 2 号 平成15年度宮崎県医師会各会計収入支出予算に関する件**

①一般会計

②県からの委託・補助事業特別会計

③福祉特別会計

④会館管理特別会計

**議案第 3 号 第132回宮崎県医師会定例代議員会における決議に関する件**

**議案第 4 号 平成14年度宮崎県医師会会館管理特別会計収入支出補正予算に関する件**

いずれの議案も承認され、内容については、日州医事 5 月号に掲載。

第133回定例代議員会は、平成15年 6 月17日

**議案第 1 号 平成14年度宮崎県医師会各会計収入支出決算に関する件**

①一般会計

②福祉特別会計

③会館管理特別会計

議案第 1 号は承認され、内容については、日州医事 8 月号に掲載予定です。

会務報告につきましては、主なる行事について、その都度、日州医事に掲載して報告していますが、平成14年度会務報告は7月号日州医事別冊として、詳細に掲載予定ですので、本日の総会では省略します旨の報告があり、質問もなく異議なく了承された。

## 2. 議 事

### 議案第1号 平成14年宮崎県医師会各会計収入支出決算に関する件

- ①一般会計
- ②福祉特別会計
- ③会館管理特別会計

西村常任理事が、配布資料により説明し、質問もなく異議なく承認された。

以上をもって、定例総会を終了した。

その後、宮崎県知事選挙に関して、本連盟推薦の牧野としお候補が県北に行かれております関係で、奥様の牧野邦子様から推薦のお礼の挨拶があった。

その後、特別講演、中央情勢報告が行われた。

#### 特別講演

演題「宮崎医科大学の今後の展望について」

講師 宮崎医科大学長 松尾壽之 先生

#### (講演要旨)

1974年に開学した宮崎医科大学は、その30年の歴史を、一応閉じて、新しく創設される宮崎大学の医学部として生まれ変わることになります。今秋10月に迫った統合を間近に控えて、あわただしい毎日です。3月末、平成14年度第24回の卒業生を送り出し、今新たに新入生を迎えましたが、これが、宮崎医科大学としての最後の卒業式なのだ、そしてこれが最後の入学式なのだと、思わず感慨にふけるこの頃です。しかし。統合・それに続く法人化の波は、もう秒読みの段階で、そんな感傷に浸る状況ではありません。

うち続く経済不況を背景にした大学の統合・再編であることは否定出来ない事実ではありますが、これを機会に、21世紀にふさわしい大学を造り上げたいものと、教職員一体となって、模索しながらも、懸命に頑張っています。ヒトゲノム解読完了の知らせに象徴されるように、21世紀の医学は大きく様変わりするこ

とは疑いもありません。21世紀の医学は、他の領域との緊密な協調なくしては、成立しなくなるでしょう。目前に迫った統合を、そのための絶好のチャンスとして捉えるべきだと思います。4つの異なる学部が互いに連繋しながら、生命科学というキーワードの下に、独自の特色を持った新しい大学を創りたいと努力しています。平成15年度から増設される宮崎医科大学医学系大学院の修士課程は、4年制大学卒業生を医学の世界に迎える第一歩です。また、4月から、フロンティア科学総合実験センターが設立され、新しい生命科学の展開を目指す基盤が出来上がりました。昨春秋、文部科学省「21世紀 COE プログラム」に採択された宮崎医科大学の蓄積された実力と将来に向けての可能性を、新しい大学においてより強力に推進したいものです。一方、大学附属病院は、昨年度実施された日本医療機能評価機構による厳しい評価に耐えて、日本における最高ランクの優秀な病院であると認定されました。また、宮崎医科大学同窓生の活躍も目覚ましく、教育、研究、診療を3つを軸とする宮崎医科大学創立の理念が、30年の歴史の中に息づいています。この基盤の上に、宮崎医科大学は、統合・法人化の後も、さらに新しい医学部として、成長し、発展するものであります。

巣立っていった卒業生も、新入生も、それぞれが胸を張って誇れるわれわれの医学部を、あとに続くより若い世代のための残そうと願っています。

#### 中央情勢報告

日本医師会常任理事 柳田喜美子 先生から、被用者保険本人3割自己負担の実施凍結の問題、医療費の問題、医療への株式会社参入阻止の問題、混合診療導入反対の問題、コンビニでの医薬品販売、月内通減制の廃止、健保組合と医療

機関との個別契約の問題、「第三次レセプト調査」4月診療分の集計結果、個人情報の保護に関する問題、平成16年度国の予算関係等々について中央情勢報告が行われた。

(配布参考資料:「第三次レセプト調査」4月診療分の集計結果(速報)、診療情報の提供、「個人情報保護に関する法律」をめぐる動き、医療安全対策、混合診療ってなに?、平成16年度医療に関する税制改正重点項目)

### 互助会総会

規定により、秦会長が議長となり、進行された。

和田理事が、平成15年6月12日開催された互助会定時評議員会の下記報告事項及び議事につ

いて説明を行い、質疑もなく了承された。

### 1. 報 告

- ①基金の預入れ、②互助会加入者数、③互助会規程による各郡市医師会会員融資証明数、④取扱銀行融資証明額

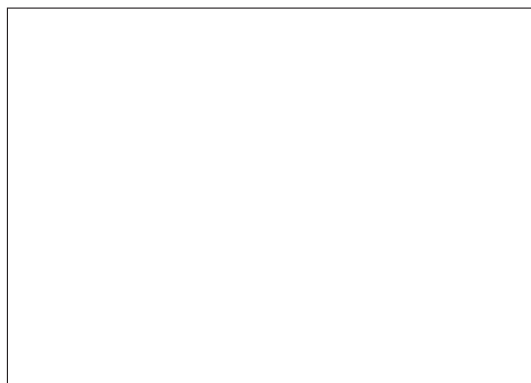
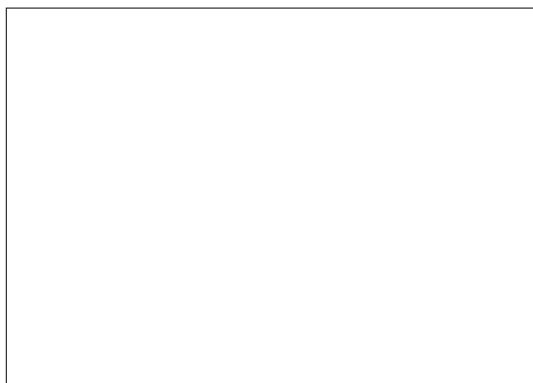
### 2. 議 事

#### 議案第1号 平成14年度宮崎県医師会互助会収支決算について

#### 医師連盟大会

志多副委員長が、平成14年度医師連盟会務報告等を行い、質疑もなく了承され、全日程を終了した。

なお、出席者は222名(会員158名、非会員64名)であった。



## 平成16年度 第104回九州医師会医学会 第 1 回準備委員会

と き 平成15年 7 月 8 日(火)

ところ 県医師会館

去る 5 月 17 日(土)に開催された九州医師会連合会第255回常任委員会において、宮崎県医師会が九州医師会連合会の平成16年度担当県に決定し、第104回九州医師会医学会が宮崎県で開催されることになった。このたび第 1 回準備委員会が開催された。秦会長の挨拶後、準備委員長に県医師会 大坪副会長、副委員長に宮崎県医学会 王丸副学会長及び県医師会 稲倉常任理事が選任され協議がすすめられた。

### 協 議

#### 1. 第104回九州医師会総会・医学会の開催の日程・場所について

日程は平成16年10月29日(金)～31日(日)、開催場所はシェラトン・ワールドコンベンションセンター・サミットで承認された。

#### 2. 医学会特別講演について

特別講演を 2 題とし、日本医師会長講演と文化講演を予定することとした。文化講演は宮崎県にゆかりのある方に依頼することになり、数名の候補者が挙げられた。

#### 3. 分科会について

原則として従来通り開催することになったが、最終的には各分科医会の意向をうけて本年 8 月末日までに決定することとした。

現在の各分科医会の意向は次の通りである。

##### 1) 開催予定の医会

内科・小児科・外科・整形外科  
産婦人科・東洋

##### 2) 開催しない予定の医会

放射線科・泌尿器科

##### 3) 保留又は未定の医会

眼科・耳鼻咽喉科・精神科

#### 4. 記念行事について

前回本県で開催した 6 種目(テニス・ゴルフ・弓道・走ろう会・サッカー・囲碁)を軸に開催を予定する。卓球については、今後検討することになった。

#### 5. 会場の確保について

総会・医学会・分科医会についてはサミット施設にて確保できる。

記念行事の会場については、記念行事世話人会において検討する。

#### 6. 次回準備委員会の開催

本年秋以降を予定する。

出席者―大坪委員長、王丸・稲倉副委員長  
各都市医師会―綾部・市原・甲斐・永友・大塚・  
岩田・大森会長  
各専門分科医会―千阪・増田・松田・中山・  
菊池・後藤・田村・木下会長  
柴田副会長  
県医師会―秦会長、志多副会長、西村・富田・  
早稻田・河野・濱砂・夏田常任理事、  
和田・浜田・小玉・吉田・小牧・  
高崎・高橋・池井理事

## 第14回新研修医保険診療説明会並びに祝賀会

と き 平成15年 6 月24日(火)

ところ 宮崎観光ホテル

本年度医師国家試験に合格し、臨床研修を行う医師を対象として、保険診療説明会等及び祝賀会が開催された。

説明会は稲倉常任理事の司会により、志多副会長から「保険診療について」、西村常任理事から「医事紛争について」、濱砂常任理事から「県医師会への入会ご案内」についてそれぞれ説明が行われ、研修医は熱心に聴講して有意義に終了した。

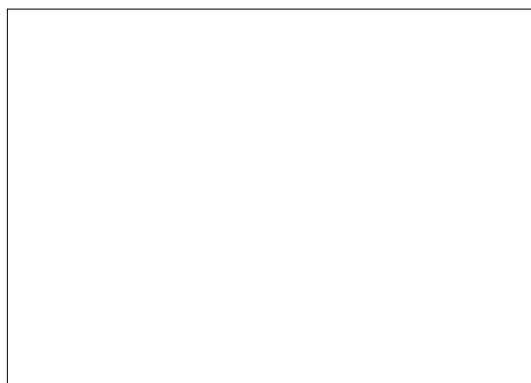
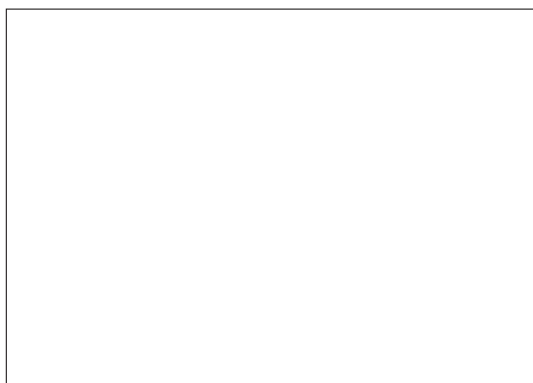
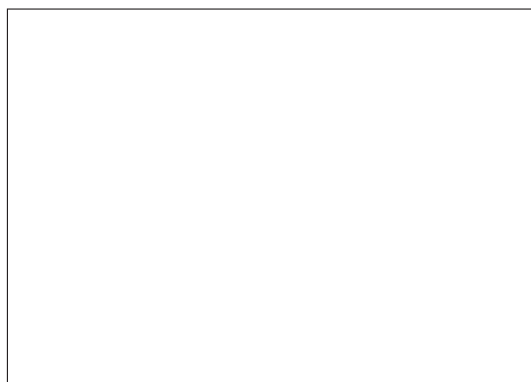
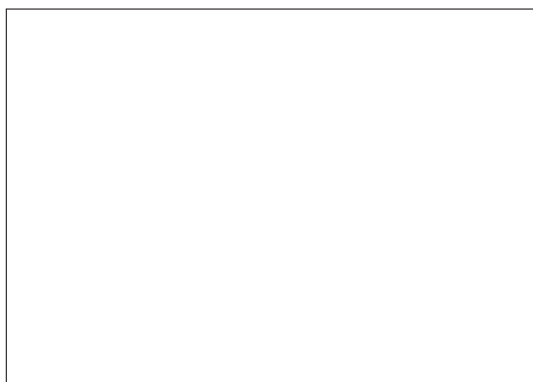
祝賀会は日高県福祉保健部長(県知事代理)、宮崎医科大学住吉副学長・各教授・各医局長及

び県立宮崎病院立山院長並びに本会役員が出席して開催された。

稲倉常任理事の司会により、まず、秦 会長からお祝いのことばを申し上げ、次いで県知事代理として日高県福祉保健部長及び住吉副学長から激励のことばがあり、立山病院長の乾杯の発声により、祝賀会が開催された。

開宴の席上、各教室毎に新研修医の自己紹介が賑やかに行われ、盛会裡に終了した。

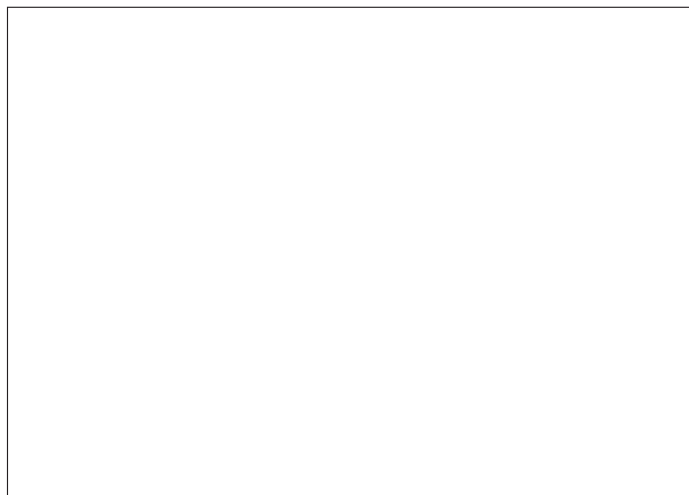
なお、本会から各研修医には記念の印鑑を贈呈した。



## 平成15年度新研修医名簿

◆ 宮 崎 医 科 大 学 ◆				48名
診 療 科	氏 名	診 療 科	氏 名	
第 一 内 科	河 野 清 香	整 形 外 科	吉 川 教 恵	
第 一 内 科	坂 元 紀 陽	皮 膚 科	小 牧 利 恵 子	
第 一 内 科	久 保 恵 是	泌 尿 器 科	井 上 知 宏	
第 一 内 科	星 子 新 里	泌 尿 器 科	杉 江 悟	
第 二 内 科	有 馬 志 穂	泌 尿 器 科	高 森 大 樹	
第 二 内 科	亀 田 拓 郎	眼 科	白 坂 陽 子	
第 二 内 科	中 澤 潤 一	眼 科	福 島 慶 美	
第 二 内 科	中 村 憲 一	眼 科	丸 目 美 香	
第 二 内 科	原 田 拓	耳 鼻 咽 喉 科	清 水 順 一	
第 二 内 科	宮 内 俊 一	耳 鼻 咽 喉 科	高 岩 一 貴	
第 三 内 科	松 尾 崇	耳 鼻 咽 喉 科	直 野 秀 和	
第 三 内 科	山 下 英 一 郎	産 科 婦 人 科	大 橋 昌 尚	
第 三 内 科	今 井 光 一	産 科 婦 人 科	葛 西 路	
小 児 科	中 原 彰 彦	産 科 婦 人 科	河 村 直 子	
小 児 科	平 嶺 智 子	産 科 婦 人 科	中 野 ゆ う き	
小 児 科	日 高 智 子	産 科 婦 人 科	山 内 綾	
第 一 外 科	麻 田 貴 志	産 科 婦 人 科	築 山 尚 史	
第 一 外 科	有 馬 里 美	放 射 線 科	矢 野 達 彦	
第 一 外 科	柴 田 伸 弘	放 射 線 科	渡 邊 祐 子	
整 形 外 科	小 島 岳 史	放 射 線 科	陣 内 崇	
整 形 外 科	崎 濱 智 美	麻 酔 科	與 那 覇 哲	
整 形 外 科	福 島 克 彦	脳 神 経 外 科	武 石 剛	
整 形 外 科	三 橋 龍 馬	歯 科 口 腔 外 科	東 中 修 一	
整 形 外 科	吉 川 大 輔	歯 科 口 腔 外 科	渡 邊 直 志	

## 県ドクターズテニス春の大会



去る 5 月 18 日(日), シーガイアテニスコート(宮崎市)で春の大会を行いました。  
沢山の参加があり, いろいろな組み合わせでダブルスによる試合を行い, 終日  
楽しくプレイをしました。

次回, 秋の大会にはもっと沢山の先生方の参加をお願いします。

県ドクターズテニスクラブ

会長 近 間 悟

## 平成14年度地域診療情報連携推進事業発表会

と き 平成15年 7 月11日(金)

ところ 東京都・厚生労働省講堂

常任理事 富 田 雄 二

はにわネットは電子カルテを用いた地域連携の推進を目的としており、(1)センター方式の情報連携、(2)患者との情報共有、(3)オープンシステム(様々な電子カルテ、レセコン、検査センターなどが接続可能)を特徴としている。いわば連携のためのインフラを整備できたことが大きな成果であり、ユーザーから見ればインターネット接続環境や使用する電子カルテ、レセコンの種類に制約されることなく、安全に医療情報を共有することが可能となる。平成14年度に実施した事業は以下の通りである。

### 1. 参加施設の拡大

フル電子カルテ(外来用電子カルテ eDolphin +レセコン ORCA)設置機関は10病院と31診療所

web 電子カルテ設置機関は 4 病院, 11 薬局, その他 8 施設(訪問看護ステーション, 検査センターなど)

登録医師数175名

### 2. マルチベンダー化

電子カルテは Dolphin と WINE STYLE を接続, レセコンは ORCA と富士通 SX-P を接続, 検査センターは宮崎市郡医師会検査センター, SRL, BML, 化血研, パソラボ, 臨床宮崎を接続

### 3. レセプトの電子的提出

4 施設で提出中または, 7 月より提出予定

### 4. 医療情報交換規約の改変

HL7 CDA に準拠した MML version3 を実装

### 5. 電子カルテの機能強化

### 6. ショールームの開設

宮崎医科大学, わたようクリニック, ヒロ薬局をまわる見学コースの開設, 県医師会内

に体験コーナーを開設, パンフレットやポスター印刷

### 7. 個別プロジェクトの実施

ハートフルキャップ(障害者ネットワーク), 介護連携システム, 健康診断システム, 画像診断システム, 多施設治験システム, インシデントレポートシステム

今後, 地域診療情報連携推進のためには以下のような課題があると考ええる。

### 1. 電子カルテの普及

システム価格の低廉化, システム操作性の向上, 電子カルテバリエーションの増加, フォローアップ体制の確立

### 2. 行政の後押し

地域連携推進のための何らかの制度化が必要, 例えば診療報酬の加算, ガイドラインの提示, 行政に担当部署の設置(地域診療情報連携室)

### 3. 地域住民への啓蒙

地域連携の必要性を認識してもらう, システムを安全に活用するリテラシー教育

出席者一富田雄二, 荒木賢二

## はにわネット病院向け連携電子カルテシステム IZANAMI の紹介

宮崎健康福祉ネットワーク協議会

副会長 荒 木 賢 二

はにわネット協議会では、地域連携に病院の参加は不可欠と考え、病院向け連携電子カルテ「IZANAMI」(Intelligent Zero-Aborting Navigation system for Medical Information)のサービスを平成16年秋より開始します。この場をお借りして、開発コンセプトと特徴を紹介をさせていただきます。

### 1. はにわネットの地域連携に完全対応

病床機能の分化に伴い、地域連携は、病院の経営戦略上も重要です。「IZANAMI」は、地域連携を前提として開発された連携電子カルテシステムであり、はにわネットの地域連携機能をフルに活用して、地域連携(病一診、病一病、医一薬、病一介護、対患者)を効率よく行い、地域の中核病院として、より高度な地域貢献、患者サービス提供を支援します。

### 2. 短期導入、利便性、低コストを目標に開発

#### (ア) センター集中管理方式(ASP 方式)

メンテナンスの効率化

#### (イ) 画面設計のマス対応

ユーザー個別対応の効率化

#### (ウ) 使いやすい病棟携帯端末

携帯端末には、オプションで音声入力機能も追加可能。

### 3. 電子クリニカルパス機能

診療コストを管理するためにも、クリニカルパスの導入は、病院では必須のものとなりつつあります。「IZANAMI」では、オーバービュー、アウトカム評価、バリエーション集計、

日めくりパスなど、パスの機能を使いやすい形で電子化しています。

#### (エ) 観察所見と病棟携帯端末の連携

病棟等の携帯情報端末(PDA)には、クリニカルパス等で患者ごとに設定したアウトカム項目や観察所見項目が入力項目として表示されます。

#### (オ) バリエーション集計

オーダーやタスクの中止・変更時、観察所見の異常発生時、アウトカム評価のバリエーション発生時には、メールで通知するとともに、バリエーションとして集計し、効率よく参照でき、素早い対応を支援します。

#### (カ) クリニカルパスの共有

クリニカルパスを地域で共有することにより、地域連携クリニカルパスが可能となります。

### 4. 便利なスタンプ機能

「IZANAMI」では、よく使う診療行為等をセット化し「スタンプ」として登録し、ドラッグアンドドロップで簡単に再利用する機能を備えています。スタンプには、以下のものがあり、既存のものの活用や、地域での共同利用も可能です。

#### (ア) オーダースタンプ

フルオーダー対応。オーダー発行時にメールで通知したり、説明書、同意書等の文書を自動的に印刷する機能あり。

#### (イ) タスクスタンプ

- オーダー以外の医師や看護師の業務
- (ウ) アウトカムスタンプ  
クリニカルパスにおけるアウトカム項目と目標値を登録
- (エ) 観察所見スタンプ  
検歴やバイタルなどの観察所見項目を登録。異常値やパニックバリューが発生したときに、メールで通知します。
- (オ) クリニカルパススタンプ  
上述のスタンプをオーバービュー(時系列一覧表)に展開してクリニカルパスを作成し、スタンプとして登録。
- (カ) テキストスタンプ  
よく使う文章(例えば指導内容)の登録

- (キ) 患者検索スタンプ  
様々な患者検索条件も、登録可能。

## 5. 日医標準レセプトソフト完全対応

「IZANAMI」は、病院版日医標準レセプトソフト(いわゆる ORCA)とセットで運用されます。よって、ORCA のサポートもサービスに含まれています。ORCA を用いることにより、導入や点数改正対応等のコスト削減を図ることが出来ます。

問合せ先  
宮崎健康福祉ネットワーク協議会  
アボック事務局 ☎0985-50-6600  
担当：田中，内野，米

「IZANAMI」汎用オーバービュー画面の一例

## 日医 FAX ニュースから

### 2017年の医療・介護費総額は51兆1678億円 ― 日医・医療グランドデザイン ―

日本医師会は7月1日、2017年の公的保険による医療・介護費総額は51兆1678億円となり、常勤医師の総数は1999年より4.8万人増えて28.2万人になるとの推計をまとめた「医療のグランドデザイン2017年版」を公表した。00年にまとめた「2015年医療のグランドデザイン」や昨年の「補遺2016年版」をもとに、最新の統計データに基づき推計値を改定した。また、患者志向の医療を目指すため、安全な医療が行えるための環境整備の必要性も説いている。

(平成15年7月4日)

### 規制改革会議の国会審議への介入に批判噴出

総合規制改革会議の委員構成について、同じ人材派遣業界から2人選任されているのは、「公平中立とはいえない」とした城島正光議員(民主)の衆院厚生労働委員会での発言に対して、当事者であるザ・アールが議事録からの削除などを求める通知書を中山成彬厚生労働委員長あてに送っていたことが7月3日、わかった。長勢甚遠衆院議員(自民)が同日、都内で講演したなかで明らかにし、「国会議員の質問権を侵害するものだ」と憤りを示した。一方、城島議員のもとには同会議議長である宮内義彦氏(オリックス会長)からの抗議文書が届いており、度重なる国会審議への介入に批判が集まっている。

発端は5月14日の衆院厚生労働委員会の派遣労働法改正案の審議だった。このなかで城島議員は、総合規制改革会議の委員構成について、(1)人材派遣業界からザ・アール社長とリクルー

ト会長の2人が入っており、公正中立であるとは言いがたい、(2)オリックスがザ・アールの有力株主であり、リクルートはザ・アールの主要取引先である―と指摘。「談合よりもひどい状況だ」と非難した。

ザ・アール側は、城島議員の発言が名誉毀損にあたるとして、事実関係の調査や議事録からの削除を求める通知書を中山厚生労働委員長あてに送った。

城島議員によると、最終的にはザ・アール側が謝罪する形で決着したにもかかわらず、6月30日になって今度は、宮内議長から文書が送られてきたという。このなかで宮内議長は、「自己の勝手な憶測により、殊更に誇張、歪曲し、関係する各委員、ひいては総合規制改革会議全体の識見を侮辱し、国民の誤解を招くような発言は不当」などと抗議している。

宮内議長の強気の姿勢が、従来から総合規制改革会議、経済財政諮問会議を軸にした小泉首相のトップダウンの政策決定に異議を唱えている与野党議員の反感を買うことは必至。民主党は3日開いた国会対策委員会でこの問題を取り上げ、徹底追及していく方針を確認している。

(平成15年7月8日)

### 介護サービスによる要介護度の変化

#### ― 社保審・介護保険部会 ―

この日の部会では、介護サービスによって要介護度がどう変化したかを追った、日医総研(日本医師会のシンクタンク)の調査研究に委員の注目が集まった。7878人を対象に2000年10月と2002年10月の要介護度を比較したこの調査によると、要介護度が改善したのは全体の7.8%、維持(同じ要介護度)35.8%、重度化(悪化)29.1%、死亡

23.2%, その他(認定なし)4.1%—であったことがわかった。要支援では重症化が全体の半数近くに当たる48.9%を占めた。

介護保険の保険者である市町村代表の委員は、「このままでは介護保険が第二の国民健康保険になる」として保険者への財政支援策などの議論を急ぐよう求めたが、田近栄治委員(一橋大学大学院教授)は、「要介護度が悪くならないことこそ保険者の責任。お金の話に行く前に市町村が保険者としてどれだけのサービスをしてきたかを検証するべきだ」と釘を刺した。

上田敏委員(日本障害者リハビリテーション協会顧問)も、要支援の半数近くが重症化していることに強い問題意識を表明。「(リハビリテーションなどを)正しい方法論にたってやれば改善できる。それが実現すれば結果として介護給付費も軽減でき利用者も幸せになれる」と話した。

一方、西島英利委員(日本医師会常任理事)は、要支援、要介護1の数が急増しているのに1人あたりの介護給付費は減少していることや、要支援の利用者が車椅子や移動リフトを購入していることを指摘。「業者が(利用者の)掘り起しをした結果だろうが、本当に必要な人に必要なサービスが提供されているのか検証する必要がある」と述べた。(平成15年7月11日)

## 医療観察法案が成立

### — 衆院法務委で可決 —

衆院法務委員会(山本有二委員長)は7月8日、

一部修正のため、参院から送付されていた心神喪失者等医療観察法案を与党3党、自由などの賛成多数で可決した。同法案は7月10日の衆院本会議で可決、成立した。

同法案は殺人、放火などの重大な他害行為を行い、心神喪失を理由に不起訴や無罪などとなった精神障害者について、新たな審判制度や専門治療施設を設けるもの。参院で、法律番号の公布日を「平成14年」から「平成15年」に改めるなどの修正を加えたため、衆院に送付されていた。同日の委員会では約2時間の一般質疑を行った後、採決を行い、与党のほか、自由、無所属の賛成多数で可決した。(平成15年7月11日)

## サラリーマン本人の総点数が5.62%減

### — 日医第三次レセプト調査 —

日本医師会は7月15日、今年4月と5月のレセプトを対象に実施した「第三次レセプト調査」の速報値を公表した。それによると、サラリーマン本人では総点数が前年比で5.62%減少。前回の速報値(4月診療分)と同様、患者数、延べ患者数も軒並み減少した。同日会見した青柳俊副会長は、(1)昨年10月の老人の自己負担引き上げ、(2)老人慢性疾患外来総合診療料(外総診)の廃止、(3)今年4月実施のサラリーマン本人の自己負担3割—の3点の影響が出ているとの認識を示した。(平成15年7月18日)

## ヒヤリ・ハット！

医療安全対策委員会 まきの たか お  
牧 野 剛 緒

延岡市医師会病院では2002年9月より医療安全管理対策委員会にてヒヤリ・ハット(インシデント・アクシデント)の報告書式を決定し、月に1回集計とともに院内にて報告を行っている。ヒヤリ・ハットの報告件数は毎月20件以上報告されている。発生内容で多いのは点滴や管などの自己抜去、薬物、転倒などである。また発生場所が多いのは病室、ナースステーションの順となっている。2003年4月より6月までの集計を下記に示す。

### 1. 階段への転落事例

脳梗塞後遺症の患者さんがひとりで廊下を歩行器で歩いている際に3階の廊下より2階と3階の間の階段踊り場へ歩行器とともに転落した。建物の構造上、階段の手前がスロープ状となっており、下肢の不自由な状況では滑りやすい状況であったと考えられた。すぐに、スロープをなおし、滑り止めをつくり、転落への対応を行った。幸い軽度の外傷のみであった。

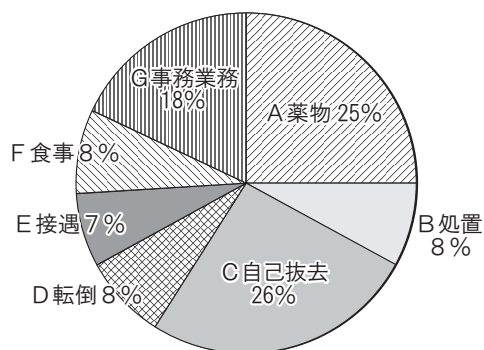
### 2. 薬剤の単位間違い

糖尿病患者さんへのインスリン治療でノボリン30R(40単位/ml)を使用する予定のところをノボリン30R(100単位/ml)を使用した。使用後に気づき低血糖への対応を行った。当

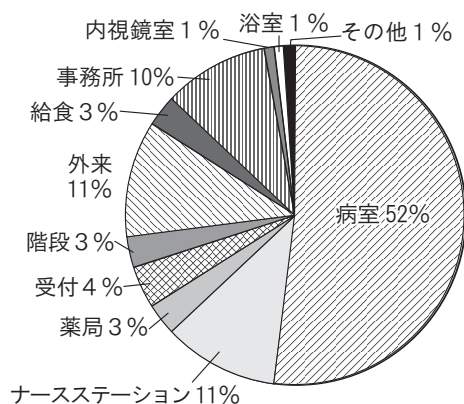
院では薬剤の取り違えを防止するために、薬剤の単位は1個に統一しているが、紹介元の病院で使用していた製品を持参されたため、同一の製品と過って使用したものと考えられた。多数の薬剤で複数の単位、容量違いがあることを常に念頭におかなければならない。薬剤の単位、容量の確認、また持参薬の確認、管理とともに、薬剤師による業務の確認などを行うことにした。

昨年10月15日医療法人社団熊本丸田会理事、日本病院会理事の廣田耕三先生をお招きして「日本医療機能評価機構」について講演をしていただいた。その中で、院内のヒヤリ・ハットの事例で多くみられた転倒のデータを分析し、転倒の時間帯は午後5時頃に多いことが判明した。その時間帯は看護師の交代時であり、夕食の時間にも一致し患者様の移動の多い時であった。その為看護師の交代時間を変更した結果、転倒事故は減少した。このようにヒヤリ・ハットの事例は報告のみで終わることなく、データを分析し業務改善を行い患者様にとってよりよい環境を整備することが重要である。

最後に、資料を提供していただいた延岡市医師会病院、大門佳弘先生に深謝致します。



発生内容内訳



発生場所内訳

(2003年4月～6月)

## 医 事 紛 争 情 報

— メディファクスより転載 —

### ■網膜剥離の手術遅れで視力低下と賠償命令

埼玉県所沢市の防衛医大病院で網膜剥離の手術を受けた東京都東村山市の男性医師(82)が、手術の実施が遅れ視力が回復しなかったなどとして、国に約9700万円の賠償を求めた訴訟の判決で、東京地裁は7日、約2700万円の支払いを命じた。

判決理由で片山良広裁判長は「担当医は症状の急速な悪化を認識しながら緊急手術を実施せず、網膜剥離の進行を放置した過失がある」と指摘した。

判決によると、同病院で右目の白内障手術をした男性医師は網膜剥離が発見され、1998年9月に再入院し、3日後に手術を受けたが、視力は回復せず、別の病院で回復不能と診断された。

### ■胃瘻造設のミスで腹膜炎として1000万円支払い

島根県大田市立病院(岡田和悟院長)で今年1月、流動食が腹腔に入り、同市の女性(当時91)が死亡した事故で、同病院は12日までに、女性の遺族に賠償金1000万円を支払うことで示談が成立した。

事故は昨年12月31日発生。同病院は女性の胃に流動食を入れるチューブを腹部の皮膚の上から挿入しようとしたが、挿入が不完全で腹腔に流動食が入り、腹膜炎を発症。女性は今年1月2日未明に死亡した。病院側はマニュアルを作り直すなどの改善策を講じたという。

### ■呼吸管理ミスで1億7000万円の賠償命令

杏林大病院(東京都三鷹市)に肺炎で入院し植物状態になった三鷹市の女性の両親が、医師の呼吸管理ミスが原因として、病院を運営する学校法人杏林学園に約2億4000万円の賠償を求めた訴訟で、東京地裁は26日、約1億7000万円の支払いを命じた。

判決理由で福田剛久裁判長は「女性は当時、体力の低下や呼吸筋の疲労蓄積で、急性呼吸不全

を起こす可能性が十分あった」と認定し「医師には機械による人工呼吸を怠った呼吸管理上の過失があった」と医療ミスを認めた。

判決によると、女性は1997年5月12日、肺炎で杏林大病院に緊急入院。同16日朝に呼吸が停止し、人工呼吸治療が施されたが、意識が戻らず植物状態に陥った。

病院側は「植物状態になったのは急性の脳脊髄炎が原因で、医師に過失はなかった」と主張したが、福田裁判長は「診療記録などに脳脊髄炎の初期症状は認められない。仮にそうだったとしても、15日中に人工呼吸をしていれば回復可能だった」とした。

### ■軽傷と診断、帰宅後に死亡 病院と警察が死因で対立

交通事故で滋賀県長浜市の市立長浜病院に搬送された同県米原町の女性(82)が軽傷と診断され、帰宅した約2時間半後に容体が急変し死亡したことが5月30日、わかった。司法解剖の結果、米原署は「交通事故でろっ骨が折れ、肺に刺さったことが原因の事故死」と発表。これに対し病院側は「女性は心臓に持病があり、心不全による病死」と診断。骨折については「2度目の搬送時の心臓マッサージで折れた可能性がある」と主張している。1回目の搬送時にエックス線写真は撮っていなかった。

同署によると、女性は28日午前3時半ごろ、米原町の町道で同町内の造園土木業男性(40)のライトバンにはねられた。目立った外傷はなく同6時ごろ帰宅。その後容体が急変、同病院で午前8時半ごろ死亡した。市立長浜病院は「女性の全身を触診したが、異常がなかったため帰宅させた」と話している。

### ■虫垂炎手術ミスで賠償命令

腸閉塞になったのは虫垂炎の手術ミスが原因として、東京都練馬区の男性(39)が佐々総合病院(東京都西東京市)を運営する医療法人に約2500万円の損害賠償を求めた訴訟の判決で、東京地裁は2日、約800万円の支払いを命じた。

判決理由で片山良広裁判長は「手術での止血が不十分で内出血が起こり、再手術をしたことが腸閉塞につながった」と執刀医の過失を認めた。

判決によると男性は1993年3月に急性虫垂炎で入院し手術を受けたが、3日後に異常な内出

血が判明し、再手術。その直後から99年まで腸閉塞で入退院を繰り返し、別の病院で2度手術を受けた。

### ■施設が介護サービス義務を怠ったとして賠償命令

介護老人保健施設に入所中骨折したのは施設が介護サービス義務を怠ったためとして、福島県表郷村の緑川千寿子さん(97)が、同村の「表郷聖・オリーブの郷」を運営する福島市の社会福祉法人「創世福祉事業団」(野田新弼理事長)に約1055万円の損害賠償を求めた訴訟の判決で、福島地裁白河支部の山口均裁判官は4日までに、法人側に約540万円を支払うよう命じた。

判決によると、緑川さんは2001年1月、自室の簡易トイレの排せつ物を処理するため、施設のトイレに行った際、仕切りにつまずいて転倒し右足を骨折した。法人側は「ナースコールで職員に連絡して処理できた」と反論したが、判決は「簡易トイレを掃除するという介護マニュアルも守られておらず、職員が直ちに求めに応じ排せつ物を処理していたかは不明だ」とし法人側の契約不履行を認めた。

### ■心臓手術後の管理ミスを認め2億円の支払い

広島市民病院(広島市中区)で心臓手術を受けた大谷萌生ちゃん(6、同市安芸区)が脳障害を負ったのは手術後の管理ミスが原因として両親が3億円の損害賠償を求めた訴訟で、広島市は6日までに、約2億円を支払うことで両親と合意した。近く広島地裁で和解する。

訴えによると、萌生ちゃんは2000年3月、肺に十分な血液が送れない病気で同病院に入院。右心室周辺の筋肉を切り取る手術を受けた。手術後、集中治療室(ICU)で同病院の元研修医(29)が血圧低下の表示を機器の不具合と思い込んで放置。心停止した萌生ちゃんの蘇生措置が遅れて脳に障害が残り、現在も寝たきりの状態が続いている。

同地裁は今年3月、業務上過失傷害罪で元研修医に罰金20万円の判決を言い渡した。ICUの責任者だった元麻酔科部長は同罪で罰金30万円の略式命令を受けたが、元院長ら6人は不起訴になった。

事故後、市と両親で示談交渉が進められたが、

両親は「責任の所在があいまいで誠意が感じられない」として02年2月に提訴していた。

### ■乳がん摘出後の治療が不適切で死亡したとして600万円で和解

富山赤十字病院(富山市)で1995年に乳がんの摘出手術を受けた妻が、術後に適切な治療を受けていれば再発して死亡することはなかったとして、会社員の夫(51、富山県婦中町)らが、病院を統括する日本赤十字社(東京)に損害賠償を求めた訴訟は6日、病院側が解決金600万円を支払うことで富山地裁(永野庄彦裁判長)で和解が成立した。

訴状によると、病院側は本来、抗がん剤治療をすべきなのにホルモン療法を行ったうえ、術後に治療内容を説明しなかった。さらに、がんの状態を正確に把握していなかったため再発し、転院先で97年に41歳で死亡した。

青木周一院長は「治療の説明など和解内容の改善事項についてさらに徹底し、地域医療の充実に努力する」とのコメントを出した。

### ■術後の心電図モニターを怠った為に死亡したとして7000万円の賠償命令

神戸大病院(神戸市)で頭部の手術後に死亡した中学2年の男子生徒(当時14、長崎県諫早市)の両親が「病院が術後管理を怠った」などとして、国に7800万円の損害賠償を求めた訴訟の判決で、神戸地裁は12日、病院側の過失を認め約7000万円の支払いを命じた。

判決理由で古川行男裁判長は、病院側が併用すると呼吸抑制を生じる危険性の高い2種類の薬剤を投与したのに、心電図モニターをつけていなかったなどと認定。「通常より重い監視義務があったのに、これを怠った。モニターを装着していれば助かった可能性が高い」と指摘した。

判決によると、生徒は1998年8月20日、神戸大病院で脳内のできものを取り除く手術を受け、22日に心電図モニターがはずされた。その後、生徒は頭痛を訴え、医師が鎮静剤と睡眠剤を投与したところ、23日未明に心停止となり、間もなく死亡した。

病院側は「容体が落ち着いてきたのでモニターをはずした。薬の併用による呼吸抑制は生じていなかった」などと医師の過失を否定していた。

## 薬事情報センターだより (196)

### 薬剤性光線過敏症

夏になり、日差しも一段と強くなっていますが、この日光を浴びることで発症する薬の副作用として薬剤性光線過敏症があります。光線過敏症は、健康な皮膚では何ら変化を起こさないような光線照射によって、発生ないし悪化する皮膚疾患の総称です。

この中で薬剤性光線過敏症はその発症機序から光毒性反応と光アレルギー反応に分類されます。光毒性反応は、薬剤などの外来物質やその代謝物が光を吸収して反応性に富む物質に変化して細胞を攻撃・傷害する反応です。物質そのものの生体に対する反応ですから、物質の量と光の量が一定量以上あれば誰にでも発現する反応です。この反応は潜伏期間が必要でなく、1回の使用でも起こる可能性があります。症状は一般的には、日焼け型の炎症です。一方、光アレルギー反応は、薬剤などの外来物質やその代謝物が光化学反応に伴い、抗原を形成し、抗原抗体反応を起こすアレルギー反応です。この反応は免疫反応を介するので一定の潜伏期間が必要となり、抗体を有する人にのみ起こります。また、化学構造の似た物質同士では交叉感作が起こる可能性があります。症状は一般的には、湿疹型皮疹です。このように光毒性反応は感作成立までの期間が必要ないため、発症までの期間で両者を鑑別しうる可能性があります。しかし、日常生活では、光毒性反応を生じるほど大量の日光照射を受ける機会は比較的少ないことや薬剤が皮膚組織に蓄積されて、初めて症状が出ることもあるので、発症までの期間で両者を鑑別することは困難な場合も多いと思われます。

一方、薬剤中止による症状の消退は光毒性反応では速やかに起こるのに対し、光アレルギー反応では通常数週間以上かかるので両者の鑑別の参考になると思われます。しかし、光毒性反応と光アレルギー反応とを併せ持つ物質も多く、両反応が関与している場合もありますので、両者を明確に区別できない場合も多いと思われます。

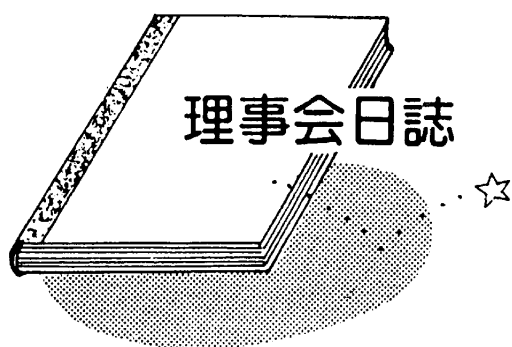
原因となる薬剤としては、エノキサシン、スパルフロキサシン等のニューキノロン系抗菌剤、ドキシサイクリン等のテトラサイクリン系抗生物質、ピロキシカム等のオキシカム系やケトプロフェン等のプロピオン酸系のNSAIDs(非ステロイド性消炎鎮痛剤)を初め様々な薬剤があります。また、薬剤の外にも、化粧品、食品添加物等に起因する光線過敏症の報告があります。

対策としては、原因薬剤が特定できれば、その薬剤を中止することが基本となります。また、発症の機序に光を浴びることが関与していますので、日光に当たらないようにすることも大切です。そのためには、外出時には、長袖の着用、日傘、手袋などの使用、サンスクリーンの使用などの予防策を講じることも大切だと思われます。

### 参考)

紫外線対策. 調剤と情報6(6),119-133.2000  
光毒性反応の症状発現時期. 第2版 この薬のこの副作用

医薬品情報 Q&A. 日本薬剤師会雑誌 55 (3),  
75. 2002



平成15年 6 月24日(火) 第 5 回全理事会

#### 医師会関係

##### (議決事項)

1. 6/28(土)(県医)本会定例総会・特別講演等について  
各種表彰受賞者記念品の代表受領者・代表謝辞等が決まった。
2. 7/18(金)(日医)第10回日医総研セミナーの開催について  
西村常任理事が出席することになった。
3. 宮崎県麻薬中毒審査会委員の推薦について  
夏田常任理事の推薦が決定した。
4. 8/27(水)・28(木)(日医)第47回社会保険指導者講習会の受講申込について  
稲倉常任理事, 浜田理事, 布井教授(宮医大)の3名の受講が決まった。
5. 第55回宮日総合美術展賞金申請のお願いについて  
例年同様に承認された。
6. 勤務医住宅ローン借入申し込みについて  
申請のあった1件が承認された。
7. 母体保護法指定医指定申請について  
承認された。
8. 9/18(木)(日医)第25回産業保健活動推進全国会議の開催について  
濱砂常任理事の出席が承認された。
9. 地域リハビリテーション支援体制整備推進事業における宮崎県リハビリテーション協

議会委員の推薦について

秦会長及び夏田常任理事の推薦が決まった。

10. 互助会預金について  
満期更新1件が承認された。
11. 勤務医部会の本会ホームページ使用について  
承認された。
12. 7月及び8月行事予定について
13. その他
  - ①7/8(火)(サミット)「サミット記念国際化シンポジウム」への出席について  
事務局対応が決まった。
  - ②職員夏期手当について  
規程に基づき地方公務員に準じ支給することになった。支給日6月30日。

##### (報告事項)

1. 週間報告について
2. 6/13(金)(県医)県有床診療所協議会役員会について
3. 「第三次レセプト調査」4月診療分の集計結果について
4. 名義貸しに係る保険医等の取扱いについて
5. 県内における非会員開設の医療機関調査について
6. 公衆衛生事業功労者(財)日本公衆衛生協会長表彰候補者の推薦について
7. 6/18(水)(日医)日医社会保険診療報酬検討委員会について
8. 6/23(月)(東京)支払基金本部理事会について
9. 6/11(水)(県医)医家芸術展世話人会について
10. 6/11(水)(日医)日医医療情報ネットワーク推進委員会について
11. 6/16(月)(県医)広報委員会について
12. 6/12(木)(県医)互助会定時評議員会について
13. 6/13(金)(宮崎観光ホテル)社会保険事務局

社会保険健康づくり事業推進協議会について

14. 6/14(土)(看護研修センター)県看護協会通常総会について
15. 6/15(日)(東京)日医医療安全推進者養成講習会について
16. 6/21(土)(県医)産業医研修会について
17. 6/16(月)(県医)勤務医部会理事会について
18. 6/18(水)(日医)日医年金委員会について
19. 6/20(金)(自治会館)県環境整備公社評議員会について
20. 6/20(金)(札幌)日本プライマリ・ケア学会臨時全理事会及び評議員会について
21. 6/21(土)・22(日)(札幌)日本プライマリ・ケア学会について
22. 6/23(月)(県医)公衆衛生エイズ等対策委員会について

32ページ参照

#### 医師連盟関係

##### (協議事項)

1. 6/29(日)(MRT micc)「牧野としおを励ます女性の集会」出席についてのお願い  
早稲田常任執行委員に一任することになった。
2. 7/5(土)(県医)宮崎県知事選挙三師連盟合同総決起集会の開催について  
開催することが承認され、次第及び役員の役割分担等が決まった。
3. 規制改革の動きに関する国会議員への働きかけについて  
日医から資料を入手して、本県選出国会議員へ働きかけることになった。

##### (報告事項)

1. 6/14(土)(自治会館)自民党県連選挙対策委員会について
2. 6/14(土)(魚よし)自民党県連第一選挙区支部総会について
3. 6/21(土)(自治会館)自民党県連総務会につ

いて

4. 6/21(土)(牧野事務所)選対拡大会議について

#### 医師国保組合関係

##### (協議事項)

1. 傷病手当金支給申請について  
申請のあった1件が承認された。

#### 平成15年 7 月 1 日(火) 第 5 回常任理事会

#### 医師会関係

##### (議決事項)

1. 8/2(土)(大分)九州医師会連合会第256回常任委員会の開催について  
提出議題があれば、秦会長へ提出いただくことになった。
2. 宮崎県精神保健福祉審議会委員の推薦依頼について  
秦会長の推薦が決まった。任期満了に伴うもの。
3. 延岡社会保険健康センター「ペアーレ延岡」で実施する一次予防を中心とした健康づくり事業の事業運営協議会委員としての健康スポーツ医の推薦について  
河野常任理事に一任することになった。
4. 平成15年度救急医療事業功労者の知事表彰候補者の推薦について  
候補者5名の推薦が決定した。
5. 次回診療報酬改定にあたっての要望事項について  
稲倉常任理事が整理して回答することになった。  
去る6月7日(土)福岡市において開催された「平成15年度九州医師会連合会医療保険対策協議会」における意見を基にした要望事項の取り纏めに対する修正等の照会に伴うもの。
6. 平成16年度医療に関する税制改正要望について  
本県選出国会議員へ働きかけることに決

定した。

7. 宮崎医科大学医学部 4 年生衛生・公衆衛生学実習に関するお願いについて

学生 6 名の学外実習。

教官については、まだ担当されていない理事にお願いすることになった。実習期間等は、県医師会館において、9 月 16 日(火)から 19 日(金)のなかで、都合のよい 1 日か 2 日間程度。

8. 宮崎医科大学奨学寄附金について

県耳鼻咽喉科医会へ照会し、対応することになった。

9. 8 / 6 (水)～10(日)(綾町)第25回宮崎県小児糖尿病生活指導講習会開催に伴う支援、協力のおお願いについて

支援することが承認された。

10. 各医師会への痴呆診療アンケート実施の依頼について

承認された。

昨年度は県医師会の協力のもと、県下医療施設へアンケートを実施し、宮崎県の痴呆診療の現状を把握することに役立った。今回は「宮崎県痴呆を考える会」を 10 月 18 日(土)延岡市において開催する予定であり、宮崎県北の痴呆診療の現状をさらに把握するため、関係郡市医師会の協力を得て痴呆診療アンケートを実施したいとの依頼。

11. 7 / 8 (火)(県医)平成16年度第104回九州医師会医学会第 1 回準備委員会について

次第が決定し、委員長・副委員長の委嘱について協議された。

12. その他

① 8 / 27 (水)(JA・アズムホール)平成15年度「青少年の主張」宮崎県大会について

行事等の都合により、今回は、欠席することになった。

② 県医師会館パッケージ冷却水経路薬品洗浄について

承認された。

地階大ホール及び 4 階研修室の冷房・暖房の故障に伴うもの。

③ ロケに伴う対応について

推理ドラマ(テレビ)のロケに伴う県医師会館での撮影等の申し込み。丁重にお断りすることになった。

④ 自動販売機について

自動販売機の増設依頼。見送ることに決定。

⑤ 日医医療関係者対策委員会の論点(案)について

意見等があれば、早稲田常任理事へ提出してもらうことになった。

⑥ 行事予定について

8 月の行事予定が決まった。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 平成15年 6 月末日現在宮崎県医師会会員数について

3. 6 / 28 (土)(県医)本会定例総会等について

4. 「水銀を含有する魚介類等の摂食に関する注意事項」について(Q&A)

5. 6 / 25 (水)(支払基金)支払基金幹事会について

6. 6 / 27 (金)(県医)県学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰審査について

7. 社保審査委員の委嘱について

8. 6 / 25 (水)(県医)労災診療指導委員会について

9. 6 / 27 (金)(県医)広報委員会について

10. 6 / 27 (金)(県医)県学校保健会理事・評議員会について

11. 6 / 27 (金)(福祉総合センター)県社会福祉協議会地域福祉権利擁護事業第 3 回契約締結審査会について

12. 6 / 28 (土)(県医)産業医研修会について

医師連盟関係

(協議事項)

1. 7 / 5 (土)(県医)宮崎県知事選挙三師連盟合

- 同総決起集会の開催に伴う対応について  
早稲田常任執行委員に一任することになった。
2. 7/2(木)(牧野としお後援会宮崎事務所)第2回選対拡大会議の案内について  
河野常任執行委員の出席が決まった。
3. 7/5(土)(JA 宮崎中央家畜市場)「牧野としお」を励ます会の案内について  
早稲田常任執行委員を通じ、宮崎市郡医師連盟にお願いすることになった。
4. 8/2(土)(大分)九州医連連絡会第1回常任執行委員会の開催について  
「来年実施される参議院議員選挙への日医連の対応について」を提案事項として、提出することに決定した。

### 平成15年 7 月 8 日(火) 第 6 回全理事会

#### 医師会関係

##### (議決事項)

1. 9/20(土)(福岡)九州医師会連合会平成15年度第1回各種協議会の提案事項について  
第1回各種協議会は医療保険・地域保健(含・SARS)・地域医療(含・新卒後臨床研修制度)それぞれの対策協議会が開催される。  
提案事項については、稲倉・夏田両常任理事、小玉理事が担当として、取りまとめを行うことになった。
2. 公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰候補者の推薦について  
候補者2名の推薦が決定した。
3. 平成16年度県予算に対する本会からの要望事項について  
各都市医師会等から提出された要望7事項について、県へ要望することに決まった。  
執行部からの要望事項については、7月15日(火)迄に提出してもらうことになった。
4. 宮崎医科大学医学部4年生衛生・公衆衛生学実習に関するお願いについて  
本会役員4名が担当教官として対応することに決定した。  
実習期間等は、9月16日(火)から19日(金)のなかで、都合のよい1日か2日間程度。
5. 平成15年度「老人の日・老人週間」主唱団体への参加依頼について  
承認された。  
高齢者保健福祉の一層の向上を図るとともに、高齢者の問題に対する県民の正しい理解と協力を得ることが目的。一昨年から9月15日を「老人の日」とし、同月21日までの1週間が「老人週間」と定められた。
6. 捜査依頼書について  
協力することに決定した。  
全国に指名手配されている被疑者が、C型肝炎でインターフェロン治療を受けていた。病院等に立ち寄った際にはご一報いただきたいとの依頼。
7. 11/22(土)～24(月)宮崎医科大学すずかけ祭医学展の名義後援許可のお願いについて  
名義後援が承認された。
8. 勤務医住宅ローン借入申込みについて  
申請のあった1件が承認された。
9. 7/28(月)(県医)宮崎県医師会情報ネットワーク調査訪問のお願いについて  
協力することに決定し、担当常任理事が対応することになった。
10. 9/21(日)(福岡)日医主催・平成15年度九州ブロック広報担当理事連絡協議会の開催並びに議題・出席者について  
富田常任理事、池井理事の出席が決まった。
11. 8/2(土)(福岡)全国介護支援専門員連絡協議会設立に関するブロック会議の案内について  
九州医師会連合会(佐賀県医師会)に照会し、対応を決めることになった。
12. 母体保護法指定医指定申請について

申請のあった 1 件が承認された。

### 13. その他

#### ①役職員懇談会開催(8月)について

8月12日(火)開催に決定した。

#### ②7/12(土)(ホテルプラザ宮崎別館)平成15年度各郡市医師会・医師国保組合各支部等職員事務研修会開催に伴う役員の出席について

秦会長が出席することになった。

#### ③8/27(水)・28(木)(日医)第47回社会保険指導者講習会の受講者追加申込について

本会からの受講者 1 名の追加が承認された。

### (報告事項)

1. 平成15年度の医療法第25条第 1 項の規定に基づく立入検査の実施について
2. 施設基準の届出状況等の報告及び有床診療所入院基本料等届出実地調査について
3. 7/2(水)(県警察本部)県犯罪被害者等支援連絡協議会総会について
4. 7/3(木)(日医)日医医療関係者対策委員会について
5. 医師会立准看護師養成所に対する助成金の支給について
6. 「救急の日」及び「救急医療週間」の実施について
7. 7/4(金)(県医)宮崎県医師会介護支援専門員(ケアマネジャー)連絡協議会第 3 回理事会について
8. 7/5(土)(県医)第 2 回勤務医部会理事会について
9. 7/5(土)(県医)勤務医部会総会・講演会について

### 医師連盟関係

#### (協議事項)

1. 7/10(木)宮崎県知事候補牧野としお必勝祈願祭並びに出陣式の案内について  
必勝祈願祭には、秦委員長、早稲田常任

執行委員の出席が決まった。

出陣式への出席は、市内役員と事務局職員へお願いすることになった。

2. 7/10(木)・17(木)・22(火)(牧野としお選挙事務所)選挙期間中の選対会議の案内について  
早稲田・河野・濱砂常任執行委員の 3 名により、手分けをして出席することになった。

### (報告事項)

1. 7/2(水)(牧野としお後援会宮崎事務所)第 2 回選対拡大会議について
2. 7/5(土)(県医)宮崎県知事選挙三師連盟合同総決起集会について

### 医師国保組合関係

#### (協議事項)

1. 傷病手当金支給申請について  
申請の 1 件が承認された。

### 平成15年 7 月15日(火) 常任理事会

### 医師会関係

#### (議決事項)

1. 9/16(火)(宮崎地方・家庭裁判所)家事関係機関との連絡協議会の開催について  
浜田理事に出席をお願いすることになった。  
「児童虐待の防止等に関する法律」の施行は、平成12年11月20日。施行後 3 年を目途として見直すことが規定されている。3 年目を控えた現在、見直しに向け連絡協議会が開催される。
2. 勤務医住宅ローン借入申込みについて  
申請のあった 1 件が承認された。
3. 宮崎県内准看護学校専任教員研究協議会会長より補助金交付について  
補助金の交付が承認された。
4. はにわネットポスターについて  
「はにわネットポスター」の作成と「全国マルチメディア祭2003in みやざき(11月 6 日(木)～

8 日(土)、コンベンションサミット等で開催)への展示が承認された。

5. 宮崎市多子世帯子育て支援医療費助成事業の開始について

この事業の推進について、協力することに決定し、「宮崎県医 FAX ニュース」により、会員へ周知することになった。

宮崎市では、平成15年10月1日より多子世帯(3人以上の児童を養育している世帯)子育て支援医療費助成事業を開始。対象幼児が県内の他の市町村の医療機関において受診する場合も適用される。

6. 10/18(土)(都城)『第10回都城緩和ケア研究会』へ後援のお願いについて

後援することが承認された。

7. 感染症対策研修会及び医療安全対策研修会の開催について

標記両研修会を合同にて、テレビ会議システムにより開催することになった。

なお、医療安全対策研修会は年度内に2回開催する必要がある、2回開催予定である。

(報告事項)

1. 次回診療報酬改定に関する要望事項の提出について

2. 7/9(木)(宮医大)宮崎医科大学医学概論講義について

3. 7/11(金)(東京)平成14年度地域診療情報連携推進事業成果発表会について

47ページ参照

4. 7/10(木)(宮崎家庭裁判所)成年後見制度運営協議会について

5. 7/12(土)・13(日)(佐賀)第35回九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会について

医師連盟関係

(協議事項)

1. 7/19(土)(宮崎観光ホテル)牧野としおを励ます女性の集いの案内について

10名の出席依頼。市内役員の対応決定。宮崎市郡医師連盟にもお願いすることになった。

2. 8/17(日)(宮崎観光ホテル)江藤隆美君の衆議院議員在職30年、議員生活45年を祝う会について

秦委員長が発起人に就任することが承認された。

(報告事項)

1. 7/10(木)(宮崎神宮)宮崎県知事候補牧野としお必勝祈願祭について

2. 7/10(木)(牧野としお選挙事務所)選対会議について

3. 7/12(土)(宮崎観光ホテル)厚生労働委員長中山成彬代議士を囲む三師連盟役員懇談会について

医師国保組合関係

(協議事項)

1. 7/29(火)(県医)第89回通常組合会議案について開催並びに議案が承認された。

議案は、平成14年度事業報告・決算、平成15年度補正予算等。

(報告事項)

1. 7/15(火)定例事務監査について

## 県 医 の 動 き

### (7月)

- 1 第5回常任理事会(会長他)
- 2 牧野としお後援会選対拡大会議  
(河野常任理事)  
県犯罪被害者等支援連絡協議会総会  
(早稲田常任理事)
- 3 日医医療関係者対策委員会(日医)  
(早稲田常任理事)  
県健康づくり協会懇談会(会長)
- 4 介護支援専門員連絡協議会役員会  
日産婦人会九州ブロック協議会準備委員会  
(西村常任理事他)
- 5 牧野としおを励ます会  
勤務医部会理事会(浜田理事他)  
勤務医部会総会・講演会(会長他)  
宮崎県知事選挙三師連盟合同総決起集会  
(会長他)
- 6 日本産婦人科医会性教育指導セミナー(東京)  
(西村常任理事)
- 7 県内科医会社保・国保審査委員合同協議会  
(志多副会長)  
県産婦人科医会情報システム委員会  
(西村常任理事他)
- 8 サミット記念国際化シンポジウム(事務局)  
第6回全理事会(会長他)  
九医学準備委員会(会長他)
- 9 宮医大医学概論講義(会長)  
園医部会理事会(大坪副会長他)  
県健康づくり協会幹事部(会長)
- 10 (県知事選挙告示)  
牧野としお必勝祈願祭(会長他)  
牧野としお出陣式  
牧野としお後援会選対会議(濱砂常任理事)  
成年後見制度運営協議会(早稲田常任理事他)
- 11 はにわネット厚労省発表会(東京)  
(富田常任理事)
- 12 九医協連総務部会(福岡)(西村常任理事)  
各郡市医師会・医師国保組合各支部等職員  
事務研修会(会長)  
中山成彬厚生労働委員長を囲む三師連盟役  
員懇談会(会長他)
- 12~13 九州地区医師会立共同利用施設連絡協  
議会(佐賀)(早稲田常任理事)
- 13 全医協連理事会(東京)(志多副会長)  
全医協連広報部会(東京)(西村常任理事)
- 14 プライマリ・ケア研究会打合せ会  
(早稲田常任理事)
- 15 医師国保組合定例事務監査(会長他)  
産業医研修会(更新)  
第6回常任理事会(会長他)
- 16 日医医療情報ネットワーク推進委員会(日医)  
(富田常任理事)
- 17 牧野としお後援会選対会議(河野常任理事)  
宮崎政経懇話会(稲倉常任理事)  
広報委員会(富田常任理事他)  
学校医部会理事・評議員会(会長他)  
県内科医会医療保険委員会(志多副会長)  
新医師臨床研修制度に関する話し合い  
(夏田常任理事)
- 18 日医総研セミナー(日医)(西村常任理事)  
宮崎大学創設準備委員会(会長)
- 19 牧野としおを励ます女性の集い  
(早稲田常任理事)
- 19~20 日本臨床細胞学会九州連合会(会長他)
- 19~21 全国医師協同組合休診共済会(青森)  
(志多副会長)
- 22 牧野としお後援会選対会議(早稲田常任理事)  
損保ジャパンとの懇談会(会長他)  
会員の倫理向上委員会(大坪副会長他)
- 23 支払基金幹事会(会長)
- 24 救急医療委員会(早稲田常任理事他)  
緊急県医連常任執行委員会(会長他)
- 25 県知事選挙陣中見舞い(会長)  
産業医研修会(実地)  
県社会福祉協議会地域福祉権利擁護事業契  
約締結審査会(早稲田常任理事)  
広報委員会(富田常任理事他)  
地方公務員災害補償基金県支部審査会  
(河野常任理事)
- 26 プライマリ・ケア研究会世話人会(会長他)  
プライマリ・ケア研究会総会(会長他)  
九医協連購買・保険部会(福岡)  
(志多副会長他)  
プライマリ・ケア研究会(会長他)  
九州ブロック医療情報システム推進協議会  
(福岡)(富田常任理事)  
(県知事選挙投票)
- 27 おぎゃー献金40周年・日母おぎゃー献金基  
金25周年記念式(東京)(西村常任理事)
- 28 支払基金本部理事会(東京)(会長)  
日医情報化ヒアリング調査(富田常任理事)  
産業医研修会(更新)(都城)  
県産婦人科医会常任理事会(西村常任理事他)  
県外科医会全理事会(大坪副会長)
- 29 県介護支援専門員連絡協議会理事会(会長他)  
医協運営委員会(会長他)  
医師国保組合通常組合会(会長他)  
第7回全理事会(会長他)
- 30 労災診療指導委員会(河野常任理事)  
県リハビリテーション協議会(会長)  
宮崎市郡医師会例会(会長)
- 31 全国アイバンク連絡協議会(東京)(事務局)  
県毒物劇物事故対策連絡協議会  
(早稲田常任理事)  
宮崎地方社会保険医療協議会(会長他)  
県内科医会理事会(志多副会長)

## ニューメンバー

さ とう しん ご  
佐 藤 新 五住 所：宮崎市太田3丁目  
8-14専門科目：一般外科  
消化器外科家族構成：妻，長男(小6)，次男(小4)  
長女(小1)，次女

略 歴

昭和52年 県立宮崎南高校卒業

昭和58年 宮崎医科大学卒業

同年 宮崎医大第1外科入局

趣 味：バイクツーリング，ゴルフ

抱 負：平成14年2月より都城市の小牧病院に勤務をしております。整形外科の病院ですが，今まで培ってきた一般外科，消化器外科の経験を生かしてなるべく多くの患者さんのお役に立てるようになりたいと思います。バイクは学生時代からの趣味ですが，2年ほど前よりインターネットを介して九州各地に友人ができ，阿蘇などを中心にツーリングにでかけています。ゴルフははじめてもう10年近くになりますが，いまだに初心者レベルです。

なか たに けい ご  
中 谷 圭 吾住 所：宮崎市まなび野  
1丁目12-4

専門科目：小児科

家族構成：妻，長女(11)  
次女(6)

略 歴

昭和57年 広島県立呉三津田高校卒業

平成元年 防衛医科大学校卒業

平成15年 宮崎医大小児科入局

小林市立市民病院

趣 味：硬式テニス，釣り

抱 負：大学卒業後14年間自衛隊で勤務し，札幌や青森など全国的な異動を繰り返してきました。そろそろ腰を落ち着けようと3月末で自衛隊を退職し，宮崎市に家族の住家を作りました。4月からは宮崎医大小児科に入局させて頂き，小林市立市民病院で勤務しております。宮崎県での勤務は初めてですが，医師会の諸先生方のご指導の下，少しでも小児医療に貢献できればと考えておりますので，宜しく願い申し上げます。

## 会 員 消 息

平成15年 7 月末現在 会員数 1,644名

(A 会員 808 名, B 会員 836 名)

(男 性 1,501名, 女 性 143名)

## 一☆ 入 会 ☆一

B	日高 利彦 (宮崎)	H15. 6 . 1	(医) 社団善仁会 市民の森病院	宮崎市大字塩路字江良の上2783-37 ☎0985-39-7630
B	山田 晴彦 (宮崎)	H15. 6 . 1	(医) 社団三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市池内町八幡田803 ☎0985-39-8484
A	岩下 睦郎 (都城)	H15. 6 . 1	岩下耳鼻咽喉科	北諸県郡三股町大字樺山字中原5036-89 ☎0986-51-1187
B A ²	久保 忠弘 (都城)	H15. 6 . 1	(医) 社団静雄会 藤元上町病院	都城市上町10-24 ☎0986-23-4000
B	金丸 勝弘 (延岡)	H15. 6 . 1	国民健康保険 北浦診療所	東臼杵郡北浦町大字古江2492-1 ☎0982-45-3331
B	峰松 俊夫 (南那珂)	H15. 6 . 1	愛泉会 日南病院	日南市大字風田3649-2 ☎0987-23-3131
B A ²	池尻 洋史 (宮崎)	H15. 7 . 1	宮崎市郡医師会病院	宮崎市新別府町船戸738-1 ☎0985-24-9119
A	坂本 康典 (宮崎)	H15. 7 . 1	(医) 典誠会 坂本整形外科	宮崎郡清武町大字今泉甲85-2 ☎0985-85-7720
B A ²	佐藤 さくら (宮崎)	H15. 7 . 1	(医) 社団 佐藤小児科	宮崎市清水 3 丁目1-10 ☎0985-22-4705
B A ²	野崎 正太郎 (宮崎)	H15. 7 . 1	宮崎市郡医師会病院	宮崎市新別府町船戸738-1 ☎0985-24-9119
B	中島 真也 (都城)	H15. 7 . 1	(医) 魁成会 宮永病院	都城市松元町15-10 ☎0986-22-2015
B A ²	川越 純志 (宮医大)	H15. 7 . 1	宮崎医科大学 第一内科	宮崎郡清武町大字木原5200 ☎0985-85-0872
B	宮崎 貴浩 (宮医大)	H15. 7 . 1	宮崎医科大学 放射線科	” ☎0985-85-2807
B	中尾 博 (西諸)	H15. 7 . 11	(医) 社団公佑会 丹医院	えびの市大字大河平4327-37 ☎0984-33-0107

## 一☆ 異 動 ☆一

B	大瀧 幸哉 (都城) (勤務先, 会員区分変更: B A ² →B)	H15. 6 . 1	(医) 社団牧会 小牧病院	都城市立野町5-5-1 ☎0986-24-1212
B A ²	折津 達 (都城) (勤務先, 会員区分変更: A→B A ² )	H15. 6 . 1	(医) 社団牧会 老人保健施設 はまゆう	北諸県郡三股町大字蓼池660 ☎0986-51-0001

B	生野 博久 (都城) (勤務先住所表示, 自宅住所変更)	H15. 6 . 1	(医)敬和会 戸嶋病院	都城市郡元1丁目9-5 ☎0986-22-1437
A	戸嶋 哲郎 (都城) (施設住所表示変更)	H15. 6 . 1	〃	〃
B ^{A2}	前田 治 (都城) (勤務先等変更)	H15. 6 . 1	(医)与州会 介護老人保 健施設 ウエルネス苑都城	都城市上東町27-16 ☎0986-21-1006
A	河野 義明 (宮崎) (施設住所表示, 自宅住所表示等変更)	H15. 6 . 12	(医)照葉会 まなび野クリニック	宮崎市まなび野2丁目39-1 ☎0985-50-1220
A	前田 修司 (宮崎) (自宅住所表示等変更)	H15. 6 . 25	(医)社団尚成会 あおば内科クリニック	宮崎市青葉町90 ☎0985-24-2419
B ^{A2}	永野 元章 (宮崎) (勤務先変更: B→B ^{A2} ・延岡→宮崎)	H15. 7 . 1	宮崎市郡医師会病院	宮崎市新別府町船戸738-1 ☎0985-24-9119
B ^{A2}	旭吉 雅秀 (宮崎) (勤務先変更: B→B ^{A2} ・都城→宮崎)	H15. 7 . 1	〃	〃
B	牧野 茂義 (宮崎) (会員区分の変更: B ^{A2} →B)	H15. 7 . 1	県立宮崎病院	宮崎市北高松町5-30 ☎0985-24-4181
A	酒井 和彦 (都城) (有床→無床へ変更)	H15. 7 . 1	(医)邦和会 酒井皮膚科医院	都城市北原町27街区7号 ☎0986-25-5322
B	國枝 良行 (延岡) (勤務先等変更・宮医大→延岡)	H15. 7 . 1	(医)健寿会 黒木病院	延岡市北小路14-1 ☎0982-21-6381

## 一☆ 退 会 ☆一

B	奥田 裕司 (南那珂)	H15. 5 . 31	(医)同仁会 谷口病院	日南市大字風田3861 ☎0987-23-1331
B ^{A2}	安藤 徹 (宮崎)	H15. 6 . 30	宮崎市郡医師会病院	宮崎市新別府町船戸738-1 ☎0985-24-9119
B ^{A2}	岡田 麻里 (宮崎)	H15. 6 . 30	(財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市村角町高尊2105 ☎0985-28-8555
B ^{A2}	藤原 まゆみ (宮崎)	H15. 6 . 30	宮崎市郡医師会病院	宮崎市新別府町船戸738-1 ☎0985-24-9119
B	島 雅保 (都城)	H15. 6 . 30	(社)八日会 藤元早鈴病院	都城市早鈴町17-1 ☎0986-25-1212
B	鳴海 誠 (都城)	H15. 6 . 30	(医)宏仁会 海老原記念病院	都城市立野町3633-1 ☎0986-22-2240

## 7月のベストセラー

- |    |                                           |                       |                    |
|----|-------------------------------------------|-----------------------|--------------------|
| 1  | バトル・ロワイアルⅡ レクイエム                          | 杉 江 松 恋               | 太 田 出 版            |
| 2  | バカの壁                                      | 養 老 孟 司               | 新 潮 社              |
| 3  | トリビアの泉～へえの本～1, 2                          | トリビア普及委員会             | 講 談 社              |
| 4  | 踊る大捜査線 THE MOVIE 2<br>レインボーブリッジを封鎖せよ!完全調書 |                       | 角 川 書 店            |
| 5  | 世界の中心で、愛をさけぶ                              | 片 山 恭 一               | 小 学 館              |
| 6  | ずーっといっしょ。                                 | 伊 集 院 本 静 剛           | 朝 日 新 聞 社          |
| 7  | 冬のソナタ 上・下                                 | キ ム ・ ウ ニ<br>ユン・ウンギョン | 日 本 放 送<br>出 版 協 会 |
| 8  | 頭がいい人の習慣術                                 | 小 泉 十 三               | 河 出 書 房 新 社        |
| 9  | 常識力@検定 .com                               | 日本常識力検定協会             | 講 談 社              |
| 10 | ひねくれた人に振り回されない88の方法                       | 岩 月 謙 司               | 大 和 書 房            |

宮脇書店本店調べ  
提供：宮崎店(宮崎市青葉町)  
☎ (0985) 23-7077

## ドクターバンク情報

(H15.8.1 現在)

求 人：98件(119人)， 求 職：6件 6人， 賃 貸：4件

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。現在、上記のとおり情報が寄せられております。

情報の閲覧ご希望の方は、県医師会事務局に直接お越しになり、ご覧になってください。なお、求人、求職の申し込みをご希望の方は、所定の用紙をお送りしますので、ご連絡下さい。

担当理事 和 田 徹 也  
事 務 局 小橋川 昇  
T E L 0985-22-5118

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成15年 7 月30日現在

8			月		
1	金	10：30（東京）全国アイバンク連絡協議会	18	月	19：00 広報委員会 19：00 介護保険委員会 19：00 県医連執行委員会
2	土	14：00（大分）九州医連連絡会常任執行委員会 15：00（大分）九医連常任委員会 15：00（福岡）九医協連総務部会 16：00（大分）九州学校検診協議会幹事会 16：30（和歌山）全国有床診療所連絡協議会総会 17：00（大分）九州各県医師会学校保健担当理事者会	19	火	14：30（日医）都道府県医師会長協議会 15：00 県准看護師試験委員会 18：00 医協運営委員会 19：00 産業医研修会（更新） 19：00 第8回常任理事会
			20	水	
			21	木	
3	日	9：00（和歌山）全国有床診療所連絡協議会総会 9：30（大分）九州学校検診協議会 11：00（東京）日産婦支部長会 12：00（大分）九医連学校医会評議員会 13：00（大分）九州ブロック学校保健・学校医大会 15：00（大分）九州地区健康教育研究大会における代表者会及び九州地区学校保健会理事会合同会議	22	金	15：00 県健康相談活動支援体制整備事業検討委員会 19：00 産業医認定小委員会 19：00 会館建設検討委員会
4	月	16：00 産業保健推進センター運営協議会	23	土	9：30 全日病夏期研修会親睦ゴルフ 14：00 日産婦学会宮崎地方部会学術集会 14：30（佐賀）全国国保組合協会九州支部会計監査 15：00（佐賀）全国国保組合協会九州支部総会 18：00 全日病夏期研修会懇親会
5	火	19：00 第7回常任理事会 19：00 県内科医会誌編集委員会 20：00 人事等管理委員会	24	日	9：00 救急医療施設医師研修会 10：00 全日病夏期研修会 14：00（福岡）九医協連理事会
6	水	13：00（日医）日医社会保険診療報酬検討委員会	25	月	13：30（東京）支払基金本部理事会 19：00 県産婦人科医会全理事会
7	木	18：30 医師年金普及推進懇談会	26	火	14：00 宮崎大学創設準備委員会 15：00 日本体育・学校健康センター県支部業務運営委員会 18：00 第9回全理事会 19：00 各郡市医師会長協議会
8	金	18：00 県外科医会夏期講演会	27	水	10：00（日医）日医社保指導者講習会 15：00 労災診療指導委員会 15：00 支払基金幹事会 16：00 県社会福祉協議会地域福祉権利擁護事業契約締結審査会 16：30 互助会会計監査 19：00 広報委員会
9	土	13：25 宮崎救急医学会 14：30 産業医研修会（更新）	28	木	10：00（日医）日医社保指導者講習会
10	日		29	金	9：30 はにわネット九州各県医務主管課長視察 14：00 公務災害補償等審査会 19：00 病院部会・医療法人部会役員と県医師会常任理事との懇談会
11	月	10：00 学校保健県教育長表彰式 12：00 宮崎政経懇話会	30	土	14：30 産業医研修会（前期） 15：00（熊本）九医国保連監査会 15：30 九医国保連理事会 16：00（熊本）九医国保連全体協議会 16：30（福岡）日産婦九州ブロック支部長会
12	火	18：00 会員の倫理向上小委員会 18：30 第8回全理事会 19：00 産業医研修会 19：00 役職員懇談会			
13	木	9：30 県アイバンク協会ヒアリング調査			
14	木	（夏期休暇）			
15	金	（夏期休暇）			
16	土				
17	日	12：00 江藤隆美議員在職30年、議員生活45年を祝う会			
※都合により、変更になることがあります。			31	日	（日医）日医医療安全推進者養成講習会

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成15年 7 月30日現在

9			月		
1	月		16	火	18：00（静岡）ガン征圧全国大会 19：00 第10回常任理事会
2	火	14：00 産業医研修会（更新） 19：00 第9回常任理事会	17	水	8：00（静岡）ガン征圧全国大会 15：30（日医）日医医療情報ネットワーク推進委員会
3	水	14：00（日医）都道府県医師会卒後臨床研修に関する担当理事連絡協議会	18	木	13：00 宮医大医学部4年生公衆衛生学実習
4	木		19	金	
5	金	14：00（日医）日医年金委員会 19：00 医療保険委員会	20	土	14：00（福岡）九医連常任委員会 14：00（福岡）九医連各種協議会 16：00（福岡）日医執行部とのブロック別意見交換会
6	土	14：30 県医医学会 14：30 産業医研修会（実地）	21	日	12：00（福岡）九州ブロック広報担当理事連絡協議会 14：00 県訪問看護ステーション連絡協議会総会
7	日				
8	月				
9	火	19：00 第10回全理事会	22	月	
10	水	19：00 介護支援専門員連絡協議会総会・講演会	23	火	（秋分の日）
11	木	19：00 産業医研修会（実地）	24	水	15：00 労災診療指導委員会 15：00 支払基金幹事会
12	金	12：30 日医医療関係者対策委員会 19：00 広報委員会 19：00 医療安全対策・院内感染症対策合同研修会	25	木	
			26	金	16：00 県社会福祉協議会地域福祉権利擁護事業契約締結審査会 19：00 広報委員会
13	土	13：30 介護支援専門員実務研修受講試験対策研修会 17：30（横浜）日本臨床内科医学会	27	土	宮崎医療連携研究会 16：00（下関）九医連総会
			28	日	
14	日	8：30 親善ゴルフ大会 9：30（横浜）日本臨床内科医学会	29	月	13：30（東京）支払基金本部理事会 19：00 県産婦人科医会常任理事会
15	月	（敬老の日） 9：30（横浜）日本臨床内科医学会	30	火	18：00 医協運営委員会 19：00 第11回全理事会

※都合により、変更になることがあります。

## 医 学 会 ・ 講 演 会

### 日本医師会生涯教育講座認定学会

注：数字は日本医師会生涯教育制度認定単位。当日，参加証を交付。

がん検診＝各種がん検診登録・指定による研修会      太字＝医師会主催・共催  
アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名 称	日 時	場 所 会 費	演 題	そ の 他
宮崎市郡産婦人科 医会学術講演会 (3単位)	8月7日(木) 18:30 ～21:00	宮崎観光ホ テル	胎児心臓の簡単なスクリーニング法 神奈川県立こども医療センター 周産期医療部新生児未熟児科 医長                      川滝 元良	◇共催 宮崎市郡産婦人科医会 宮崎県産婦人科医会 日本産科婦人科学会 地方部会 持田製薬(株)
三股木曜会学術講 演会 (3単位)	8月7日(木) 19:00 ～20:00	ホテル中山 荘 500円	GERD の診断と治療 宮崎医科大学第2内科 宮田 義史	◇主催 三股木曜会 ◇共催 エーザイ(株)
宮崎県外科医会夏 期講習会 (3単位)	8月8日(金) 18:00 ～	県医師会館	会員発表 15題	◇主催 宮崎県外科医会
第4回宮崎小児神 経セミナー (3単位)	8月8日(金) 18:30 ～20:30	宮崎観光ホ テル 1,000円	ハイリスク新生児の神経学的予後 兵庫県立こども病院長 中村 肇	◇主催 宮崎小児神経セミ ナー ◇共催 大日本製薬(株)
呼吸・循環管理セ ミナー in 宮崎	8月8日(金) 18:45 ～	宮崎観光ホ テル	急性肺障害に対する人工呼吸管理 九州大学医学部附属病院救急・ 集中治療部長      財津 昭憲 急性肺障害の新しい治療戦略 熊本大学大学院医学薬学研究部 病態情報解析学分野助教授 岡嶋 研二	◇主催 小野薬品工業(株) ◇後援 宮崎県医師会
第22回宮崎救急医 学会 (3単位)	8月9日(土) 13:25 ～18:15	西諸医師会	敗血症時の病態と治療戦略ー肺及び肺 障害における薬物療法の新たな知見ー 鹿児島大学医学部附属病院集中 治療部                      垣花 泰之	◇主催 宮崎救急医学会
第21回宮崎県腹部 超音波懇話会 (3単位)	8月23日(土) 15:00 ～17:00	県立宮崎病 院 1,000円	最新の造影超音波(仮) 東京医科大学内科教授 森安 史典	◇主催 宮崎県腹部超音波懇 話会 ◇共催 東芝メディカル(株)
西諸医師会・西諸 内科医会合同学術 講演会 (5単位)	8月26日(火) 18:30 ～21:00	ガーデンベ ルズ小林	外来でよく診る小児の感染症 済生会日向病院              四元 茂	◇主催 西諸医師会 西諸内科医会 ◇共催 アボットジャパン(株)

名 称	日 時	場 会 所 費	演 題	そ の 他
都城市北諸県郡医師会小児科医会・内科医会学術講演会 (3 単位)	8 月 27 日 (水) 18 : 30 ～	都城ロイヤルホテル	外来で夜尿症の子どもとどう付き合うか？ 久留米大学医療センター小児科教授 伊藤 雄平	◇共催 都城市北諸県郡医師会小児科医会 都城市北諸県郡医師会内科医会
第 2 回宮崎 BCM 研究会 (3 単位)	8 月 29 日 (金) 18 : 30 ～21 : 00	宮崎観光ホテル 500 円	難治性固型腫瘍に対する治療法の開発 九州大学大学院腫瘍制御学教授 片野 光男	◇共催 宮崎 BCM 研究会 日本ワイスレダリー(株)
宮崎県呼吸ケア研究会 (3 単位)	8 月 30 日 (土) 15 : 00 ～18 : 30	JA-AZM ホール	睡眠呼吸障害の心理的特徴と治療 (財)神経研究所附属代々木睡眠クリニック院長 井上 雄一	◇主催 宮崎県呼吸ケア研究会 ◇共催 帝人在宅医療九州(株) ◇後援 宮崎県医師会 他
高脂血症診療の進歩—新ガイドラインの位置付け— (5 単位)	9 月 5 日 (金) 19 : 00 ～21 : 00	宮崎観光ホテル	基調講演 テーマ：日本人の EBM についての講演 大阪大学大学院分子制御内科学教授 松澤 佑次 京都大学大学院循環器病態学教授 北 徹 ディスカッション 動脈硬化性疾患ガイドラインについて 国際医療福祉大学大学院教授 佐々木 淳	◇共催 宮崎県医師会 宮崎県内科医会 三共(株)
宮崎県医学会 (5 単位)	9 月 6 日 (土) 14 : 30 ～17 : 30	県医師会館	ORCA 導入について 宮崎県医師会常任理事 富田 雄二 特別講演 テーマ：糖尿病をとりまく諸問題 糖尿病診断のすすめ方(仮) 宮崎医科大学第 3 内科助手 水田 雅也 経口血糖降下剤とインシュリンの適応(仮) (医)弘寿会長嶺内科クリニック院長 長嶺 元久 糖尿病の食事療法と運動療法(仮) (医)社団善仁会宮崎善仁会病院長 中津留 邦展	◇主催 宮崎県医師会
宮崎難治性疼痛研究会 (3 単位)	9 月 6 日 (土) 16 : 00 ～19 : 00	宮崎観光ホテル 1,000 円	帯状疱疹による痛み 福岡大学麻酔科学教授 比嘉 和夫	◇共催 宮崎難治性疼痛研究会 日本臓器製薬(株)

名 称	日 時	場 会 所 費	演 題	そ の 他
第29回宮崎県スポーツ医学研究会 (3単位)	9月13日(土) 15:00 ～18:20	県医師会館 1,000円	スポーツの社会的価値としての医療的役割 エミネクロスメディカル センター長 辻 秀一 反復性膝蓋骨脱臼の病態と治療 順天堂大学スポーツ健康科学部 教授 桜庭 景植 スポーツ現場の実戦脳スポーツ医学 国立西別府病院長 森 照明	◇共催 宮崎県スポーツ医学 研究会 ファイザー製薬(株)
前立腺がんのすべてを学ぶ市民公開講座	9月15日(月) 14:00 ～16:00	市民プラザ	前立腺がんのすべてについて 県立宮崎病院泌尿器科医長 木宮 公一 PSA 採血検査でわかること 宮崎医科大学泌尿器科助教授 蓮井 良浩 パネルディスカッション	◇共催 宮崎県泌尿器科医会 武田薬品工業(株) ◇後援 宮崎県医師会 他
第25回宮崎臨床整形外科セミナー (3単位)	9月27日(土) 17:00 ～	宮崎観光ホテル 1,000円	透析患者の整形外科疾患 (社)鹿児島共済会南風病院整形 外科部長 川内 義久	◇共催 宮崎県臨床整形外科 医会 大日本製薬(株) ◇後援 宮崎県医師会
第1回宮崎サイトカイン制御療法研究会 (5単位)	10月4日(土) 18:00 ～21:00	ホテルプラザ	エビデンスに基づく関節リウマチの薬物治療 京都大学大学院医学研究科内科学講座、免疫学教授・京都大学 医学部付属病院免疫、膠原病内 科診療科長併任 三森 経世 関節リウマチの新しい治療法とオーダーメイド医療 東京女子医科大学膠原病リウマチ科痛風センター教授・大学院 先端生命医科学系専攻遺伝子医学分野教授 鎌谷 直之	◇共催 宮崎サイトカイン制 御療法研究会 宮崎県医師会 日本ワイズレダリー(株)
県民健康セミナー (5単位)	10月11日(土) 13:30 ～	県医師会館	明るく活性化した少子高齢社会への カギーニコニコペースの運動ー 福岡大学スポーツ科学部教授 進藤 宗洋 未定 福岡県赤十字血液センター所長 柏木 征三郎	◇主催 宮崎県医師会 宮崎県 宮崎日日新聞社 ◇後援 日本医師会 他

名 称	日 時	場 所 会 費	演 題	そ の 他
アムロジン発売10周年記念講演会・臨床医のための循環器疾患研究会 (5 単位)	10月17日(金) 18:30 ～21:30	宮崎観光ホテル	血管内皮保護作用から見たアムロジピンの臨床的意義 佐賀医科大学循環器内科学教授 野出 孝一 急性冠症候群の病態と治療ー JBCMI を含めてー 熊本大学大学院循環器内科学教授 小川 久雄	◇共催 宮崎県医師会 宮崎県内科医会 臨床医のための循環器疾患研究会 住友製薬(株)
第10回都城緩和ケア研究会・講演会 (3 単位)	10月18日(土) 13:00 ～15:30	三股町立文化会館 会員・学生 500円 一 般 1,000円	症状マネジメントのエッセンスー疼痛と呼吸困難ー 国立がんセンター東病院緩和ケア病棟医長 志真 泰夫	◇主催 都城緩和ケア研究会 ◇後援 宮崎県医師会 他
第7回九州リウマチ医の会 (3 単位)	10月18日(土) 15:00 ～18:00	宮日会館	RA の薬物療法ー既存の DMARD と新しく登場する抗リウマチ剤との使用の実際ー 長崎大学医学部内科学第1講座教授 江口 勝美 皮膚病変から見たリウマチ性疾患の診断 奈良県立医科大学皮膚科助教授 宮川 幸子 関節リウマチのスプリント・装具療法 神奈川県立保健福祉大学教授・リハビリテーション学科長 岡本 連三	◇共催 九州リウマチ医の会 (財)日本リウマチ財団 参天製薬(株)

## 診療メモ

性器クラミジア感染症  
— 疫学・診断・治療の留意点 —

## 1. はじめに

近年、性器クラミジア感染者が日本で爆発的に増加し、国内の感染者数が有症状(15%)と無症状(85%)を合せて100万人に達すると推計されている。性器クラミジア感染の症状はほとんどないかまたは軽度である場合が多いため、性活動が活発である若年者は容易に感染し急速に蔓延してきている。感染した多くの学生たちは無症候性感染であるために治療の機会を持てないので、スクリーニングが推奨されてきた。90年代半ばころより尿検体を使用してポリメラーゼ連鎖反応(PCR)のDNA増幅検査が利用され、高感度および特異的にクラミジア感染症の診断が可能となった。私はこのスクリーニングの推進者である。

## 2. 感染率の国際比較

私たちが行った宮崎県内の約千人の学生が参加した調査の結果では、女子学生が約9%、男子学生が約7%であった。英国のナショナル・サーベイでは、年齢別で有病率が最も高い年齢層は、女性では16~24歳で有病率は3.0%、男性では25~34歳で有病率は3.1%であった。タイの職業カレッジの男子学生では有病率は4.0%であった。ベルギーからの報告では、18歳の女子学生は1.5%、19~23歳では2.2%であった。対象がどのような集団に設定されたかによって感染率は幅広い範囲を持つが、国際的に比較すると、日本の感染率は他の国々より高く、クラミジア感染が爆発的に拡大していることは間違いない。

## 3. 症状の留意点

- 1) 下腹部痛が多い：感染者が産婦人科または泌尿器科を受診する場合、何らかの症状や尿生殖器に所見があるので診断は比較的容易である。しかしながら、その他の診療科を受診した場合はむずかしい。若い女性が内科外来を受診した場合、訴えが多い症状は下腹部痛である。下痢や便秘、あるいは筋性防御もなく単に鈍痛を訴える。非特異的な症状であるために見落としがちであるが、性感染症の代表であるクラミジアを頭の隅に置いておくべきである。
- 2) 関節痛：問診で活発な性行動が示唆され、関節痛(膝関節や足関節)を訴える場合、クラミジア感染を鑑別診断のひとつに入れても良い。古典的なライター症候群は関節炎、非淋菌性尿道炎、結膜炎の三大主徴を伴った症候群を指すが、必ずしもこの三徴が揃うことは多くない。性的交渉後に発症するライター症候群は欧米や日本に比較的に多い。昨年の日本性感染症学会で福岡大学の永山教授はヒト滑膜細胞の組織培養を用いて実験を行い、クラミジアはヒト骨膜組織に感染しIL-6を産生させ、このことが反応性関節炎の病原性に関与していることを学会長講演として報告した。クラミジア感染は全身疾患になり得ることに留意すべきである。
- 3) 咽頭と中耳への感染：未だに議論はあるが、咽頭炎や滲出性中耳炎を起こすことがすでに知られている。日本でも、オーラル

セックスの一般化により咽頭のクラミジア感染がかなり報告されている。私たちが宮崎県内の学生1万人を対象にして無症候性クラミジア感染を調査したとき、協力が得られた学生に対して性器だけでなく咽頭の検査も実施した。やはり、かなりの割合の学生が感染していた。すなわち、臨床症状がない若年者でも性器と咽頭の両方においてクラミジアが陽性となったわけである。

#### 4. 検査方法

PCR法の感度と特異度：クラミジアには細胞内寄生体という性質があるために、通常の寒天培地による培養はできない。現在、臨床現場で実施されているのは感度と特異度が落ちるEIA法のクラミジアトラコマチス核酸同定精密検査で「医科点数表の解釈」によると260点になっている。EIA法と比較して感度も特異度(どちらも90%以上)も優れているPCR法はクラミジアトラコマチス核酸増幅精密検査で280点になっている。点数が高いPCR法で検査した場合、保険で認められないかもしれない。この点が問題点である。私たちの1万人大規模調査では尿検体を用いてこのPCR法によって診断した。

#### 5. 治療

##### 抗生剤の投与方法

1) 女性患者：女性患者への投与については、宮医大産婦人科の山口昌俊先生によると「テトラサイクリン系、マクロライド系、ニューキノロン系の薬剤のみが有効である。ただし、ニューキノロン系の薬剤でもレボフロキサシン、トスフロキサシンは極めて良好な感受性を示すが、エノキサシンやノルフロキサシンは感受性がないと言われるので注意が必要である。(1)テトラサイクリンの場合、ミノマイシンTMなら100mg×2回/day, (2)ニューキノロンの場合、クラビットTMなら100mg×3回/

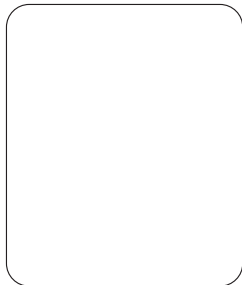
day, (3)マクロライド系の場合、クラリスTMなら200mg×2回/dayで何れも14日間経口投与が一般的である(骨盤腹膜炎で症状が強い場合にはミノマイシンTMの点滴静注を5日間ほど行う必要がある)。患者さんが妊婦であった場合には、テトラサイクリン系の薬剤が絶対禁忌であるし、ニューキノロン系の薬剤の安全性が明確でないので、クラリスロマイシン(クラリスTM)のみが適応であることが重要なポイントである」とのことである。

2) 男性患者：男性患者への投与は、宮医大泌尿器科の瀧砂良一先生によると「治療対象となるのは、尿道炎と精巣上体炎である。男性尿道炎の治療では、初回受診時にクラミジア感染は確認できないため、淋菌の有無を膿または尿沈査を染色する。淋菌の存在が確認されれば、まず淋菌性尿道炎の治療を優先させ、クラミジアの有無をPCR法などにより確認後、治療を行うことが多い。しかし、性感染症患者は症状が消失すると来院しない、投薬を自己中止するなど患者としての意識が低い場合も多く、淋菌の治療と同時にクラミジアの治療も併用することもある。淋菌が確認されない場合には、非淋菌性尿道炎として治療を行う。クラミジアを含めた非淋菌性尿道炎の起炎菌の多くは、ニューキノロン系薬、マクロライド系薬またはテトラサイクリン系抗菌薬に感受性を有するため、これらを1週間投薬する。精巣上体炎のうち、発熱、発赤、疼痛を伴うような急性期には、安静としミノサイクリンの点滴静注を行い、さらにニューキノロン系薬、テトラサイクリン系薬を内服させる。軽症例では内服薬だけでよい」とのことである。

(宮崎医科大学 公衆衛生学講座

今井 博久)

## 私 の 本



宮崎市 竹尾耳鼻咽喉科医院

たけ お やす お  
竹 尾 康 男竹尾康男写真集  
〔視点・心点〕

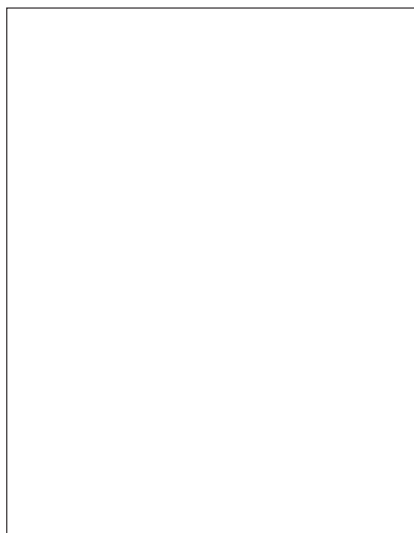
発行 鈺 脈 社

定価 3,000円

私は日本の高度成長期，それもベビーブームの最中に開業したので楽々と舟出する事が出来ました。殺人的とも言える多忙な毎日の生活に新風を入れて，毎日をより楽しく，しかも老後まで続けられる趣味はないものかと模索しておりました。たまたま訪ねた県美術展で，ある開業医が情感溢れる写真で特選の栄誉を勝ち取っておられるのを見て，同じ開業医生活の中にあっても心掛け次第では胸を打つ作品がつかれる事を知りました。

遊び心とも言える軽い気持ちで始めた写真ですが，趣味ならば力一杯楽しもうと日曜ごとに撮影に打ち込むうちに，いつの間にか，写真の持つ記録性と，光と影による美的表現に目覚めて，物事を広く深く観察する事を楽しむようになりました。見慣れた事象にも深く意味付けをしたくなる感動を覚える様になってからは益々写真の虜になって「視点と心点」を生涯のテーマにする事になりました。

この写真集は76点の作品を収載してあります。足下に転がっている変哲もない物でも存在価値を主張していると感じられれば記録するし，高等技術がなくても一瞬を仕止めることが出来る写真力に快哉を叫びながら撮影した作品ばかりです。幸いにも宮日出版文化賞を受賞する事が出来ましたが，これは私の写真する姿勢が認められたことと，写真芸術が文学や他の芸術に肩を並べたことを証明するものであると考えます。“この位の術ならばオレにも出来る”と感じて写真を試みる人が1人でも多くなってくれば幸いです。



**おしえて！ドクター 健康耳寄り相談室**

MRT ラジオ

毎週土曜日 午前11時20分～11時30分 放送

**頸(くび)の痛み**

(平成15年 6 月14日放送)

整形外科医会 平 川 俊 一

頸椎は脳を収容する頭蓋の支柱であり、また視覚、聴覚といった情報収集のために、相反する2つの役割である支持性と可動性を求められている。さらに脊髄の通路、また上肢への神経根の分岐部と解剖学的に重要な役割をも負っている。

頸の痛みの愁訴は、腰痛、膝痛に次ぐ頻度であると推定される。有症状者が増えている原因として、活動性の高い高齢者の増加、ゲーム等の不良姿勢やパソコンなどの一定の姿勢を長時間強制されるなどの生活様式の変化が挙げられる。

後頭部、肩甲部、上肢部の症状を種々合併するが、神経学的所見と単純レ線、MRI 等から正確な診断を下すことが可能である。

治療に関しては、一般的には薬物、理学療法などの保存的治療が主体であるが、痙性四肢麻痺の場合に前方除圧固定術、頸部脊柱管拡大術など適応を選べば現在では安全な術式が完成されたと言える。

**不妊治療と相談窓口について**

(平成15年 6 月21日放送)

産婦人科医会 戸 枝 通 保

妊娠を望むカップルが、2年以上妊娠しない場合を不妊症と呼ぶが、頻度は約10数%といわれ、女性因子として、排卵障害や子宮・卵管の異常等、男性因子として、乏精子症や精子無力症等がある。女性の検査として内診等による一般的検査の他に、ホルモン測定・超音波等による排卵チェック、子宮卵管造影、腹腔鏡など、また男性は先ず精液検査を行う。

一般にタイミングを合わせて性交をもたせる治療からスタートするが、検査で何らかの異常が認められた場合はそれに応じた治療が行われる。さらに人工授精や、重症例では体外受精・顕微授精も行われることがある。妊娠率は人工授精程度までで約50%程度、体外受精等の治療を行えば更に高い妊娠率が期待できる。

治療の進歩に伴い、医学的な問題以外に、精神的・経済的なサポートも必要となってきた。宮崎県では7月より県内の3保健所(延岡、都城、宮崎中央)内に不妊専門相談センターを設置、医師・助産師・カウンセラーによる相談窓口を開設した。

## 中高年女性の尿もれ

(平成15年 6 月28日放送)

泌尿器科医会 野 瀬 清 孝

中高年の女性で尿失禁で悩んでいる人は2～3人に1人と言われている。

中高年女性でみられる代表的な尿失禁は腹圧性尿失禁と切迫性尿失禁である。腹圧性尿失禁は咳、くしゃみ、重いものをもったときなどおなかに力が入ったときに失禁するものをいい、切迫性尿失禁は強い尿意が急におきてトイレに間に合わず失禁してしまうものをいう。治療法は大きく分けて運動療法、薬物療法、手術療法がある。運動療法は尿道周囲の筋肉を鍛えて尿失禁を防ぐ方法で、軽い腹圧性尿失禁に有効である。

手術療法ではTVT (Tension-free Vaginal Tape)が侵襲が少なく、ほとんどの腹圧性尿失禁に対して適応がある。一般向けのインターネットのホームページではユニ・チャーム「尿もれケアナビ」のページ

<http://www.nyoucare.jp/index.html>を推薦したい。尿失禁の治癒率は高く一人で悩まず思い切って専門医を受診することを勧めた。

## うつ病とうつ状態について

(平成15年 7 月 5 日放送)

精神科医会 岩 本 直 安

うつ病あるいはうつ状態の方が増加している。最近では、働き盛りの中高年男性の自殺が急増しており、うつ病が隠れていることが多くある。症状が悪化する前に適切な治療や休養をとることが重要で、職場でのうつ病に関する啓発も自殺予防対策として効果的である。うつ病は「こころのかぜ」ともたとえられるように誰でもかかる可能性があり、特別な病気ではなく他の病気と同様に早期発見と適切な治療やケアが必要である。

うつ病の場合は、心身両面に症状が現れることが多い。食欲不振、全身倦怠感、胃部不快感、動悸、吐気や嘔吐など身体的な症状の他に気分不良、意欲減退、睡眠障害などがある。日頃から自身の心身の変化に注意し、積極的にうつ病やうつ状態を疑うことも必要である。最近では、有効な治療法も確立されており、一人で悩まずに誰かに相談したり、県内の医療機関、心療内科、精神科など専門機関や精神保健福祉センター、保健所等の精神保健福祉相談を気軽に利用してほしい。

### 今後の放送予定

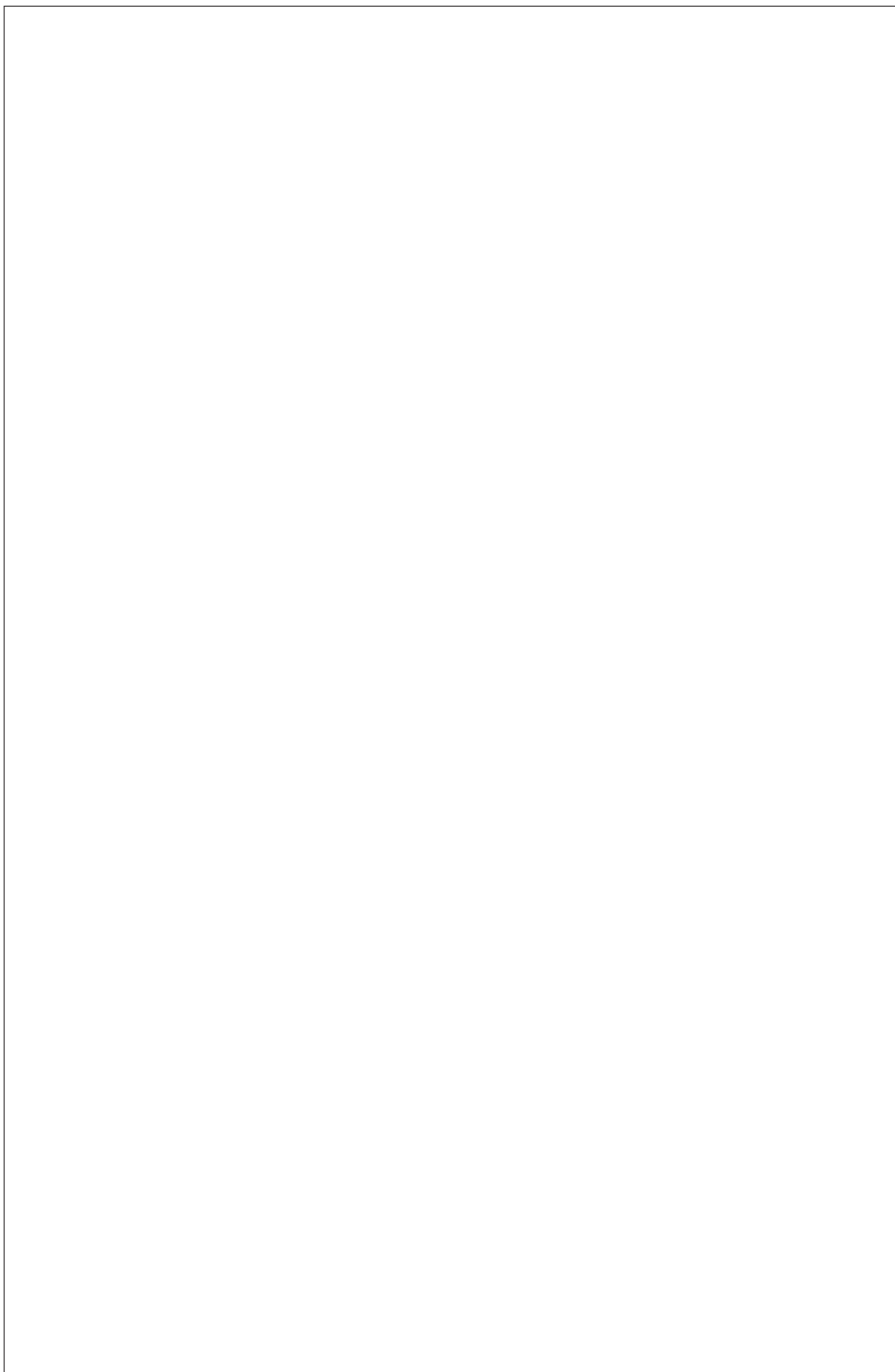
平成15年 8 月 2 日	甲状腺の病気	長 倉 穂 積
8 月 9 日	手のしびれと痛み	戸 田 勝
8 月16日	性感染症と宮崎県の死産率	西 村 篤 乃
8 月23日	寝耳に水	宮 永 敏
8 月30日	質問コーナー	
9 月 6 日	胃の病気とピロリ菌	原 口 靖 昭
9 月13日	胃癌・大腸癌に対する腹腔鏡を用いた低侵襲手術	岩 村 威 志
9 月20日	子供の事故防止について	先 成 英 一

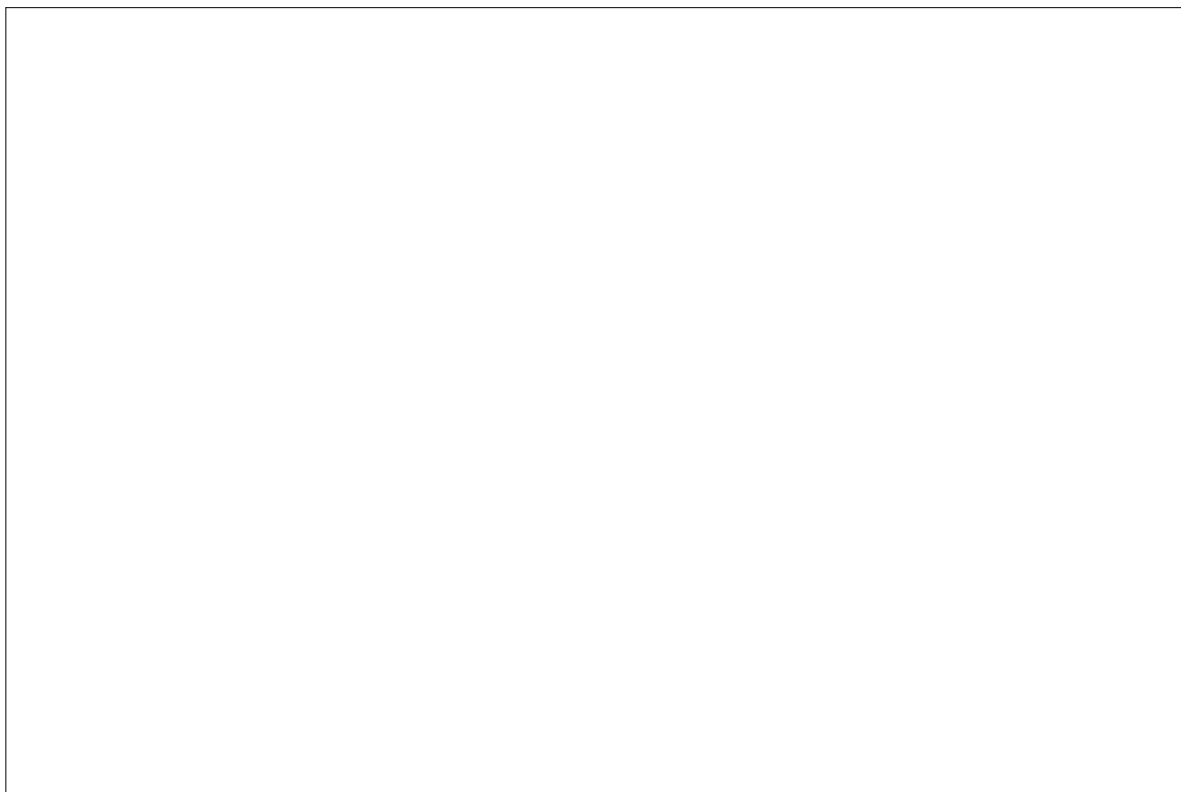
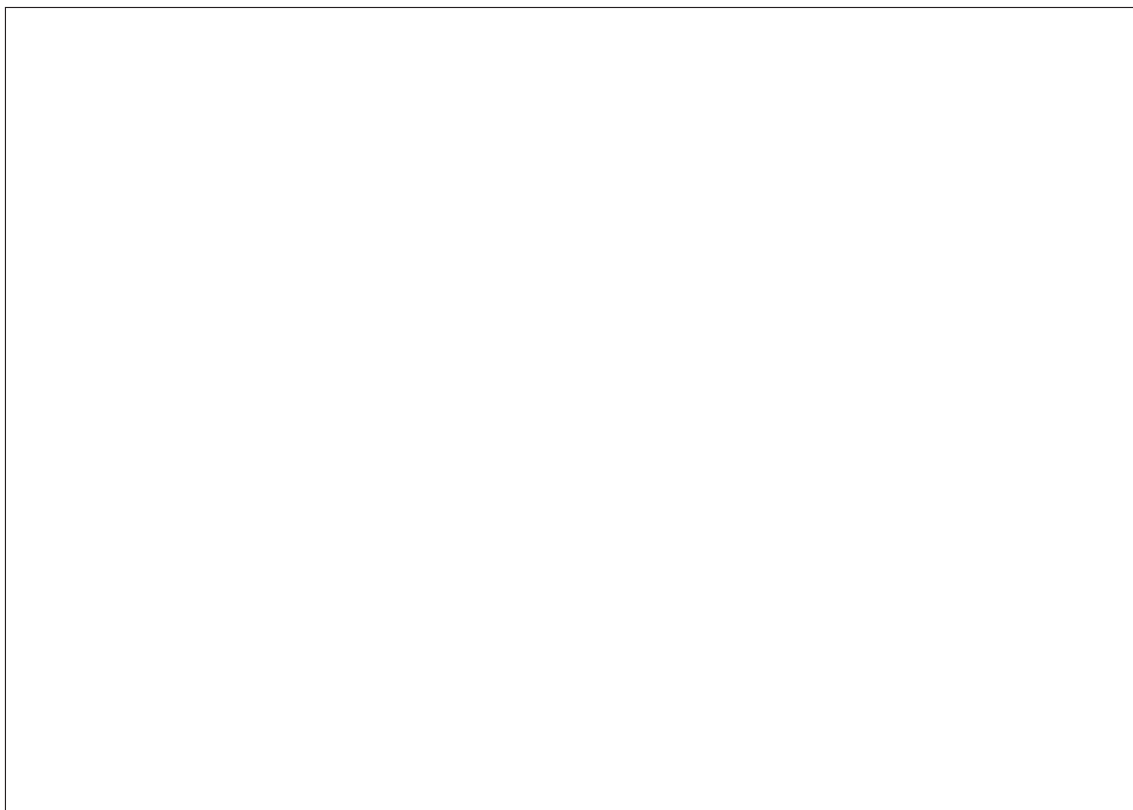
## お知らせ

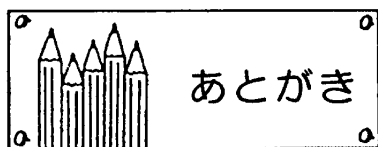
県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内いたします。  
詳細につきましては、所属郡市医師会へお問い合わせください。

送付日	文 書 名	備 考
6 月13日	・平成15年度院内感染対策講習会について(通知)	
6 月14日	・平成15年度地域診療情報連携推進事業に係る事業計画の提出について (照会)	
6 月16日	・組合員証等の再交付について(無効通知)(農林水産省共済組合九州支部) ・感染症・食中毒情報(No.1384)	
6 月17日	・「重症急性呼吸器症候群」に関する渡航情報について(SARS 対策第21報) 等の情報提供について ・米国における人でのサル痘(Monkeypox)の発生について(ペットのプレー リードッグを介した人への感染事例) ・経過措置期間内の風しんの予防接種の推進について ・感染症・食中毒情報(No.1385)	
6 月18日	・厚生労働省共済組合員証の無効について(厚生労働省共済組合石川労働局 支部)	
6 月19日	・使用薬剤の薬価(薬価基準)の一部改正に伴う留意事項について ・感染症・食中毒情報(No.1387)	
6 月20日	・「水銀を含有する魚介類等の摂食に関する注意事項」について(Q&A) ・感染症・食中毒情報(No.1388)	
6 月23日	・妊婦等における水銀を含有する魚介類等の摂食に関する注意事項について ・結核予防法第36条の規定に基づく医療機関の指定等について ・医療施設近代化施設整備費補助金等に関する調査について(照会)	
6 月24日	・「病原微生物検出情報」,「病原微生物検出情報(普及版)」の送付について ・医師法第16条の2 第1項に規定する臨床研修に関する省令の施行について ・感染症・食中毒情報(No.1389)	
6 月25日	・「医療用具の保険適用について」の通知について ・過重労働による健康障害防止対策等における労災保険二次健康診断等給 付制度の活用について ・感染症・食中毒情報(No.1390)	

送付日	文 書 名	備 考
6 月 26 日	・感染症・食中毒情報 (No.1391)	
6 月 28 日	・供血者の供血歴の確認等の徹底について ・医療機関等の廃止に伴う特定生物由来製品に関する記録の取扱いについて	
6 月 30 日	・労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の就業条件の整備等に関する法律施行令の一部を改正する政令等の施行について (通知) ・使用薬剤の薬価 (薬価基準) の一部改正に伴う留意事項について ・感染症・食中毒情報 (No.1392)	
7 月 1 日	・本年の咽頭結膜熱に関する対策について ・感染症・食中毒情報 (No.1393)	
7 月 2 日	・「広告が可能な医師及び歯科医師の専門性に関する資格名等について」の一部改正について (通知) ・介護保険等利用被爆者助成事業実施要綱の一部改正について (通知) ・感染症・食中毒情報 (No.1394)	
7 月 3 日	・病院内保育所運営費補助金交付要綱の一部改正について (通知) ・平成16年春の叙勲候補者について (依頼) ・被爆者健康手帳の無効について (宮崎県福祉保健部) ・感染症・食中毒情報 (No.1395)	
7 月 4 日	・「救急の日」及び「救急医療週間」の実施について ・医療用医薬品再評価結果 平成15年度 (その1) について ・新医薬品等の再審査結果 平成15年度 (その1) について ・広告が可能な医師の専門性に関する資格名等について ・第11回ノバルティス地域医療賞候補者募集について	
7 月 7 日	・「介護報酬に係る Q & A vol.2」の送付について ・重症急性呼吸器症候群 (SARS) に関する検疫所の対応について (情報提供)	
7 月 8 日	・平成15年度インフルエンザ HA ワクチン製造株、及び製造本数について ・感染症・食中毒情報 (No.1397)	
7 月 9 日	・賃金不払残業の解消を図るために講ずべき措置等に関する指針の送付について ・平成15年度の医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査の実施について ・施設基準の届出状況等の報告及び有床診療所入院基本料等届出実地調査について ・捜査依頼書 (警視庁池袋警察署長) ・感染症・食中毒情報 (No.1398)	







「はまゆう随筆」へ多くの原稿をお寄せいただきありがとうございました。予想以上の投稿数で、7、8月号での2回の掲載予定を9月号まで延長することとなりました。800字以内の投稿規定でしたが、1800字書いていただいた先生もおられました(張り切っていただいた結果と思います)。「グリーンページ」には政府の基本方針2003(骨太第3弾)が示されています。抜粋してあるためやや難解ですが、政府の考えている方向性がわかります。ご一読ください。

今年度も「新研修医」が数多く誕生しました。若者の姿には未来を感じ、うらやましく思います。「保険診療説明会・祝賀会」等を通して、医師会活動の意義を認識し入会してもらえたら幸いです。もっと入会の勧誘に努めなければいけないとも思いました。「ヒヤリ・ハット!」で午後5時頃が転倒事故の要注意時間帯であることを知りました。その原因と対策は本文をご覧ください。「私の本」では竹尾先生が写真へ傾倒されていった過程や写真の奥深さがよくわかり、写真への深い愛情も知り写真集を買いたくなりました。そのほか「日州医談」や「診療メモ」等、勉強になる情報や記事が多く、お忙しいなかご投稿いただいた先生方へ深く感謝申し上げます。

社保・国保審査委員名簿が載っておりますが、委員の先生方には何かとご苦労が多いことと思います。任期2年間、どうぞよろしくお願いいたします。

7月末、胃腸エコー検査に関する講演目的で那覇市へ行って来ました。20年ぶりの沖縄でしたが海の青さは相変わらずで、数年前に行ったハワイやグアムと同じ位の美しさだと改めて見直しました。外国へ行かなくてもリフレッシュできました。色々とストレスの多い医療環境となっている昨今ですが、時節柄、夏ばてに陥らないようくれぐれもご自愛下さい。(三原)

＊ ＊ ＊ ＊ ＊

今年の大リーグ球宴にはイチロー・松井・長谷川の3人の日本人選手が出場し、それぞれの存在感をアピールしました。まことに快挙でした。

球宴出場前イチローがインタビューに答えて「自分は進化している。今年は過去2年よりいい状態だ。内容は選球眼でなく選球体ができたこと」と述べていました。選球体は目で見て動くのではなく、身体がボールを自然に判断して打ちにいくそうです。4月に打率が悪かったのは身体が勝手に動いて全体のバランスが悪かったためで、調整したあと6月より打率は急上昇しました。

一流の人の仕事はよく聞いてみないとわかりませんね。(加藤)

＊ ＊ ＊

暑いですね。夏休み期間中とはいえ相変わらずの毎日です。学生の頃は勉強や読書の計画をびっしりたてていろいろな事に取り組んだものですが、まとまった休みもない今から思えばまさに夢のような時間だったと思います。それにしても私達にも長い休みが必要ではないでしょうか。時々軌道修正するためにも、日頃の診療を振り返るためにも。とはいえ休む勇氣もないです。自分の一存で何でも出来るのも却って難しいですね。(市来)

＊ ＊ ＊

長かった梅雨がやっと明け、暑い日が続いているが、水俣での土石流による死亡者、家屋被害が報道されている。心から御悔みを申し上げたい。最近、暗い報道が多い中で、ウインブルドン・テニスでの杉山愛のダブルスでの優勝。水泳の世界選手権平泳ぎでの北島康介の金メダル、それも100m、200mで世界新記録での優勝。日本国民にとってとても勇気づけられる快挙であった。社会経済での明るい話題はいつになったら流れて来るのだろう。(池井)

＊ ＊ ＊

海の日に、桜島・錦江湾横断遠泳大会に参加しました。桜島から対岸の磯海水浴場まで約4kmを4人一組で泳ぎます。4人が手をつないでゴールしなければなりません。初参加のときは、不安と緊張でお酒はほとんど飲めなかったのに、4回目ともなると前夜は黒豚しゃぶにビールと焼酎です。チャレンジから年中行事の旅行になってしまいました。そのためか、記録はぜんぜん伸びていません。初参加の時の記録が最高です。潮の流れや風向きにも大いに影響されるのですが。平均年齢が50歳に近いチームです。記録が落ちていくのは仕方ないかも。(井上)

＊ ＊ ＊

日州医事5月号から、感染症サーベイランス情報に替わり宮崎県感染症動向が新しいシリーズとして掲載されています。疾患の定点把握だけでなく、1類から4類までの感染症に関して、発生状況、感染経路、注意点等が、県衛生環境研究所によって詳細に解説されています。本号では、毎年8月から増加が予想される腸管出血性大腸菌感染症について示唆に富む情報が寄せられていますので、是非ご一読下さい。(川名)

＊ ＊ ＊

WHOが毎年発行するWorld Health Reportは毎回異なったテーマを取り上げていて、2000年版は世界の医療についてです。その中で、日本の医療は多くの分野で高く評価され、総合では第一位です。日本のマスコミとWHOではこうも見方が違うのかと思います。この本は県医師会の図書室にありますので、執筆、講演活動の際には利用して下さい。

(佐々木)

---

---

**日 州 医 事 第648号 (平成15年 8 月号)**

(毎月 1 回10日発行)

発行人 社 団 法 人 宮 崎 県 医 師 会  
〒880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目101番地  
TEL 0985-22-5118(代) FAX27-6550  
<http://www.miyazaki.med.or.jp/>  
E-mail:office@miyazaki.med.or.jp  
代表者 秦 喜 八 郎

編 集 宮崎県医師会広報委員会  
委 員 長 井上 久  
副 委 員 長 川名 隆司  
委 員 市来 緑, 大藤 雪路, 加藤 民哉  
小村 幹夫, 佐々木 究, 田尻 明彦  
三原 謙郎, 森 継則

担 当 副 会 長 大坪 睦郎

担 当 理 事 富田 雄二, 池井 義彦

事務局学術課 崎野 文子, 竹崎栄一郎, 千原佐知子

カット 武 藤 布美子

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース

定 価 350円(但し,県医師会員の講読料は会費に含めて徴収してあります)

●落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。